

報告事項 1

第 4 回 茂原市学校再編計画審議会 次第

日時 平成 29 年 1 月 19 日（木）15 時～

場所 茂原市役所 503 会議室

1 開会

2 会長あいさつ

3 報告

- (1) 第 3 回審議会での意見交換の概要について 【資料 1】

4 議題

- (1) 学校再編基本計画（案）について 【冊子】
・基本計画案の修正点 【資料 2】
- (2) 答申について
- (3) 次回審議会の日程について

5 その他

- ・パブリックコメントの実施について 【資料 3】
- ・前回会議録の校正

6 閉会

第3回審議会での意見交換の概要について

※ページは第3回【資料2】のもの

	主な内容
会長	・ 昭和平成でなく西暦で表記するか検討 ・ p14～15通学路の整備を教育環境に入れては ・ p15吸収合併も新設もあるので統合校という表現はいかがか ・ p16中学校で4～5学級なら地域性を鑑みて検討 本納中はなくなると厳しい
副会長	・ p14避難所という言葉は大事だし残してもよい ・ まずは現状をわかってもらい、それを解決するための方法という資料 短くまとめて ・ p15統合校という言い回しでも構わないが中身が大事 ・ 人数が少ない所の声など、切実に考えてもらう呼びかけの資料 ・ 地域性を考えるのは大事
委員	・ 案ですべて網羅されている ・ 現実はどうだからこうするという細かいところまで出してしまってよい ・ p16複式学級は速やかに統廃合、全学年1クラスの学校は将来を視野に入れて検討していく
委員	・ p6～7校舎が築何年とかのデータ ・ p9～10地図に縮尺を入れる、通学路は次の段階か ・ p15通学手段に安全性も 今まで言っても直っていない ・ p7で部活動の現状も入れる 部活は子どもにとって大きい、勉強だけなら小規模でもよい ・ 地域を鑑みては必要、周辺部はなくなって中心部しか残らない ・ 小中一貫は可能性として出すべき
委員	・ p14避難所はカットしてもよい 学校を通常の状態に早く戻す 運営は自治会と学校で相談 ・ p14学校施設及び跡地の利活用 施設という文言を残す ・ 1学級人数の適正人数(上限でなく)はあるのか ・ p15統合校の環境の充実を、学校づくりなどの表現にしては ・ p16文科省手引に沿って記載すべき
委員	・ 1学級人数の上限だけでなく、どの程度が理想的かという考えは持ったうえで議論すべき ・ p14再編にあたっての配慮で、一番上に地域コミュニティや避難所があるのはいかがか
委員	・ 子どもにも親にも期待できるものにする 親の視点を大事に ・ p15統合校をとって教育環境の充実では
委員	・ 小中一貫教育導入の検討 新しい試みにより可能性を見出す ・ p15統合校の教育環境の充実としては ・ 小中一貫校の導入効果を調査してはどうか
委員	・ p14避難所は学校跡地の活用方法の中に文言を入れてカバーできる、削っても可 ・ 使用する校舎 多い方にただ寄せるのではなく安全性なども考慮 ・ p15適正規模の維持で、上限に合わせるのではなく、それを超えて複数学級になるように ・ p14(1)で教育は十分述べている 地域の文面も少しは残すべき ・ p15統合校でない方がよい ・ p16文科省の手引のとおり 複式学級を優先 ・ 小中一貫の検討は再編と同時に 無駄にならないよう
委員	・ p14他の計画の説明がほしい ・ p14再編にあたっての配慮に、情報の積極的な提供・共有・可視化などを入れる
委員	・ p15交通手段やスクールバスは絶対 最初から載せた方がよい
委員	・ 緑ヶ丘小と西陵中のアンケート結果 やむを得ない状況を住民に周知 ・ 避難所の観点から、多い方に寄せるだけでなくどちらの校舎が良いか検討 ・ p15適正規模の維持で在籍人数の検討を せめて複式学級は解消 ・ p16複式学級の場合は再編を検討すべき
事務局	・ 小中一貫教育の検討についても入れたい ・ p14行政側の意見として他の計画との整合を入れた ・ p16学校名はあえて入れていない⇒入れなくてよいのではとの意見 ・ 地域性により小中一貫も検討が必要 検討する場合は実施計画で載せる

茂原市学校再編基本計画 (案)

平成29年3月
茂原市教育委員会

はじめに

全国的に進行している少子化により、茂原市においても児童生徒数が減少し、小学生は昭和 58 年度の 8,210 人をピークに平成 28 年度は 4,100 人に、中学生は昭和 62 年度の 4,350 人をピークに平成 28 年度は 2,263 人にそれぞれ減少しており、今後も減少が続くものと見込まれます。

小中学校の義務教育は、児童生徒が集団の中で多様な考えに触れ、認め合い、協力し合い、切磋琢磨することで、「各個人の有する能力を伸ばしつつ社会において自立的に生きる基礎を培い、また、国家及び社会の形成者として必要とされる基本的な資質を養うこと（教育基本法第 5 条第 2 項より抜粋）」が目的とされておりますが、これには一定の集団規模が必要で、小中学校の過度な小規模化の進行は望ましいものではありません。

このような状況の中、文部科学省は平成 27 年 1 月に「公立小学校・中学校の適正規模・適正配置等に関する手引」を策定しました。また、これを受け、茂原市教育委員会では同年 3 月に、公立小中学校の適正規模について、小学校は 12 ～18 学級、中学校は 9 ～18 学級と決めました。

現状と比較すると、適正規模を満たしている学校は、小学校が 14 校中 6 校、中学校が 7 校中 4 校となっており、小中学校の再編は避けて通れない課題となっています。

茂原市教育委員会では、平成 28 年 10 月に「茂原市学校再編計画審議会」を設置し、学識経験者、PTA、自治会など様々な立場から意見をいただきました。その中で、子どもたちにとってより良い教育環境を確保することを第一に考え、「茂原市学校再編基本計画」を策定しました。

本計画では、前述した文部科学省策定の手引に沿って学校再編を進めることを基本としつつ、地域性を鑑み検討することとしております。

今後、この基本計画をもとに学校再編の具体案を定めた実施計画を策定してまいります。その過程において地域や保護者への説明会を実施するなど、周知に努めてまいりますので、市民の皆さまにおかれましても本計画の趣旨を理解し、ご協力くださるようよろしくお願いいたします。

平成 29 年 3 月
茂原市教育委員会

目次

I 計画策定にあたって

1. 計画策定の趣旨	1
2. 計画の位置付け	2
3. 計画の期間	2

II 茂原市の小中学校の現状及び今後の見込について

1. 茂原市の人口推移	3
2. 小中学校の現状と今後の見込	4
(1) 学校ごとの児童生徒数及び学級数の推移	4
①小学校	4
②中学校	5
(2) 学校運営の現状	5
(3) 学校の位置図	7
(4) 児童生徒数の推計方法について	9
①全体の児童生徒数について	9
②学校ごとの児童生徒数について	9

III 学校再編の基本的な考え方（基本方針）について

1. 茂原市教育施策の大綱	10
2. 小中学校の適正規模	11
3. 小規模校のメリット・デメリット	12
4. 学校再編の考え方	13
5. 学校再編の基本方針	13
6. 学校規模ごとの基本的な方向性	14

IV 資料

1. 茂原市学校再編計画審議会について	16
(1) 茂原市学校再編計画審議会規則	16
(2) 委員名簿	18
(3) 審議会等の開催日程及び内容	19
2. 諮問書及び答申書	21
(1) 諮問書	21
(2) 答申書	22

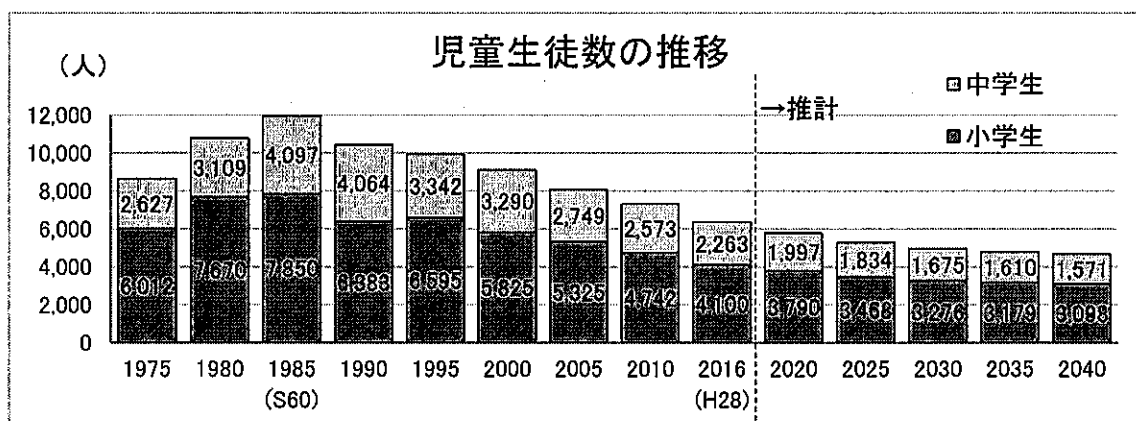
3. 各小中学校の概要	23
(1) 小学校	23
①東郷小学校	23
②豊田小学校	24
③二宮小学校	25
④茂原小学校	26
⑤西小学校	27
⑥五郷小学校	28
⑦鶴枝小学校	29
⑧萩原小学校	30
⑨中の島小学校	31
⑩本納小学校	32
⑪新治小学校	33
⑫豊岡小学校	34
⑬東部小学校	35
⑭緑ヶ丘小学校	36
(2) 中学校	37
①東中学校	37
②富士見中学校	38
③茂原中学校	39
④南中学校	40
⑤本納中学校	41
⑥早野中学校	42
⑦西陵中学校	43
4. 保護者アンケートの概要	44
(1) 実施概要	44
(2) 回答概要	44
(3) 保護者アンケート用紙	45
5. 計画素案に対するパブリックコメントの概要	49

I 計画策定にあたって

1. 計画策定の趣旨

茂原市では、平成 28 年度からの 5 年間を期間とする「茂原市教育施策の大綱」により、①社会を生き抜く力の育成、②心を育む人間教育の推進、③芸術・文化・スポーツの振興、④茂原を愛する心の育成、の 4 つを基本方針として、各種施策の推進に取り組んでおります。

一方、少子化の進行により、本市の小学生は昭和 58 年度（1983 年）の 8,210 人をピークに平成 28 年度（2016 年）は 4,100 人に、中学生は昭和 62 年度（1987 年）の 4,350 人をピークに平成 28 年度は 2,263 人に減少しており、今後も以下のとおり減少が続くものと見込まれます。



※2020 年以降は「茂原市人口ビジョン¹⁾」で各種施策を実施する前の数値より推計

本市の教育基本方針に沿った教育施策を遂行していくにあたっては、将来にわたり適正な規模の児童生徒数を維持し、子どもたちにより良い教育環境を確保することが必要です。

このため、平成 28 年 10 月に「茂原市学校再編計画審議会」を設置し、2040 年までの児童生徒数推計を見据えたうえで、様々な観点から審議を行い、この基本計画を策定いたしました。

¹⁾ 茂原市人口ビジョン：平成 27 年 10 月に市で策定したもので、2040 年までの人口推計と、各種施策の実施による目標人口を定めたもの。

2. 計画の位置付け

本計画は、茂原市立小中学校の再編に関する基本的な考え方を示した「基本計画」となります。この考え方をもとに、学校ごとの要件を勘案しながら、今後具体的な学校名や再編時期を定めた「実施計画」を策定します。

なお、西陵中学校については、本計画を審議する前に、以下のとおり方向性を決定しています。

西陵中学校及び富士見中学校区の学校選択制について

西陵中学校及び富士見中学校区は、「学校選択制」を導入しており、今後の児童生徒数の見込により、以下のとおり判断することを平成 24 年 10 月 25 日の教育委員会会議で決定しています。

【判断基準】

平成 29 年 4 月 1 日時点で、西陵中学校が各学年複数学級となった、またはそうでない場合でも顕著な増加傾向が継続して見込まれる状態にあるか。

① その状態にある場合

選択制の期間を再延長する。

② その状態にない場合

選択制を終了し、西陵中学校は原則として平成 29 年 4 月 1 日に入学した生徒の卒業をもって閉校とし、平成 32 年 4 月 1 日に富士見中学校に統合する。

3. 計画の期間

基本計画の期間は、茂原市総合計画²⁾など他の計画との整合性を考慮し、2017 年度（平成 29 年度）から 2025 年度までの 9 年間とします。

今後策定する実施計画の期間については、第 1 次実施計画を 2017 年度から 2020 年度までの 4 年間、第 2 次実施計画を 2021 年度から 2025 年度までの 5 年間とします。

また、第 1 次実施計画終了前に、人口や児童生徒数の推計見直しを行い、必要に応じて基本計画の見直しを行います。

	2017 (H29)	2020	2025
学校再編基本計画	2017～2025 の 9 年間		
第 1 次実施計画	2017～2020 の 4 年間		
第 2 次実施計画		2021～2025 の 5 年間	

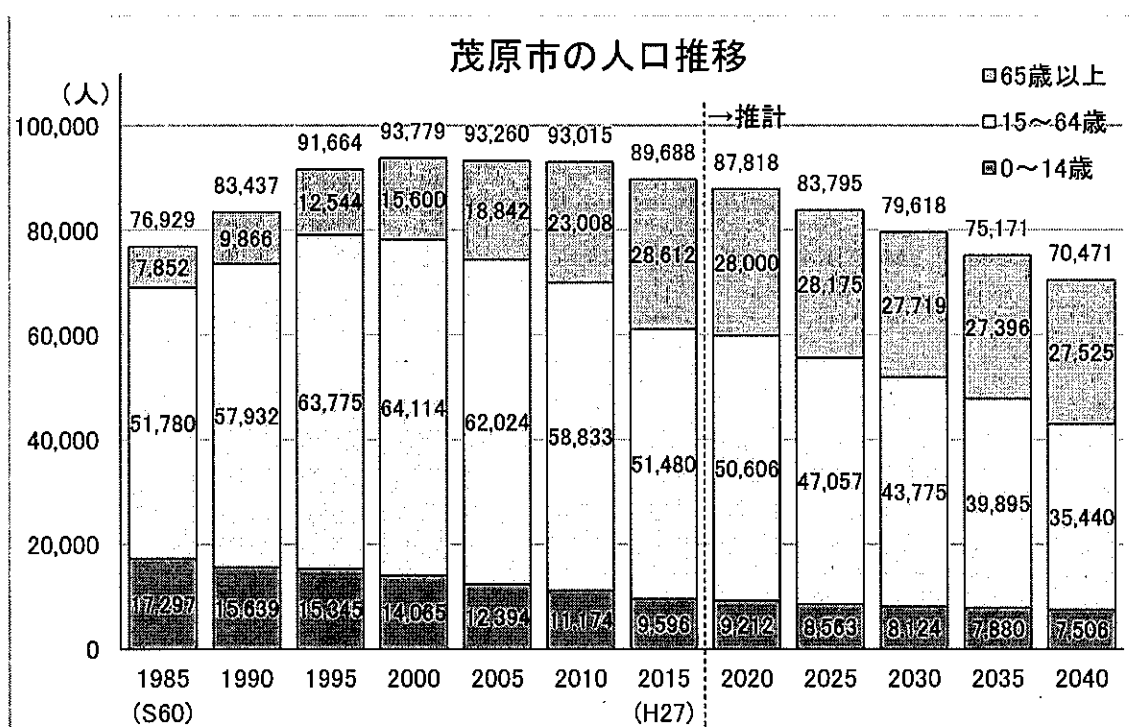
²⁾ 茂原市総合計画：市のまちづくりの基本理念や方向性を定めた、行政運営の基本的指針となる計画。

Ⅱ 茂原市の小中学校の現状及び今後の見込について

1. 茂原市の人口推移

国勢調査では、茂原市の人口は平成 12 年（2000 年）をピークに減少し始めております。15 歳未満の年少人口に限れば、昭和 60 年（1985 年）からすでに減少が始まっています。

全国的な少子化の影響で、今後も総人口や年少人口は減少するものと見込まれます。



	1985 (S60)		2015 (H27)		2040		2015 と 2040 の変化率
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	
65 歳以上	7,852	10.2%	28,612	31.9%	27,525	39.1%	△3.8%
15～64 歳	51,780	67.3%	51,480	57.4%	35,440	50.3%	△31.2%
0～14 歳	17,297	22.5%	9,596	10.7%	7,506	10.7%	△21.8%
計	76,929	100.0%	89,688	100.0%	70,471	100.0%	△21.4%

※2015 年（平成 27 年）までは国勢調査（年齢不詳は 65 歳以上にカウント）、2020 年以降は「茂原市人口ビジョン」で各種施策を実施する前の数値。

※端数処理の関係で合計が合わないことがある。

2. 小中学校の現状と今後の見込

(1) 学校ごとの児童生徒数及び学級数の推移

2020 年以降の学校ごとの児童生徒数と学級数³⁾は、以下のように推計されます（端数処理の関係で合計が合わないことがあります）。

①小学校

児童数の推移							(単位：人)
	2016 (H28)	2020	2025	2030	2035	2040	2016対2040
東郷小	517	484	447	423	413	405	△ 21.7%
豊田小	257	257	234	215	209	201	△ 21.8%
二宮小	128	106	99	98	90	86	△ 32.8%
茂原小	355	350	330	317	316	320	△ 9.9%
西小	255	200	188	176	162	151	△ 40.8%
五郷小	340	263	228	210	187	167	△ 50.9%
鶴枝小	210	171	146	136	125	115	△ 45.2%
萩原小	541	518	471	462	464	463	△ 14.4%
中の島小	366	354	322	305	305	303	△ 17.2%
本納小	175	149	127	111	100	89	△ 49.1%
新治小	43	32	24	22	19	15	△ 65.1%
豊岡小	227	192	166	148	133	123	△ 45.8%
東部小	517	557	541	515	522	535	3.5%
緑ヶ丘小	169	157	144	138	135	124	△ 26.6%
計	4,100	3,790	3,468	3,276	3,179	3,098	△ 24.4%

学級数の推移						
	2016 (H28)	2020	2025	2030	2035	2040
東郷小	17	18	14	14	12	12
豊田小	11	12	12	8	6	6
二宮小	6	6	6	6	6	6
茂原小	12	12	12	12	12	12
西小	11	6	6	6	6	6
五郷小	12	12	8	6	6	6
鶴枝小	8	6	6	6	6	6
萩原小	18	18	18	18	18	18
中の島小	13	12	12	12	12	12
本納小	7	6	6	6	6	6
新治小	5	4	4	4	4	4
豊岡小	9	6	6	6	6	6
東部小	18	18	18	18	18	18
緑ヶ丘小	6	6	6	6	6	6
計	153	142	134	128	124	124

※色付きは適正規模⁴⁾（12～18 学級）を満たさないことを示す。

³⁾ 2016 年（平成 28 年）は 5 月 1 日現在の実績。2020 年以降の推計方法は 9 ページを参照。
学級数の推計については、全学年同人数と仮定し、現在の学級数の千葉県基準（小 1、小 2、中 1 は 1 学級 35 人まで、それ以外は 1 学級 38 人まで）に当てはめて計算したもの。

⁴⁾ 適正規模：児童生徒の教育環境のため確保することが望ましいとしている一定の集団規模。
詳しくは 11 ページを参照。

②中学校

生徒数の推移

(単位：人)

	2016 (H28)	2020	2025	2030	2035	2040	2016対2040
東中	437	370	370	339	327	323	△ 26.1%
富士見中	418	358	327	301	284	269	△ 35.6%
茂原中	420	414	379	350	344	347	△ 17.4%
南中	486	435	419	380	377	380	△ 21.8%
本納中	252	209	172	148	132	119	△ 52.8%
早野中	175	148	106	102	91	81	△ 53.7%
西陵中	75	63	61	54	54	52	△ 30.7%
計	2,263	1,997	1,834	1,675	1,610	1,571	△ 30.6%

学級数の推移

	2016 (H28)	2020	2025	2030	2035	2040
東中	12	12	12	10	10	10
富士見中	12	12	10	9	9	9
茂原中	12	12	12	12	12	12
南中	14	13	12	12	12	12
本納中	8	6	6	6	6	6
早野中	6	6	4	3	3	3
西陵中	3	3	3	3	3	3
中学校	67	64	59	55	55	55

※色付きは適正規模（12～18学級）を満たさないことを示す。

(2) 学校運営の現状

各学校における学校運営上の課題について確認したところ、小規模の小中学校から主に以下のようなことが挙げられました。

- ・児童生徒間の関係が固定的である
- ・人数の関係で、学習活動や部活動、遠足などでのバス利用等が制限される
- ・教職員が少なくボランティアも高齢化し、校内の環境整備が困難である

一方、規模に関わらず多くの学校から施設設備の老朽化、運営予算の不足等が挙げられており、建物の更新費用を含む教育予算の確保が課題であることも考慮しなくてはならない状況にあります。

また、児童生徒にとっては、学校における部活動やクラブ活動も大きなウエイトを占めており、学習以外の面も重要になります。平成28年度現在、各小中学校における部活動等の実施状況は以下のとおりです。

・クラブ活動、部活動の実施状況

①小学校

	サッカー	ミニバス	体操	器楽等	合唱等
東郷小	○	○	○	○	
豊田小	○	○	○		○
二宮小	○	○		○	
茂原小	○	○	○	○	
西小	○	○	○	○	
五郷小	○	○	○	○	
鶴枝小	○	○	○	○	
萩原小	○	○	○	○	
中の島小	○	○	○	○	
本納小	○	○	○		○
新治小			○	○	
豊岡小	○	○		○	
東部小	○	○	○	○	
緑ヶ丘小	○	○	○	○	

(注)

- ・実際に活動している部やクラブを掲載
(大会出場、定期的な活動等)。
- ・児童生徒が複数の部を兼ねている場合がある。
- ・ほとんどの小学校で、これ以外に時期限定で陸上、水泳、なわとび等を行っている。

②中学校

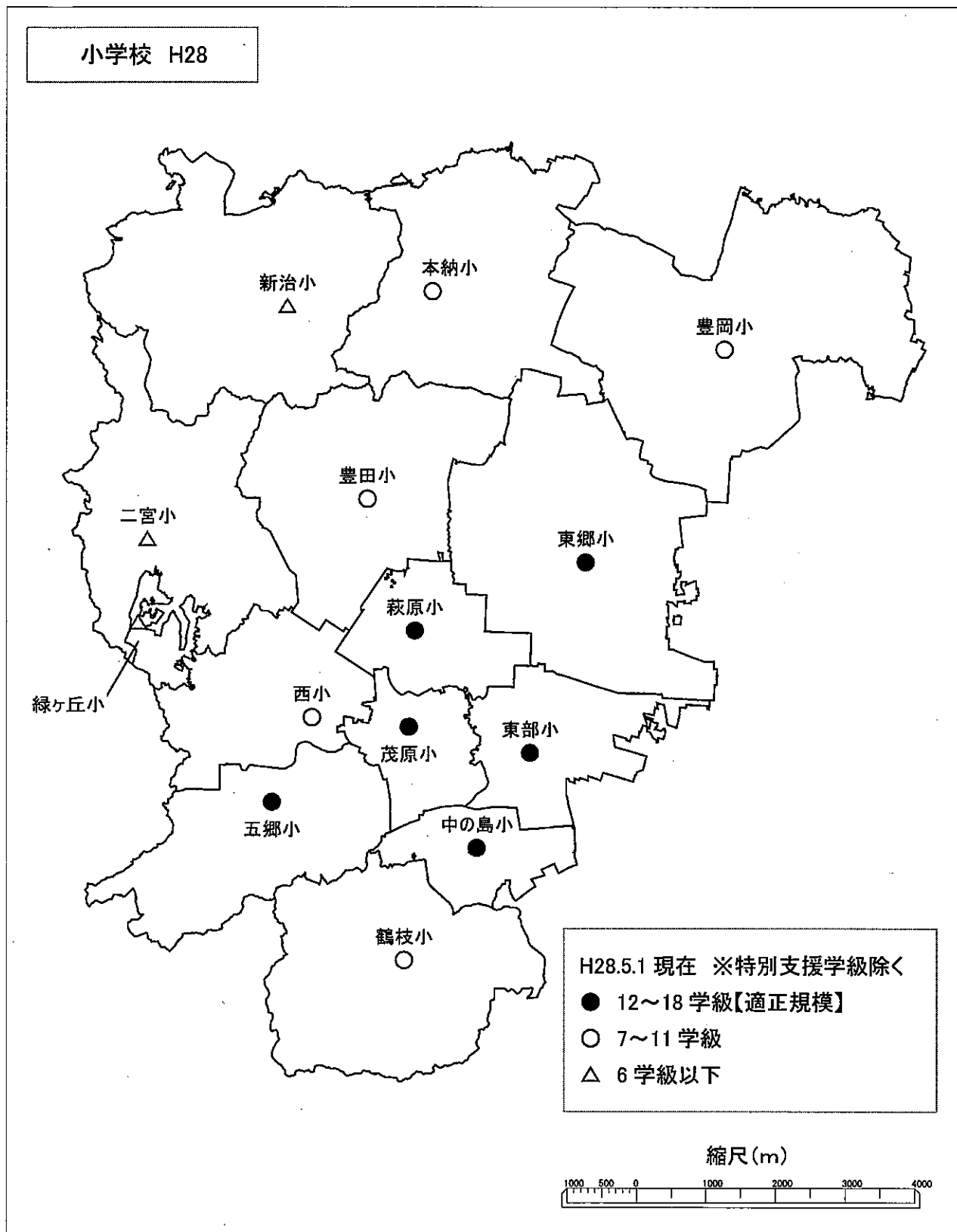
	ソフトテニス	卓球	野球	サッカー	バスケットボール	バレーボール	陸上	剣道	柔道	吹奏楽等	美術	その他
東中	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	※1
富士見中	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※2
茂原中	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
南中	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※2
本納中	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	書道
早野中	○	○	○	○	○	○				○		文化
西陵中	○	○								○		

※1 書道、放送

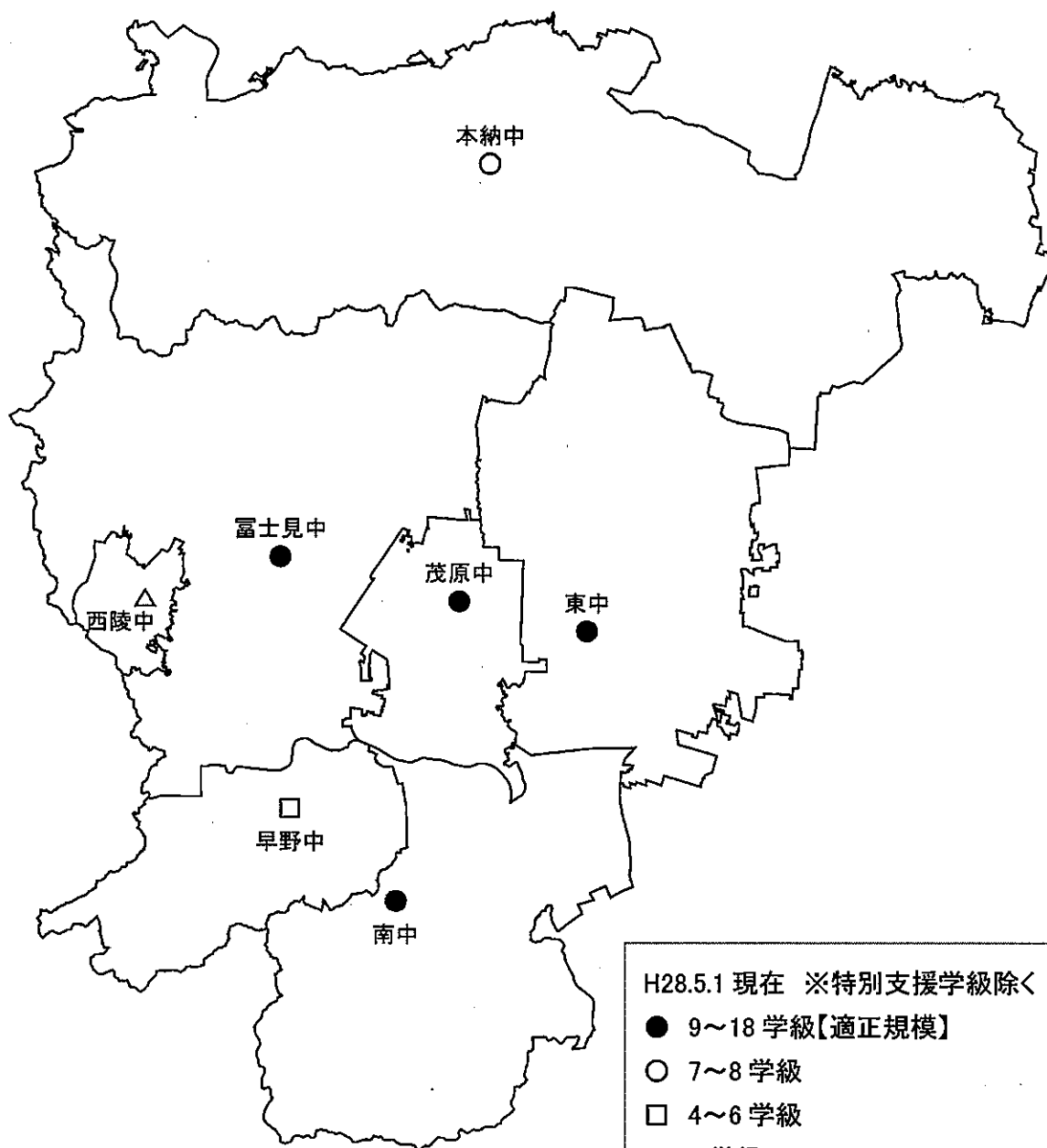
※2 バドミントン

(3) 学校の位置図

各小中学校の位置と規模、学区を地図に表すと、以下のようになります。



中学校 H28



H28.5.1 現在 ※特別支援学級除く

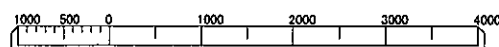
● 9~18 学級【適正規模】

○ 7~8 学級

□ 4~6 学級

△ 3 学級以下

縮尺(m)



(4) 児童生徒数の推計方法について

①全体の児童生徒数について

茂原市人口ビジョンの基礎数値（3ページ参照）をベースに計算しました。

②学校ごとの児童生徒数について

平成28年4月1日現在の住民基本台帳をベースに、コーホート変化率法により計算しました。なお、変化率については、H24からH28までの4年間の変化率を用いました。

※コーホート変化率法とは、各コーホート（同じ期間に生まれた集団）について、過去における実績人口の動勢から「変化率」を求め、それに基づき将来人口を推計する方法。推計の基礎となる近い過去に特殊な人口変動がなく、近い将来にも特殊な人口変動が予想されない場合に用いることができる。

具体的には以下ようになります。

- ・まず、字と学区が概ね1対1で対応するものとし、学区ごとに住民基本台帳の人数を分けました。
- ・この学区ごとに、各年代におけるH24からH28の変化率を計算しました。
- ・0～4歳の出現率（≒出生率）については、H24からH28までの平均を用いました。
- ・この変化率及び出生率が今後も続くものとして、学区ごとの将来推計を計算しました。
- ・最後に、合計人数の整合がとれるよう、按分により調整しました。

Ⅲ 学校再編の基本的な考え方（基本方針）について

1. 茂原市教育施策の大綱

本市では、地方教育行政の組織及び運営に関する法律に基づき、平成 28 年に「茂原市教育施策の大綱」を策定しました。これは、本市の基本構想、基本計画に基づき、平成 28 年からの 5 年間における重点施策の基本方針を定めたものです。

基本方針 1 社会を生き抜く力の育成

- (1) 学力の向上
- (2) 幼児教育・保育の充実
- (3) 読書活動の推進
- (4) 国際理解教育の推進

基本方針 2 心を育む人間教育の推進

- (1) いじめ・暴力行為等の問題への取り組みの徹底
- (2) 道徳教育の推進
- (3) 学校・家庭・地域が一体となった教育の推進
- (4) 青少年の健全育成と家庭教育の充実
- (5) セーフティネットの構築

基本方針 3 芸術・文化・スポーツの振興

- (1) 芸術文化の創造と個性の伸長
- (2) いつでも・どこでも・だれでも学べる場の提供
- (3) 変化の激しい時代を生き抜く生涯を通じた学習支援
- (4) スポーツ環境の充実
- (5) スポーツ・レクリエーションの普及

基本方針 4 茂原を愛する心の育成

- (1) 地域を担う人材の育成
- (2) 安全・安心な教育環境の確保
- (3) 文化財・伝統文化の維持、保存、活用の推進
- (4) 学校・家庭・地域連携によるコミュニティの形成

事業の実施にあたっては、この大綱に基づき毎年度策定する「茂原市の教育方針及び重点施策」により進めていくこととしています。

平成 28 年度の取り組みとして、「基本方針 1 社会を生き抜く力の育成」の「(1) 学力の向上」の中で、「小中学校の適正規模の維持を図るため、適正配置について検討します」としており、茂原市学校再編計画審議会での議論や本計画については、これに基づき取り組んだものになります。

2. 小中学校の適正規模

法令では、小中学校の学級数について以下のように定めています。

学校教育法施行規則

第 41 条 小学校の学級数は、12 学級以上 18 学級以下を標準とする。ただし、地域の実態その他により特別の事情のあるときは、この限りでない。

第 79 条 第 41 条（中略）の規定は、中学校に準用する。（以下略）

また、文部科学省では、近年の人口減少や少子化の進展等により、今後、学校が過度に小規模化したり、教育条件への影響が出たりすることが懸念されているとして、平成 27 年 1 月に「公立小学校・中学校の適正規模・適正配置等に関する手引」を策定しました。

これを受け、茂原市教育委員会では、平成 27 年 3 月の教育委員会会議において、茂原市における小中学校の適正規模を以下のように定めたところです。

茂原市立小中学校の適正規模について

- ・小学校の学級数は、学校教育法施行規則第 41 条により 12 学級以上 18 学級以下（1 学年 2 学級～3 学級）を標準とする。
- ・中学校の学級数は、同法第 79 条ただし書にある「地域の実態その他により特別の事情のあるときは、この限りでない」により 9 学級以上 18 学級以下（1 学年 3 学級～6 学級）を標準とする。
- ・ただし、特別支援学級の学級数は除く。

このように定めた理由としては、小中学校ともにすべての学年においてクラス替えを可能としたり、学習活動の特質に応じて学級を超えた集団の編制をしたり、同学年に複数教員を配置できるようにすることが挙げられます。加えて中学校では、教員の免許外指導をなくし、すべての授業で教科担任による学習指導を行うことができる規模としたものです。

平成 28 年 5 月 1 日時点で適正規模を満たす学校は、小学校が 14 校中 6 校（東郷小、茂原小、五郷小、萩原小、中の島小、東部小）、中学校が 7 校中 4 校（東中、富士見中、茂原中、南中）となっています。

3. 小規模校のメリット・デメリット

学校の小規模化によるメリット・デメリットとしては、以下のようなことが挙げられています。

	メリット	デメリット
学習面	児童・生徒の一人ひとりに目がとどきやすく、きめ細かな指導が行いやすい。	集団の中で、多様な考え方に触れる機会や学びあいの機会、切磋琢磨する機会が少なくなりやすい。 1 学年 1 学級の場合、ともに努力してよりよい集団を目指す、学級間の相互啓発がなされにくい。
	学校行事や部活動等において、児童・生徒一人ひとりの個別の活動機会を設定しやすい。	運動会などの学校行事や音楽活動等の集団教育活動に制約が生じやすい。 中学校の各教科の免許を持つ教員を配置しにくい。 児童・生徒数、教職員数が少ないため、グループ学習や習熟度別学習、小学校の専科教員による指導など、多様な学習・指導形態を取りにくい。 部活動等の設置が限定され、選択の幅が狭まりやすい。
生活面	児童・生徒相互の人間関係が深まりやすい。 異学年間の縦の交流が生まれやすい。	クラス替えが困難なことなどから、人間関係や相互の評価等が固定化しやすい。 集団内の男女比に極端な偏りが生じやすくなる可能性がある。 切磋琢磨する機会等が少なくなりやすい。
	児童・生徒の一人ひとりに目がとどきやすく、きめ細かな指導が行いやすい。	組織的な体制が組みにくく、指導方法等に制約が生じやすい。
学校運営面・財政面	全教職員間の意思疎通が図りやすく、相互の連携が密になりやすい。 学校が一体となって活動しやすい。	教職員数が少ないため、経験、教科、特性などの面でバランスのとれた配置が行いにくい。 学年別や教科別の教職員同士で、学習指導や生徒指導等についての相談・研究・協力・切磋琢磨等が行いにくい。 一人に複数の校務分掌が集中しやすい。 教員の出張、研修等の調整が難しくなりやすい。
	施設・設備の利用時間等の調整が行いやすい。	子ども一人あたりにかかる経費が大きくなりやすい。
その他	保護者や地域社会との連携が図りやすい。	PTA 活動等における保護者一人当たりの負担が大きくなりやすい。

出典：文部科学省ホームページ 中央教育審議会・初等中等教育分科会

「小・中学校の設置・運営の在り方等に関する作業部会」資料

4. 学校再編の考え方

児童生徒が集団の中で多様な考えに触れ、認め合い、協力し合い、切磋琢磨するためには、一定の集団規模が必要で、小中学校の過度な小規模化の進行は望ましいものではありません。

本市では、小中学校の現状や今後の推計、小規模化による子どもたちへの影響等を踏まえ、学校再編の基礎となる考え方として、児童生徒の教育環境が最優先で、そのうえで地域や住民等に及ぼす影響について配慮が必要であるとし、以下のようにまとめました。

(1) 教育環境の充実を最優先

- ・互いに切磋琢磨できる環境（一定の集団規模）の確保
- ・保護者や子どもたちの意見の尊重
- ・学校行事や部活動等の充実
- ・通学に対する配慮（通学手段、通学距離、通学路の安全性）
- ・学区の検討
- ・一小一中の問題⁵⁾への対応
- ・使用する校舎の検討
- ・小学校と中学校との別々の検討

(2) 再編にあたっての配慮

- ・再編に関する情報の発信、提供
- ・地域住民の理解
- ・学校施設及び跡地の活用方法の検討
- ・地域コミュニティや避難所についての配慮
- ・施設の老朽化への対応
- ・他の計画（茂原市総合計画、茂原市公共施設等総合管理計画⁶⁾等）との整合

⁵⁾ 一小一中の問題：小学校と中学校の9年間を同じ集団の中で過ごすこと。友人関係の固定化などが考えられる一方、小中一貫校として独自の教育方針を打ち出している学校もある。

⁶⁾ 茂原市公共施設等総合管理計画：公共施設の老朽化が進み、建て替えや改修に要する費用の不足が見込まれるため、H28から15年間で施設の延床面積13%削減を目標とした計画。

5. 学校再編の基本方針

これまで述べた現状や推計、考え方を踏まえ、学校再編の基本方針を以下のように定めます。

(1) 適正規模の維持

- ・子どもたちが集団の中で多様な考えに触れ、互いに切磋琢磨できるよう、複式学級や単学級を解消し、将来にわたり学校の適正規模を維持することを目指します。
- ・一定の集団規模を確保することで、学習活動や学校行事、部活動等の充実を図ります。
- ・学区の見直しを含め、全市的な視点で再編を実施します。

(2) 再編後の教育施設等の充実

- ・児童生徒が安心して学習できるよう、再編後の施設（校舎、トイレ等）の改修に努めます。
- ・教育力の向上を図るとともに、小中一貫教育についても検討します。

(3) 通学手段・安全性の確保

- ・再編により通学が遠距離になる児童生徒に対しては、スクールバスの導入など、通学手段を確保できるよう検討します。
- ・新しく通学路となる箇所を把握し、既存の通学路と併せて整備を行い、通学における安全性を確保します。

6. 学校規模ごとの基本的な方向性

学校規模ごとの基本的な方向性については、文部科学省の手引を踏まえ、原則として以下のとおりとします。

(1) 小学校

全体の学級数	文部科学省手引の抜粋	基本的な方向性
1～5学級	・複式学級が存在 ・一般に教育上の課題が極めて大きい	・速やかに統廃合する
6学級	・クラス替えができない ・児童数に大きな幅があり、少ない場合は特に課題が大きい ・更なる小規模化の可能性なども勘案	・今後児童数が増加する見込がなければ速やかに統廃合する
7～8学級	・1つ又は2つの学年を除きクラス替えができない ・全体の児童数なども勘案	・今後児童数が減少し単学級となる見込であれば統廃合を行う
9～11学級	・半分以上の学年でクラス替えができる ・全体の児童数なども勘案し課題を整理	・統廃合や学区の見直し等、適正規模に近づける方策を検討する
12～18学級	適正規模	

(2) 中学校

全体の学級数	文部科学省手引の抜粋	基本的な方向性
1～2学級	・複式学級が存在 ・一般に教育上の課題が極めて大きい	・速やかに統廃合する
3学級	・クラス替えができない ・生徒数に大きな幅があり、少ない場合は特に課題が大きい ・更なる小規模化の可能性なども勘案	
4～5学級	・1つ又は2つの学年を除きクラス替えができない ・全体の生徒数なども勘案	
6～8学級	・概ね全学年でクラス替えができる ・同学年に複数教員を配置できる	・今後生徒数が減少する見込であれば、統廃合や学区の見直し等を行う
9～18学級	適正規模	

IV 資料

1. 茂原市学校再編計画審議会について

(1) 茂原市学校再編計画審議会規則

平成 28 年 8 月 22 日茂原市教育委員会規則第 15 号

(目的及び設置)

第 1 条 少子化により児童生徒数が減少し、多くの小中学校が小規模化している状況の中で、義務教育本来の目的を達成し、将来にわたり学校の適正規模、適正配置が維持できるよう、学校の統廃合等を審議するため、茂原市学校再編計画審議会（以下「審議会」という。）を設置する。

(所掌事務)

第 2 条 審議会は、茂原市教育委員会（以下「教育委員会」という。）の諮問に応じ、次に掲げる事項について調査審議し、答申する。

- (1) 学校の適正規模、適正配置に関すること。
- (2) 学校の統廃合に関すること。
- (3) 前各号に掲げるもののほか、審議会が必要と認める事項に関すること。

(組織)

第 3 条 審議会は、12 名以内の委員をもって組織する。

2 委員は、次に掲げる者の中から、教育委員会が委嘱し、又は任命する。

- (1) 学識経験者
- (2) 自治会関係者
- (3) 教育関係者
- (4) その他教育委員会が必要と認める者

(委員の任期)

第 4 条 委員の任期は、委嘱又は任命した日から第 2 条の所掌事務がすべて完了したときまでとする。

2 委員に欠員が生じた場合の補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(会長及び副会長)

第 5 条 審議会に会長及び副会長各 1 名を置く。

- 2 会長及び副会長は、委員が互選する。
- 3 会長は、会務を総理し、審議会を代表する。
- 4 副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるとき、又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。

(会議)

第6条 審議会の会議は、必要に応じて会長が招集し、会長が議長となる。ただし、会長が選任されていない場合は、教育委員会が招集する。

2 審議会は、委員の過半数が出席しなければ会議を開くことができない。

3 審議会の議事は、出席委員の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

4 会長は、必要があると認めたときは、審議会の会議に委員以外の者の出席を求め、その意見若しくは説明を聴き、又はこれらの者から資料の提出を求めることができる。

5 会議は、公開とする。ただし、議長は、公開することが会議の運営に支障があると認めたときは、審議会に諮って非公開とすることができる。

(守秘義務)

第7条 委員は、職務上知り得た秘密を他に漏らしてはならない。その職を退いた後も同様とする。

(傍聴)

第8条 審議会の会議の傍聴は、茂原市教育委員会傍聴人規則（平成8年教育委員会規則第8号）の規定を準用する。

(会議の記録)

第9条 教育委員会は、次の事項を記載した会議の記録を作成し、遅滞なくこれを公表するものとする。

(1) 会議の日時及び場所

(2) 出席委員の氏名

(3) 議事の概要

(4) その他必要な事項

(庶務)

第10条 審議会の庶務は、教育部教育総務課及び学校教育課において共同で処理する。

(その他)

第11条 この規則に定めるもののほか、審議会の組織及び運営に関し必要な事項は、教育委員会が定める。

附 則

この規則は、公布の日から施行する。

(2) 委員名簿

	所属団体等	氏名	区分	備考
1	元教育委員会委員	足立 俊夫	学識経験者	会長
2	茂原市自治会長連合会	永山 良吉	自治会関係者	
3	茂原市自治会長連合会	石黒 信一	自治会関係者	
4	茂原市自治会長連合会	吉井 彰	自治会関係者	
5	茂原市小中学校長会	宮本 昌典	教育関係者	
6	千葉県教職員組合長生支部	北田 秀夫	教育関係者	
7	茂原市PTA連合会	狩野 文秀	教育関係者	
8	茂原市PTA連合会	小柳 佳子	教育関係者	
9	青少年育成茂原市民会議	中山 清志	教育関係者	副会長
10	茂原市青少年相談員連絡協議会	齊田 まゆみ	教育関係者	
11	茂原青年会議所	酒井 一光	その他教育委員会が必要と認めるもの	
12	民生委員児童委員協議会	林 由利子	その他教育委員会が必要と認めるもの	

(3) 審議会等の開催日程及び内容

回	内容	
第1回	日時	平成28年10月13日(木) 15時～
	場所	茂原市役所 901・902 会議室
	議題	・審議会の目的等について ・日本及び茂原市の人口推移・推計について ・茂原市の児童生徒数推移・推計について ・小中学校の適正規模について ・小規模校のメリット・デメリットについて ・学校再編計画の概要について ・審議会のスケジュール(案)について
	その他	・委員の委嘱及び紹介 ・会長、副会長の互選 ・諮問書の提出
第2回	日時	平成28年11月17日(木) 15時～
	場所	茂原市役所 503 会議室
	議題	・学校再編基本計画の骨子について ・学校規模ごとの区分けについて ・部活動、学校運営等の現状について ・学校再編計画策定までのスケジュール ・意見交換 ① 学校再編について (ア) 再編にあたり最も重視すべきこと (イ) それ以外に留意すべきこと ② 学校再編の進め方について
	その他	・保護者アンケートの実施について
保護者 アンケート	実施期間	平成28年11月21日(月)～11月30日(水)
	概要	・全小中学生保護者(延べ6,377名)に対し実施 ・学校を通じて配付・回収 ・提出数3,715(回答率58.3%) ※詳細は44ページを参照
第3回	日時	平成28年12月14日(水) 15時～
	場所	茂原市役所 901・902 会議室
	議題	・学校再編基本計画(案)について
	その他	・第2回審議会での意見交換の概要について ・保護者アンケートの結果について

回	内容	
第4回	日時	平成29年1月19日(木) 15時～
	場所	茂原市役所 503 会議室
	議題	・学校再編基本計画(案)について
	その他	
パブリック コメント	実施期間	平成29年1月27日(金)～2月27日(月)
	概要	・審議会で作成した基本計画素案に対し、パブリックコメント(市民意見の募集)を実施 ・提出数 ○人 ○件 ※詳細は49ページを参照
第5回	日時	平成29年3月16日(木) 15時～
	場所	茂原市役所 901・902 会議室
	議題	
	その他	・答申書の提出

2. 諮問書及び答申書

(1) 諮問書

茂 教 総 第 7 8 号

平成28年10月13日

茂原市学校再編計画審議会会長 様

茂原市教育委員会教育長 内田 達也

諮問書

茂原市学校再編計画審議会規則第2条により、次に掲げる事項についてご検討のうえ、答申いただきたく、理由を添えて諮問いたします。

諮問事項

茂原市立小中学校の再編に関する基本的な考え方について（基本計画）

（諮問理由）

本市では、少子化により児童生徒数の減少や学校の小規模化が急速に進み、児童生徒が集団の中で多様な考えに触れ、切磋琢磨することを通じて、一人ひとりの資質や能力を伸ばしていくという環境の確保が難しくなっており、部活動や学級編成、学校行事などにも影響が生じているところです。

こうした現状を踏まえ、本市の教育基本方針に沿った教育施策を遂行していくにあたって、将来にわたり適正な規模の児童生徒数を維持し、よりよい教育環境を確保するため、小中学校の再編計画を策定することが必要と考えております。

そこで、平成27年3月に市教育委員会で決定した「茂原市立小中学校の適正規模について」を踏まえ、学校再編に関する基本計画について、茂原市学校再編計画審議会において様々な角度からご検討くださるよう諮問いたします。

(2) 答申書

平成29年 月 日

茂原市教育委員会教育長 内田 達也 様

茂原市学校再編計画審議会会長 足立 俊夫

答申書

(実際の答申書を掲載する予定です。)

3. 各小中学校の概要^{注)}

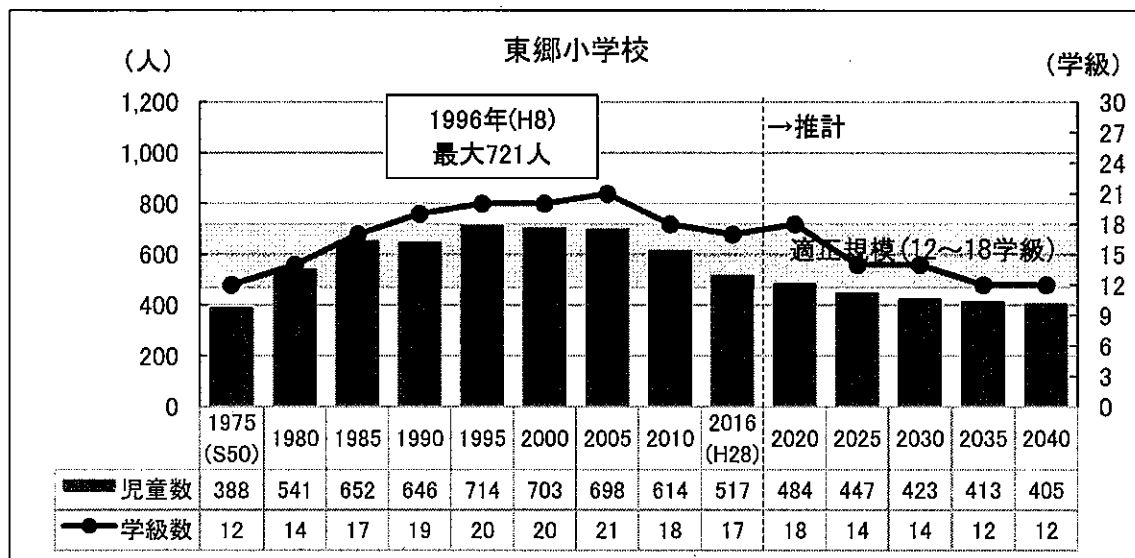
(1) 小学校

①東郷小学校

学校概要

所在地	茂原市谷本 142	(写真)
創立年	1908 年 (明治 41 年)	
敷地面積	17,188 m ²	
延床面積	4,709 m ²	

児童数及び学級数の推移



※2016 年 (H28) までの数は、各年 5 月 1 日現在の実績

主な構成施設 (建築物のみ) ※RC 造…鉄筋コンクリート造、S 造…鉄骨造

名称	建築	延床面積	構造	階	耐震補強	備考
管理教室棟	S43	1,539 m ²	RC 造	2	H25 実施済	H6 大規模改造
教室棟	H1	1,086 m ²	RC 造	2	不要	
教室棟	S56	654 m ²	RC 造	2	不要	
教室棟	H10	458 m ²	RC 造	2	不要	
屋内運動場	S46	720 m ²	S 造	2	H23 実施済	H23 大規模改造
給食室	S57	126 m ²	S 造	1	不要	
プール附属室	S53	46 m ²	S 造	1	不要	
屋外便所	H24	80 m ²	RC 造	1	不要	

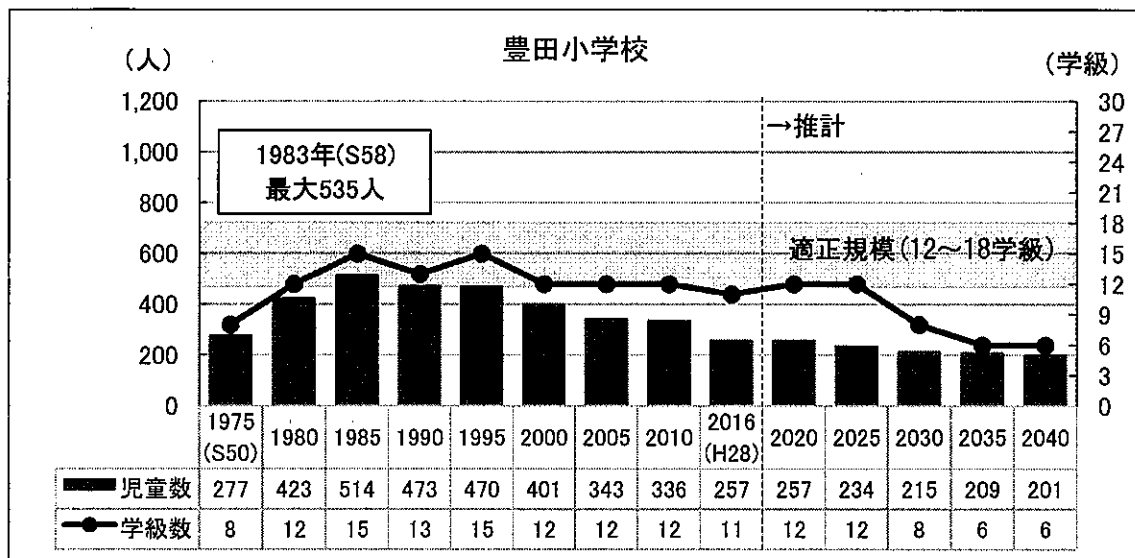
注) 創立年は各学校で作成している要覧から、主な構成施設は H29. 1. 1 現在の状況を記載。耐震補強については、S57 以降の建築物や面積の小さい建物は不要とされている。

②豊田小学校

学校概要

所在地	茂原市長尾 156	(写真)
創立年	1901 年 (明治 34 年)	
敷地面積	26,031 m ²	
延床面積	4,090 m ²	

児童数及び学級数の推移



※2016 年 (H28) までの数は、各年 5 月 1 日現在の実績

主な構成施設 (建築物のみ) ※RC 造…鉄筋コンクリート造、S 造…鉄骨造

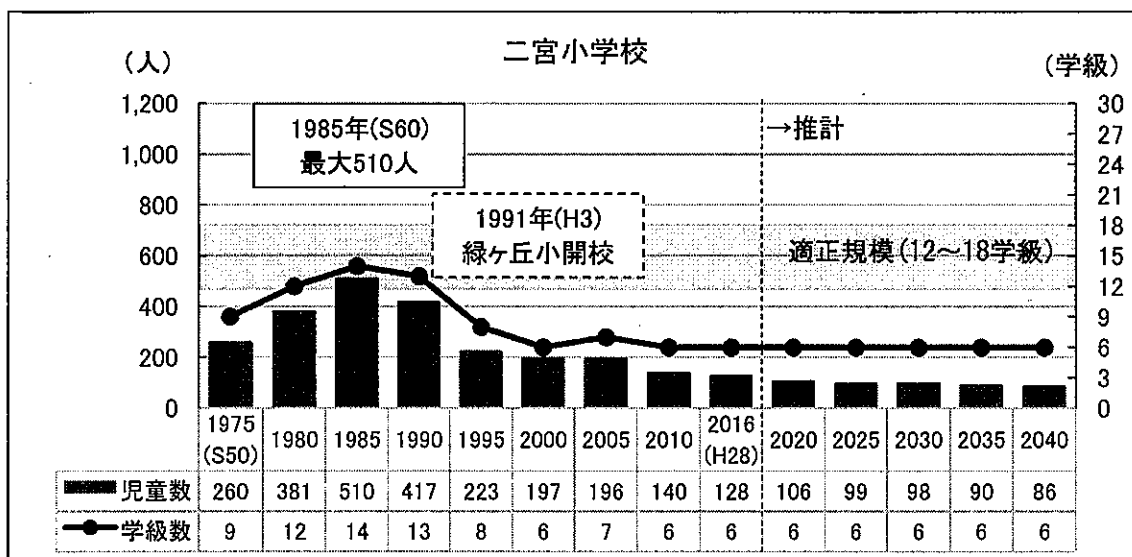
名称	建築	延床面積	構造	階	耐震補強	備考
管理教室棟	S48	1,720 m ²	RC 造	2	H27 実施済	H27 大規模改造
特別教室棟	H5	717 m ²	RC 造	2	不要	
普通教室棟	S53	667 m ²	RC 造	2	不要	
屋内運動場	S49	849 m ²	S 造	2	H23 実施済	H23 大規模改造
渡り廊下棟	S53	36 m ²	S 造	2	H27 実施済	H27 大規模改造
プール附属室	S63	66 m ²	S 造	1	不要	
倉庫	S26	35 m ²	木造	1	不要	

③二宮小学校

学校概要

所在地	茂原市国府関 1415-1	(写真)
創立年	1873 年 (明治 6 年)	
敷地面積	12,010 m ²	
延床面積	3,044 m ²	

児童数及び学級数の推移



※2016 年 (H28) までの数は、各年 5 月 1 日現在の実績

主な構成施設 (建築物のみ) ※RC 造…鉄筋コンクリート造、S 造…鉄骨造

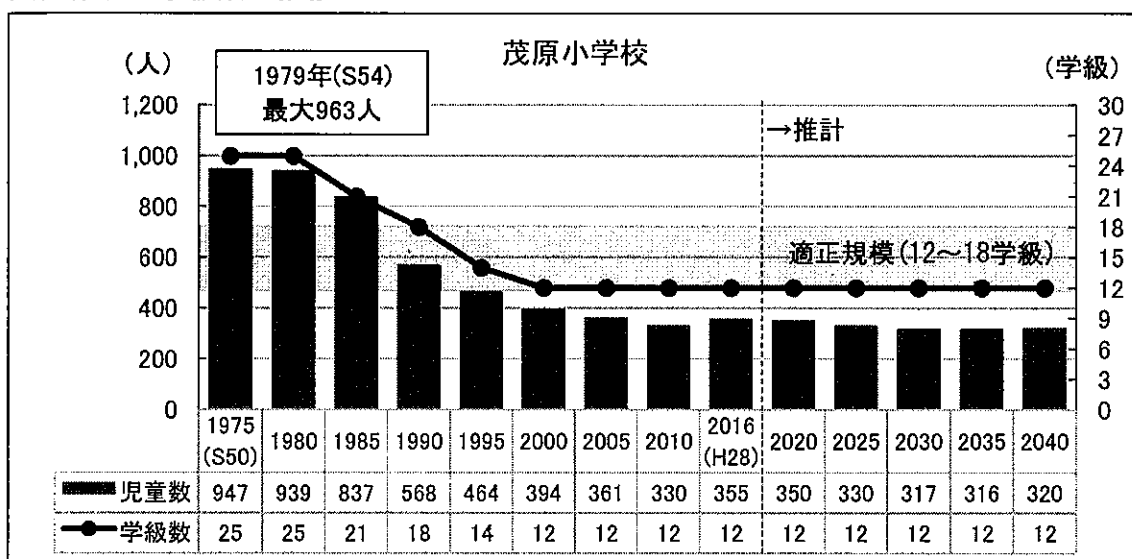
名称	建築	延床面積	構造	階	耐震補強	備考
管理教室棟	S41	1,311 m ²	RC 造	2	H26 実施済	H7 大規模改造
屋内運動場	S52	786 m ²	S 造	1	H25 実施済	H25 大規模改造
教室棟	S54	841 m ²	RC 造	3	H26 実施済	
プール附属室	S56	40 m ²	S 造	1	不要	
倉庫	S34	66 m ²	木造	1	不要	

④茂原小学校

学校概要

所在地	茂原市茂原 614	(写真)
創立年	1873 年 (明治 6 年)	
敷地面積	17,183 m ²	
延床面積	5,729 m ²	

児童数及び学級数の推移



※2016 年 (H28) までの数は、各年 5 月 1 日現在の実績

主な構成施設 (建築物のみ) ※RC 造…鉄筋コンクリート造、S 造…鉄骨造

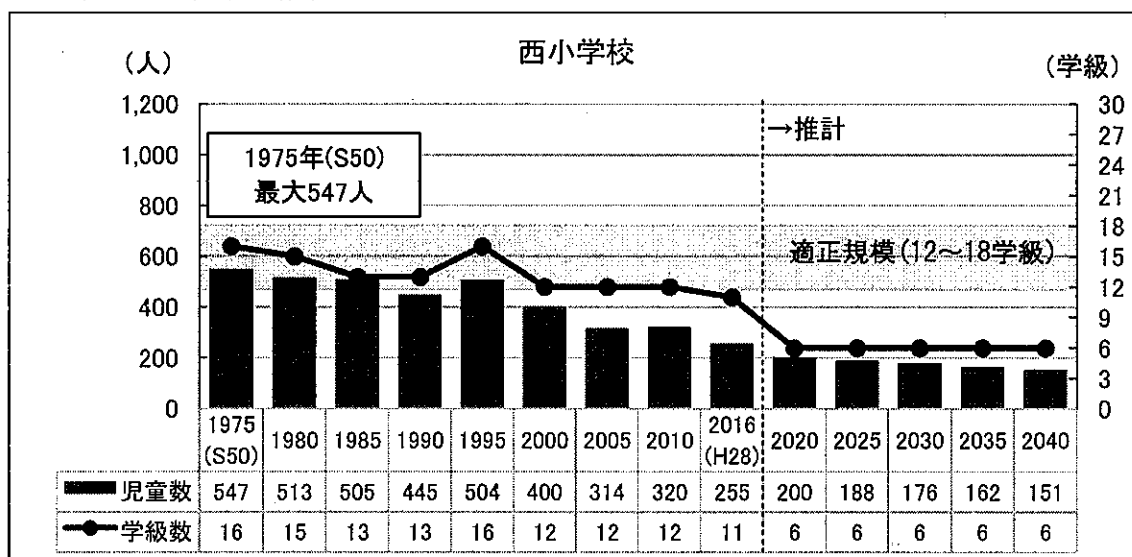
名称	建築	延床面積	構造	階	耐震補強	備考
教室棟	S42	2,044 m ²	RC 造	3	H11 実施済	
管理教室棟	S42	1,950 m ²	RC 造	3	H11 実施済	
渡り廊下棟	S42	214 m ²	RC 造	3	H27 実施済	
屋内運動場	S49	1,281 m ²	RC 造	3	H26 実施済	H26 大規模改造
給食室	S42	151 m ²	RC 造	3	不要	
プール附属室	S56	40 m ²	S 造	1	不要	
倉庫	S42	49 m ²	S 造	1	不要	

⑤西小学校

学校概要

所在地	茂原市茂原 1229-1	(写真)
創立年	1955 年 (昭和 30 年)	
敷地面積	18,789 m ²	
延床面積	4,620 m ²	

児童数及び学級数の推移



※2016 年 (H28) までの数は、各年 5 月 1 日現在の実績

主な構成施設 (建築物のみ) ※RC 造…鉄筋コンクリート造、S 造…鉄骨造

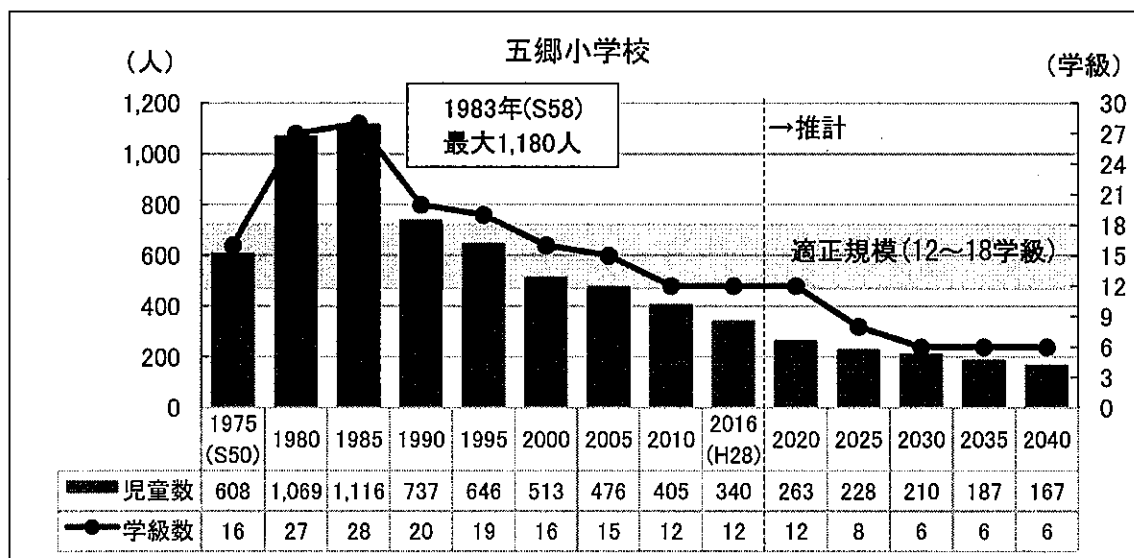
名称	建築	延床面積	構造	階	耐震補強	備考
普通・特別教室棟	S58	2,324 m ²	RC 造	3	不要	
普通・特別教室棟	H1	1,482 m ²	RC 造	3	不要	
屋内運動場	S42	657 m ²	S 造	2	H25 実施済	H25 大規模改造
プール附属室	H4	81 m ²	S 造	1	不要	
便所	S33	44 m ²	木造	1	不要	
倉庫	S51	32 m ²	木造	1	不要	

⑥五郷小学校

学校概要

所在地	茂原市網島 1185	(写真)
創立年	1910 年 (明治 43 年)	
敷地面積	18,801 m ²	
延床面積	5,075 m ²	

児童数及び学級数の推移



※2016 年 (H28) までの数は、各年 5 月 1 日現在の実績

主な構成施設 (建築物のみ) ※RC 造…鉄筋コンクリート造、S 造…鉄骨造

名称	建築	延床面積	構造	階	耐震補強	備考
管理教室棟	S40	1,428 m ²	RC 造	2	不要	H3 大規模改造
普通特別教室棟	S54	1,282 m ²	RC 造	3	H27 実施済	H27 大規模改造
普通教室棟	S50	1,264 m ²	RC 造	3	H27 実施済	H27 大規模改造
屋内運動場	S47	727 m ²	RC 造	2	H27 実施済	H27 大規模改造
給食棟	S56	179 m ²	S 造	1	不要	
プール附属室	S60	49 m ²	S 造	1	不要	
倉庫	H2	66 m ²	S 造	1	不要	
便所・倉庫棟	H28	80 m ²	RC 造	1	不要	

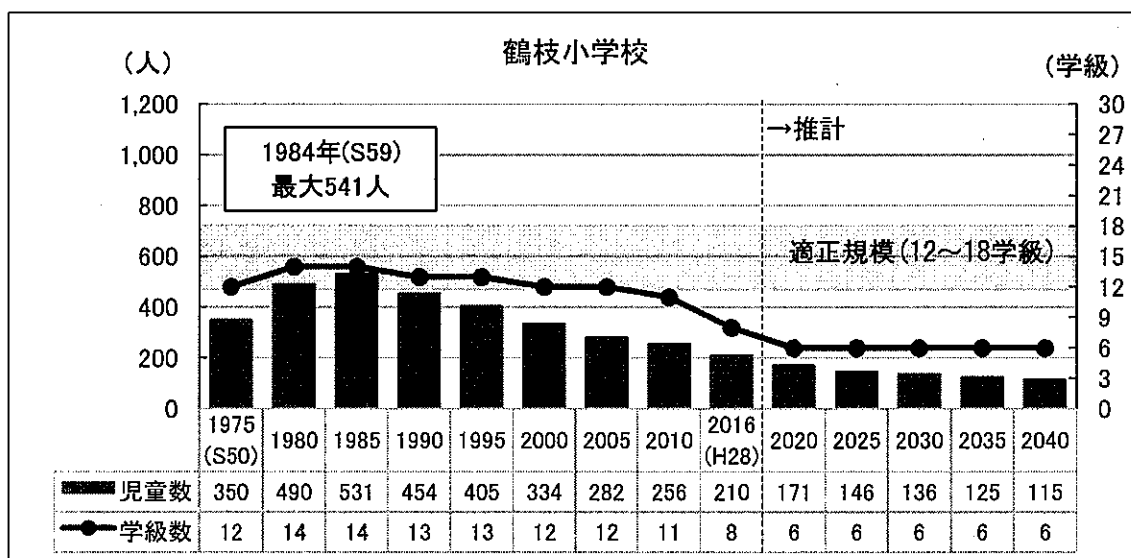
⑦鶴枝小学校

学校概要

所在地	茂原市上永吉 955
創立年	1873 年 (明治 6 年)
敷地面積	11,696 m ²
延床面積	3,892 m ²

(写真)

児童数及び学級数の推移



※2016 年 (H28) までの数は、各年 5 月 1 日現在の実績

主な構成施設 (建築物のみ) ※RC 造…鉄筋コンクリート造、S 造…鉄骨造

名称	建築	延床面積	構造	階	耐震補強	備考
管理教室棟	S54	2,972 m ²	RC 造	3	H26 実施済	
屋内運動場	S51	784 m ²	S 造	1	H25 実施済	H25 大規模改造
給食棟	S54	96 m ²	RC 造	1	不要	
プール附属室	S55	40 m ²	S 造	1	不要	
体育倉庫	S55	21 m ²	S 造	1	不要	

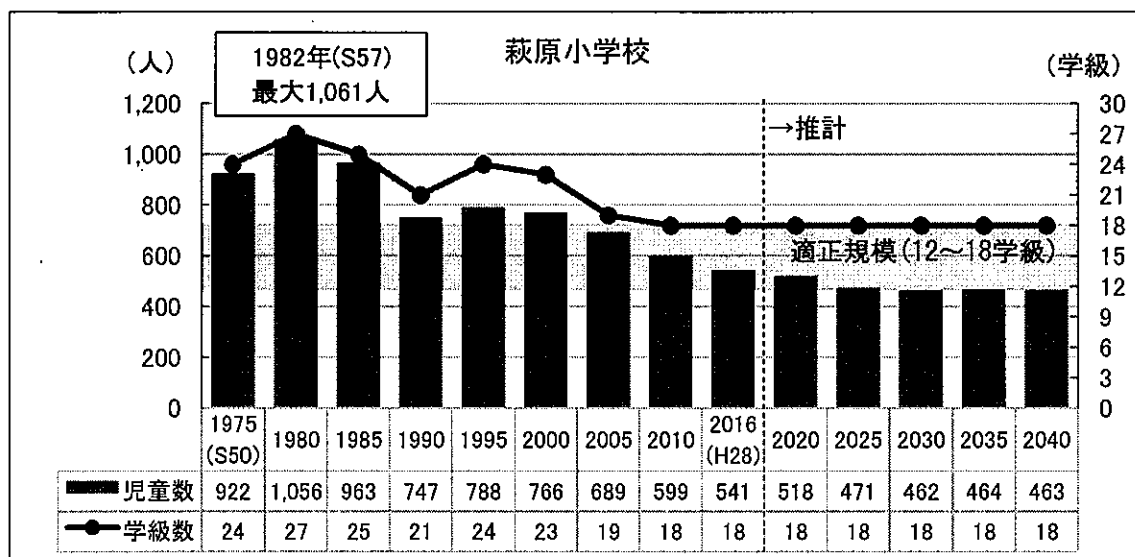
⑧萩原小学校

学校概要

所在地	茂原市萩原町 1-17
創立年	1965 年（昭和 40 年）
敷地面積	23,141 m ²
延床面積	6,148 m ²

（写真）

児童数及び学級数の推移



※2016 年（H28）までの数は、各年 5 月 1 日現在の実績

主な構成施設（建築物のみ） ※RC 造…鉄筋コンクリート造、S 造…鉄骨造

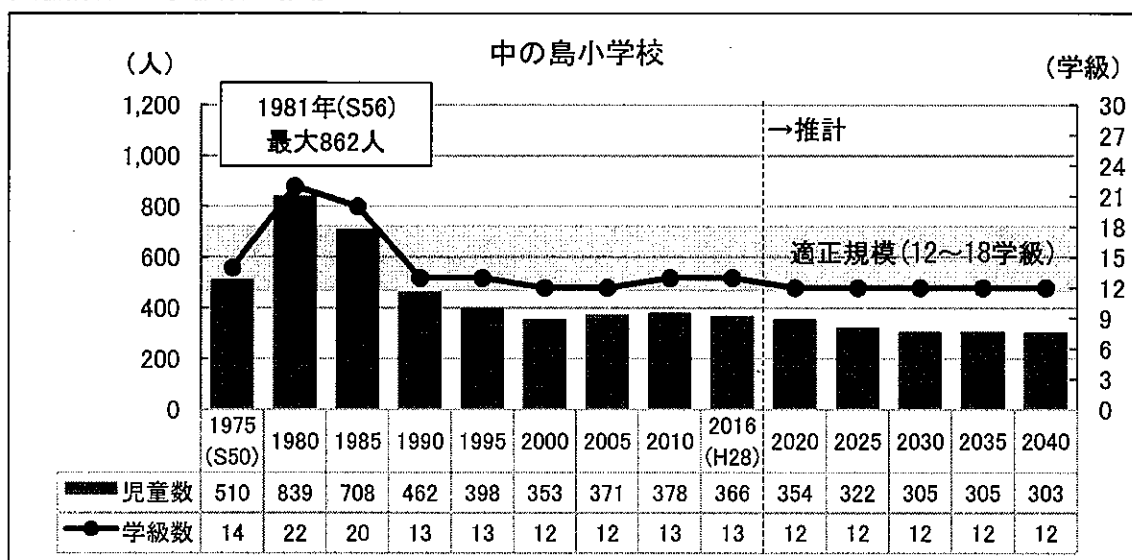
名称	建築	延床面積	構造	階	耐震補強	備考
普通特別教室棟	S40	940 m ²	RC 造	2	H27 実施済	
普通教室棟	H22	3,035 m ²	RC 造	2	不要	
特別教室棟	H22	663 m ²	RC 造	1	不要	
昇降口棟	H22	111 m ²	RC 造	1	不要	
渡り廊下棟	H22	42 m ²	S 造	1	不要	
屋内運動場	S46	905 m ²	S 造	2	H25 実施済	H25 大規模改造
プール附属室	S54	46 m ²	S 造	1	不要	
その他	S25	326 m ²	木造	1	不要	
便所倉庫棟	H25	80 m ²	RC 造	1	不要	

⑨中の島小学校

学校概要

所在地	茂原市中の島町 451	(写真)
創立年	1970 年 (昭和 45 年)	
敷地面積	17,733 m ²	
延床面積	4,752 m ²	

児童数及び学級数の推移



※2016 年 (H28) までの数は、各年 5 月 1 日現在の実績

主な構成施設 (建築物のみ) ※RC 造…鉄筋コンクリート造、S 造…鉄骨造

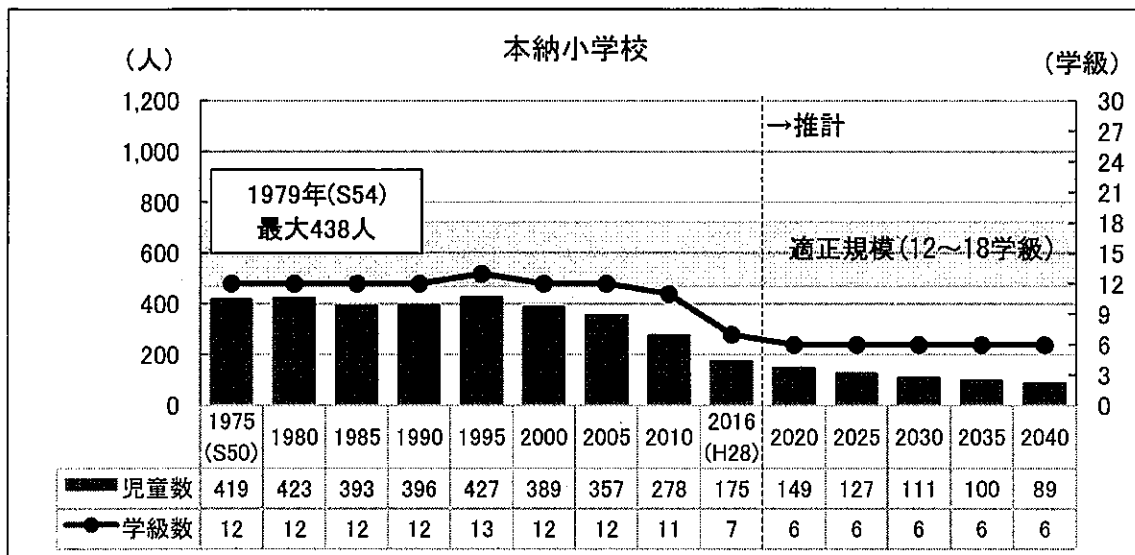
名称	建築	延床面積	構造	階	耐震補強	備考
管理教室棟	S45	1,553 m ²	RC 造	2	H26 実施済	H26 大規模改造
管理教室棟	S49	965 m ²	RC 造	3	H26 実施済	H26 大規模改造
普通特別教室棟	S53	1,329 m ²	RC 造	3	H26 実施済	H26 大規模改造
屋内運動場	S50	831 m ²	RC 造	2	H25 実施済	H25 大規模改造
プール附属室	S54	40 m ²	S 造	1	不要	
倉庫	H14	34 m ²	S 造	1	不要	

⑩本納小学校

学校概要

所在地	茂原市本納 1987	(写真)
創立年	1898 年 (明治 31 年)	
敷地面積	13,352 m ²	
延床面積	3,737 m ²	

児童数及び学級数の推移



※2016 年 (H28) までの数は、各年 5 月 1 日現在の実績

主な構成施設 (建築物のみ) ※RC 造…鉄筋コンクリート造、S 造…鉄骨造

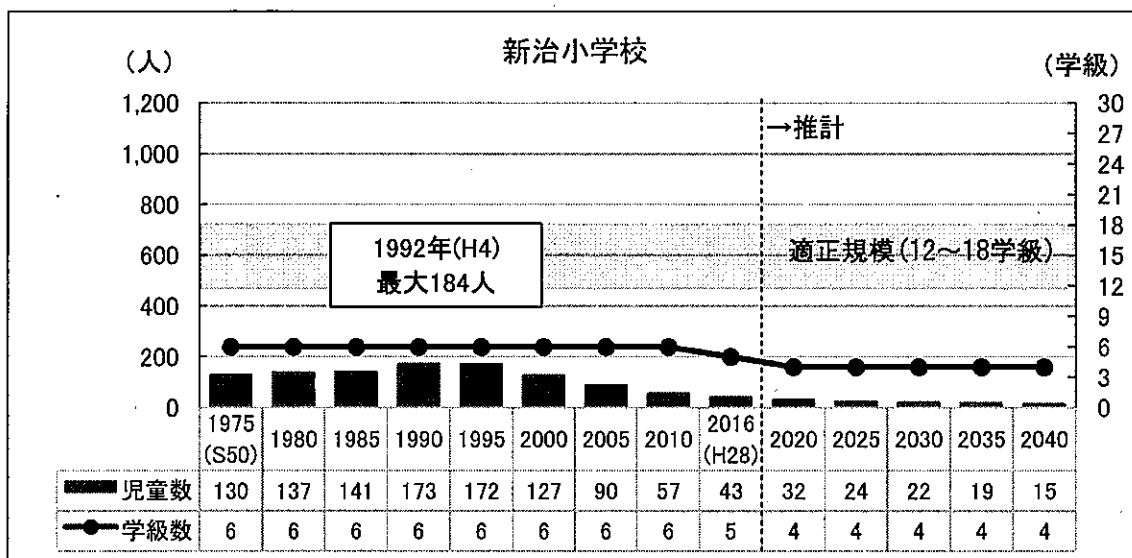
名称	建築	延床面積	構造	階	耐震補強	備考
管理教室棟	S48	2,984 m ²	RC 造	3	H26 実施済	
屋内運動場	S48	680 m ²	RC 造	2	H26 実施済	H26 大規模改造
プール附属室	S57	40 m ²	S 造	1	不要	
倉庫	H4	33 m ²	木造	1	不要	

⑪新治小学校

学校概要

所在地	茂原市下太田 150	(写真)
創立年	1889 年 (明治 22 年)	
敷地面積	8,770 m ²	
延床面積	3,010 m ²	

児童数及び学級数の推移



※2016 年 (H28) までの数は、各年 5 月 1 日現在の実績

主な構成施設（建築物のみ） ※RC 造…鉄筋コンクリート造、S 造…鉄骨造

名称	建築	延床面積	構造	階	耐震補強	備考
管理教室棟	H2	1,573 m ²	RC 造	3	不要	
特別教室棟	S56	575 m ²	RC 造	2	不要	
屋内運動場	S57	781 m ²	S 造	1	不要	
プール附属室	H2	81 m ²	S 造	1	不要	

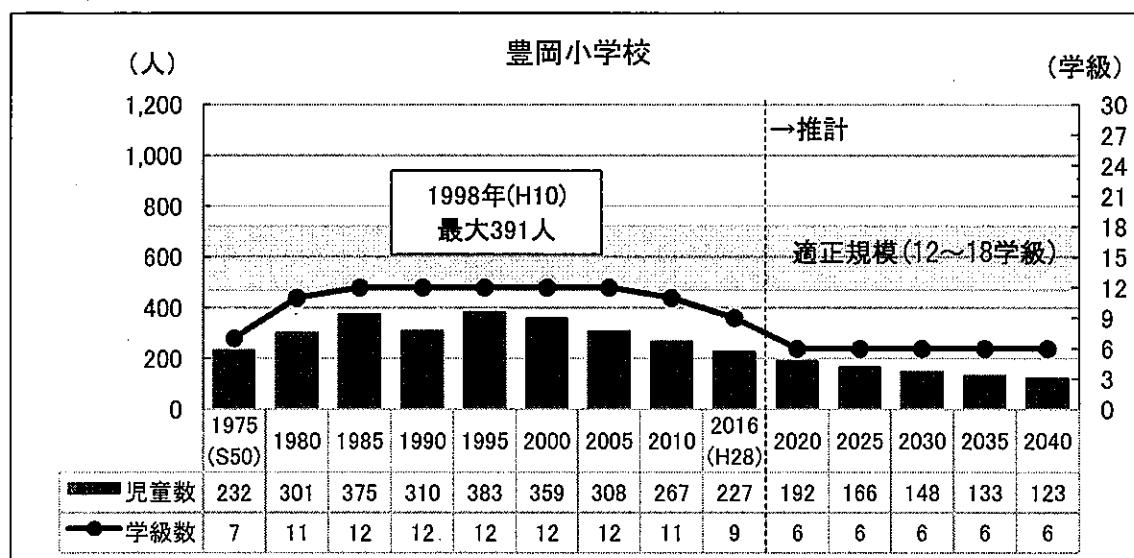
⑫豊岡小学校

学校概要

所在地	茂原市弓渡 255
創立年	1912 年（大正 1 年）
敷地面積	18,540 m ²
延床面積	3,660 m ²

（写真）

児童数及び学級数の推移



※2016 年（H28）までの数は、各年 5 月 1 日現在の実績

主な構成施設（建築物のみ） ※RC 造…鉄筋コンクリート造、S 造…鉄骨造

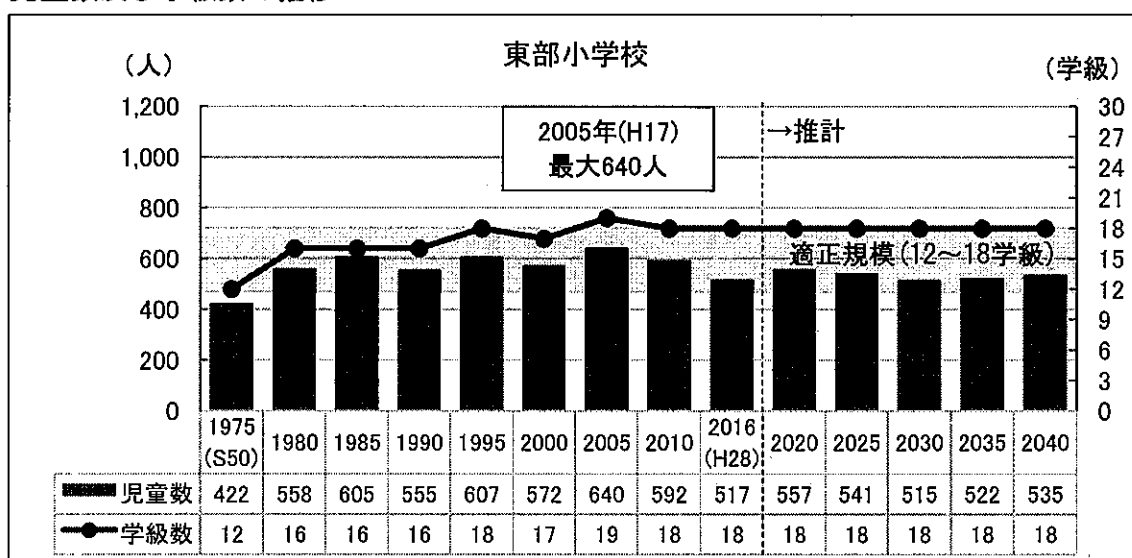
名称	建築	延床面積	構造	階	耐震補強	備考
管理教室棟	S46	919 m ²	RC 造	2	不要	H9 大規模改造
管理及び特別教室棟	S48	1,237 m ²	RC 造	2	不要	
渡り廊下	S48	36 m ²	S 造	2	不要	
屋内運動場	S48	721 m ²	S 造	2	H23 実施済	H23 大規模改造
教室棟	S61	701 m ²	RC 造	3	不要	
プール附属室	S53	46 m ²	S 造	1	不要	

⑬東部小学校

学校概要

所在地	茂原市東部台 1-9-1	(写真)
創立年	1975 年 (昭和 50 年)	
敷地面積	23,681 m ²	
延床面積	4,739 m ²	

児童数及び学級数の推移



※2016 年 (H28) までの数は、各年 5 月 1 日現在の実績

主な構成施設（建築物のみ） ※RC 造…鉄筋コンクリート造、S 造…鉄骨造

名称	建築	延床面積	構造	階	耐震補強	備考
管理教室棟	S50	3,128 m ²	RC 造	3	H27 実施済	
教室棟	H3	717 m ²	RC 造	3	不要	
屋内運動場	S53	796 m ²	S 造	1	H23 実施済	H23 大規模改造
プール附属室	S53	46 m ²	S 造	1	不要	
倉庫	S59	52 m ²	S 造	1	不要	

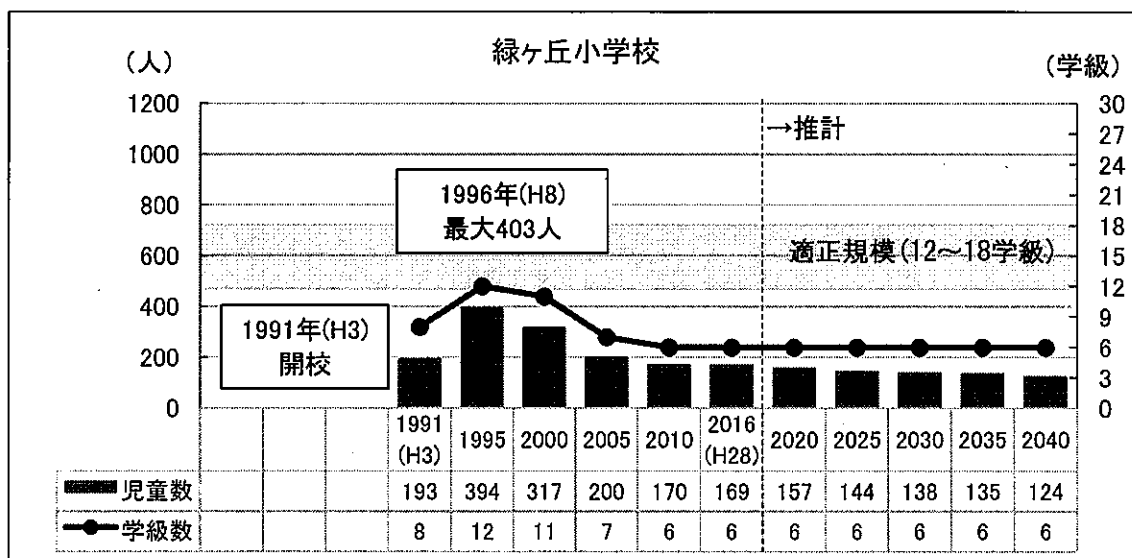
⑭緑ヶ丘小学校

学校概要

所在地	茂原市緑ヶ丘 4-38
創立年	1991 年（平成 3 年）
敷地面積	25,959 m ²
延床面積	5,603 m ²

(写真)

児童数及び学級数の推移



※2016 年（H28）までの数は、各年 5 月 1 日現在の実績

主な構成施設（建築物のみ） ※RC 造…鉄筋コンクリート造、S 造…鉄骨造

名称	建築	延床面積	構造	階	耐震補強	備考
管理教室棟	H3	3,668 m ²	RC 造	3	不要	
特別教室棟	H3	726 m ²	RC 造	2	不要	
屋内運動場	H3	1,093 m ²	S 造	2	不要	
プール附属室	H3	70 m ²	S 造	1	不要	
倉庫	H3	46 m ²	S 造	1	不要	

(2) 中学校

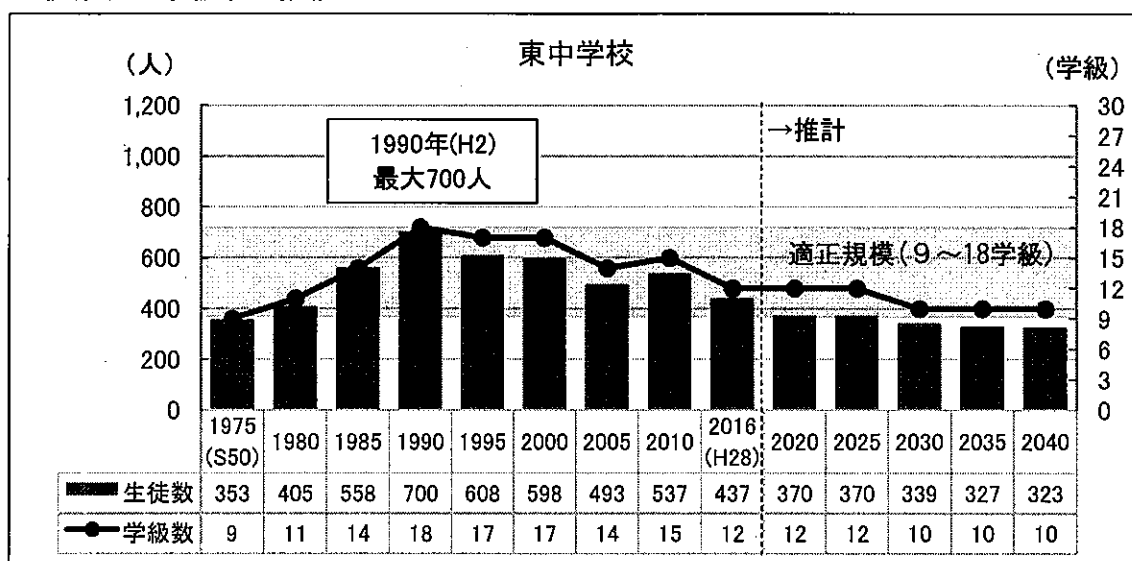
①東中学校

学校概要

所在地	茂原市東郷 301
創立年	1961 年 (昭和 36 年)
敷地面積	26,393 m ²
延床面積	6,286 m ²

(写真)

生徒数及び学級数の推移



※2016 年 (H28) までの数は、各年 5 月 1 日現在の実績

主な構成施設 (建築物のみ) ※RC 造…鉄筋コンクリート造、S 造…鉄骨造

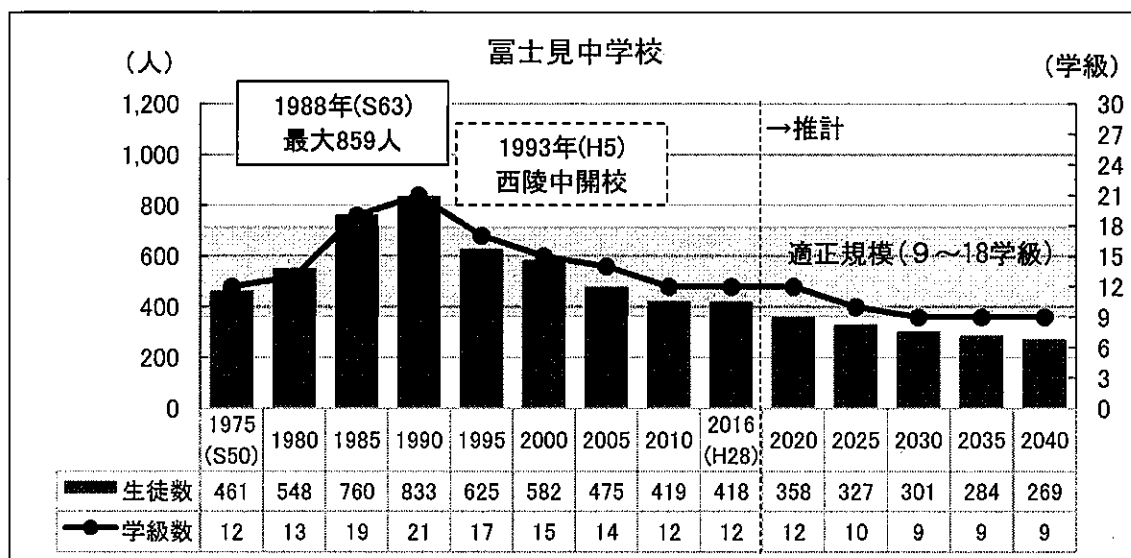
名称	建築	延床面積	構造	階	耐震補強	備考
管理教室棟	S35	975 m ²	RC 造	2	H26 実施済	H2 大規模改造
管理教室棟	S36	811 m ²	RC 造	2	H26 実施済	H2 大規模改造
普通特別教室棟	S60	1,271 m ²	RC 造	3	不要	
普通特別教室棟	H7	1,226 m ²	RC 造	2	不要	
屋内運動場	H22	1,134 m ²	RC 造	2	不要	
柔剣道場	H4	525 m ²	S 造	1	不要	
その他	S36	50 m ²	木造	1	不要	
その他	S55	84 m ²	S 造	1	不要	
卓球場	S38	149 m ²	S 造	1	不要	
便所棟	H28	58 m ²	S 造	1	不要	

②富士見中学校

学校概要

所在地	茂原市押日 1468	(写真)
創立年	1955 年 (昭和 30 年)	
敷地面積	39,689 m ²	
延床面積	7,342 m ²	

生徒数及び学級数の推移



※2016 年 (H28) までの数は、各年 5 月 1 日現在の実績

主な構成施設 (建築物のみ) ※RC 造…鉄筋コンクリート造、S 造…鉄骨造

名称	建築	延床面積	構造	階	耐震補強	備考
管理教室棟	S54	3,133 m ²	RC 造	3	H23 実施済	
特別教室棟	S54	1,497 m ²	RC 造	3	H26 実施済	
普通特別教室棟	S59	1,114 m ²	RC 造	3	不要	
屋内運動場	S55	945 m ²	RC 造	1	不要	
柔剣道場	H4	525 m ²	S 造	1	不要	
プール附属室	S55	47 m ²	S 造	1	不要	
クラブ室	S56	81 m ²	S 造	1	不要	

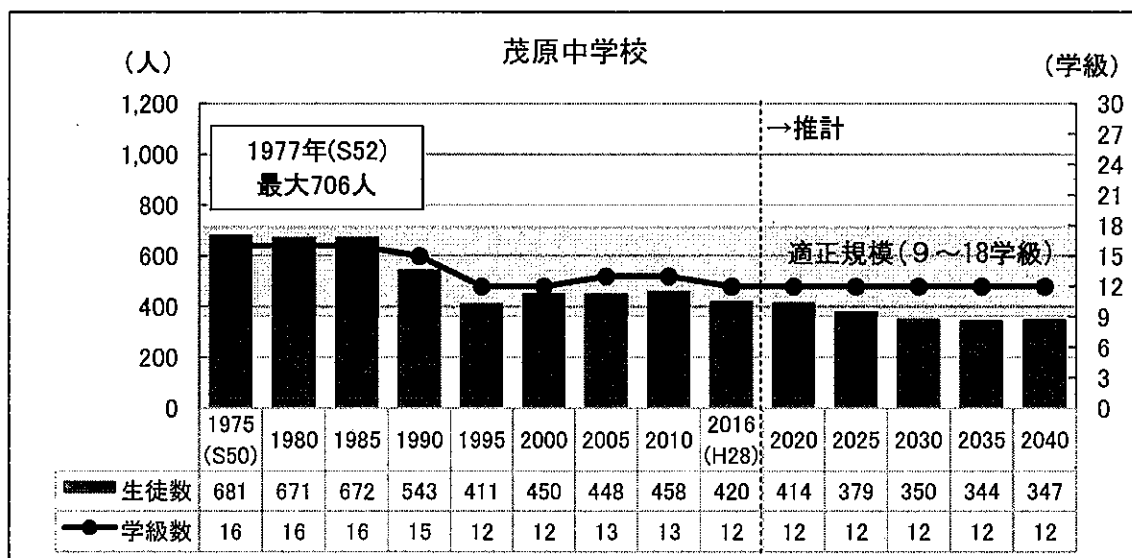
③茂原中学校

学校概要

所在地	茂原市高師 427
創立年	1947 年 (昭和 22 年)
敷地面積	44,598 m ²
延床面積	7,699 m ²

(写真)

生徒数及び学級数の推移



※2016 年 (H28) までの数は、各年 5 月 1 日現在の実績

主な構成施設 (建築物のみ) ※RC 造…鉄筋コンクリート造、S 造…鉄骨造

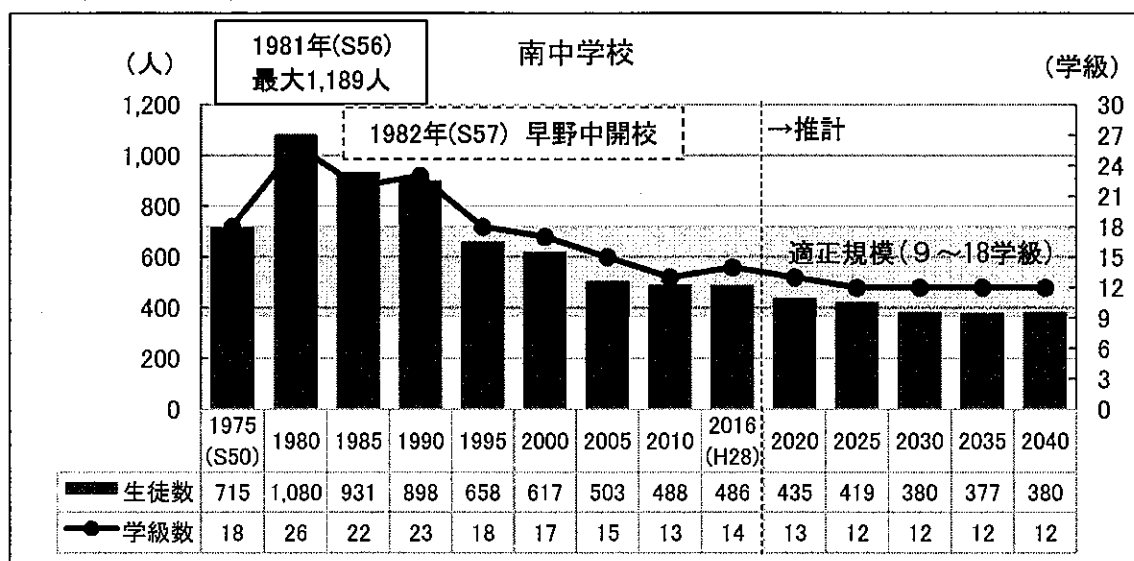
名称	建築	延床面積	構造	階	耐震補強	備考
管理特別教室棟	H14	1,312 m ²	RC 造	2	不要	
管理特別教室棟	H14	1,457 m ²	RC 造	2	不要	
普通教室棟	H14	2,229 m ²	RC 造	3	不要	
特別教室棟	S63	671 m ²	RC 造	3	不要	
技術科教室棟	H3	199 m ²	S 造	1	不要	
屋内運動場	H22	1,148 m ²	RC 造	2	不要	
柔剣道場	H3	525 m ²	S 造	1	不要	
クラブ室	H5	84 m ²	S 造	1	不要	
その他	H14	40 m ²	RC 造	1	不要	
その他	H14	34 m ²	S 造	1	不要	

④南中学校

学校概要

所在地	茂原市上永吉 1185-2	(写真)
創立年	1960 年 (昭和 35 年)	
敷地面積	83,940 m ²	
延床面積	9,295 m ²	

生徒数及び学級数の推移



※2016 年 (H28) までの数は、各年 5 月 1 日現在の実績

主な構成施設 (建築物のみ) ※RC 造…鉄筋コンクリート造、S 造…鉄骨造

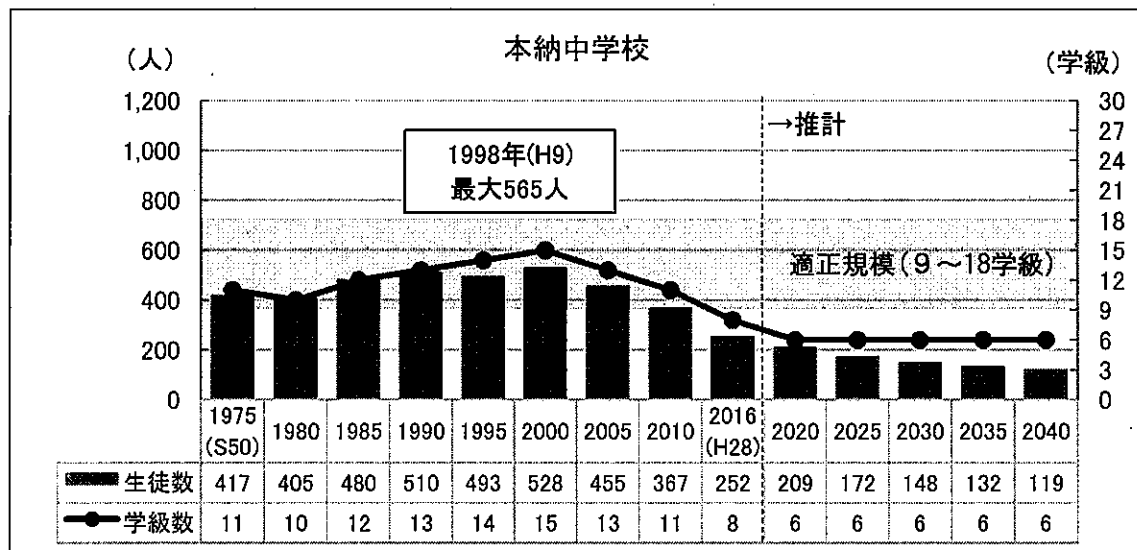
名称	建築	延床面積	構造	階	耐震補強	備考
管理教室棟	S62	2,841 m ²	RC 造	3	不要	
管理教室棟	S62	1,645 m ²	RC 造	3	不要	
特別教室棟	S62	2,191 m ²	RC 造	3	不要	
特別教室棟	S62	331 m ²	RC 造	3	不要	
技術科室棟	S62	298 m ²	S 造	1	不要	
屋内運動場	S62	1,253 m ²	RC 造	2	不要	
柔剣道場	H5	532 m ²	S 造	1	不要	
クラブ室	S63	49 m ²	S 造	1	不要	
クラブ室	S63	32 m ²	S 造	1	不要	
プール附属室	H1	85 m ²	S 造	1	不要	
その他	H4	38 m ²	木造	1	不要	

⑤本納中学校

学校概要

所在地	茂原市本納 1623	(写真)
創立年	1947 年 (昭和 22 年)	
敷地面積	25,668 m ²	
延床面積	6,203 m ²	

生徒数及び学級数の推移



※2016 年 (H28) までの数は、各年 5 月 1 日現在の実績

主な構成施設 (建築物のみ) ※RC 造…鉄筋コンクリート造、S 造…鉄骨造

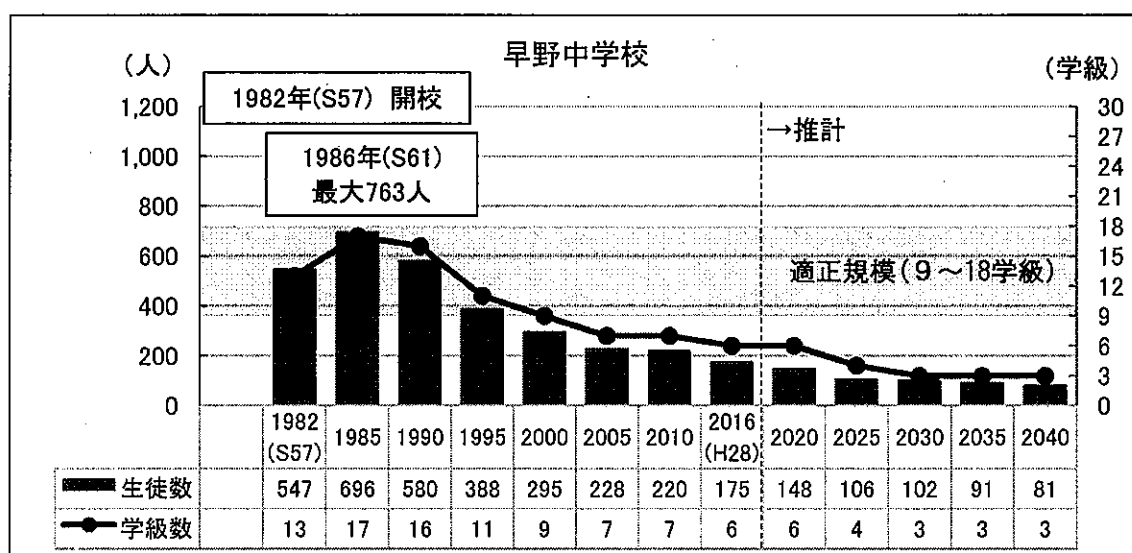
名称	建築	延床面積	構造	階	耐震補強	備考
管理教室棟	S43	2,709 m ²	RC 造	3	H22 実施済	H22 大規模改造
特別教室棟	S45	1,908 m ²	RC 造	2	H26 実施済	H26 大規模改造
屋内運動場	S49	812 m ²	S 造	1	H26 実施済	H26 大規模改造
柔剣道場	H3	525 m ²	S 造	1	不要	
プール附属室	S49	48 m ²	S 造	1	不要	
クラブ室	S56	121 m ²	S 造	1	不要	
倉庫	H27	40 m ²	S 造	1	不要	
便所	H27	40 m ²	S 造	1	不要	

⑥早野中学校

学校概要

所在地	茂原市早野 206-1	(写真)
創立年	1982 年 (昭和 57 年)	
敷地面積	29,573 m ²	
延床面積	6,087 m ²	

生徒数及び学級数の推移



※2016 年 (H28) までの数は、各年 5 月 1 日現在の実績

主な構成施設 (建築物のみ) ※RC 造…鉄筋コンクリート造、S 造…鉄骨造

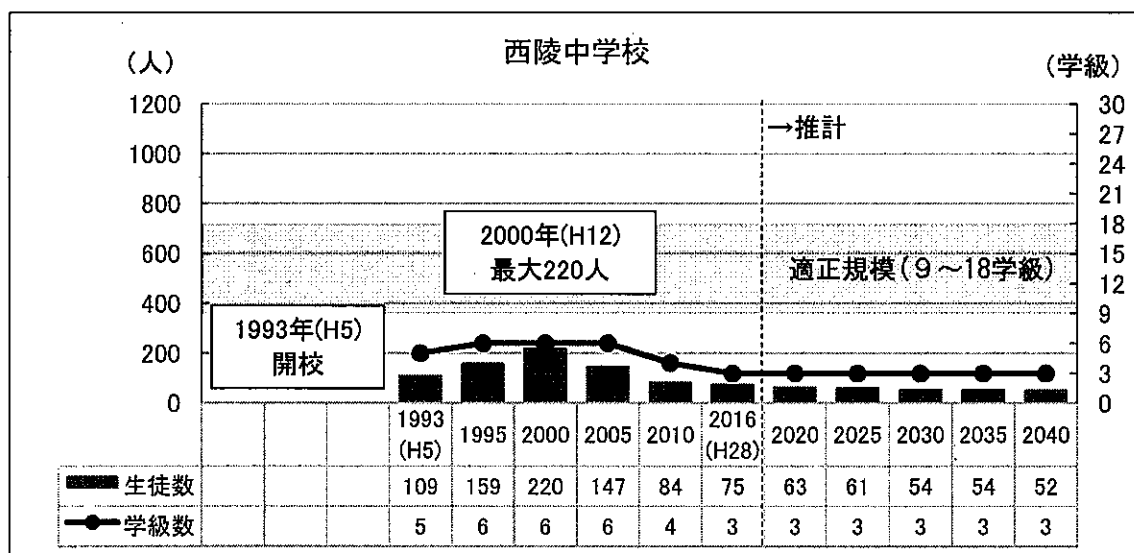
名称	建築	延床面積	構造	階	耐震補強	備考
管理教室棟	S57	4,463 m ²	RC 造	4	H26 実施済	
屋内運動場	S58	948 m ²	RC 造	2	不要	
柔剣道場	H5	566 m ²	S 造	2	不要	
プール附属室	S58	60 m ²	S 造	1	不要	
クラブ室等	S58	50 m ²	S 造	1	不要	

⑦西陵中学校

学校概要

所在地	茂原市緑ヶ丘 1-53	(写真)
創立年	1993 年 (平成 5 年)	
敷地面積	24,386 m ²	
延床面積	6,008 m ²	

生徒数及び学級数の推移



※2016 年 (H28) までの数は、各年 5 月 1 日現在の実績

主な構成施設 (建築物のみ) ※RC 造…鉄筋コンクリート造、S 造…鉄骨造

名称	建築	延床面積	構造	階	耐震補強	備考
管理教室棟	H5	4,223 m ²	RC 造	4	不要	
屋内運動場	H5	1,664 m ²	RC 造	3	不要	
プール附属室	H5	121 m ²	RC 造	1	不要	

4. 保護者アンケートの概要

(1) 実施概要

対象者	茂原市立小中学校の児童生徒の保護者全員
実施期間	平成 28 年 11 月 21 日(月)～11 月 30 日(水)
実施方法	各学校を通じて配付、回収
配付数	6,377 (小学校 4,115、中学校 2,262 H28.10.1 現在数)
提出数	3,715 (小学校 2,474、中学校 1,241)
回答率	58.3% (小学校 60.1%、中学校 54.9%)

※回答率について：学校に通う児童生徒が複数いる家庭で、学校で重複配付しないようにしたり、各家庭で1枚だけ提出したりしている場合がある。

(2) 回答概要 ※端数処理や複数回答のため、合計が 100%にならない場合がある。

Q2 小規模校に対する考えで最も近いもの(1つ)

選択肢	小学校	中学校	全体
1. 小規模校が統廃合されることはやむを得ない	63.9%	65.4%	64.4%
2. 小規模校は積極的に統廃合すべき	6.3%	5.8%	6.1%
3. 小規模校でもできるだけ統廃合は避けるべき	20.0%	19.2%	19.7%
4. わからない	8.8%	8.6%	8.7%
その他(白紙、複数回答など)	1.0%	1.0%	1.0%

Q3 子どもが通う小中学校が統廃合される場合に心配な点(3つ以内)

選択肢	小学校	中学校	全体
1. 環境変化による子どもへの影響	60.0%	61.6%	60.6%
2. 家から学校までの距離や通学時間	85.5%	81.8%	84.3%
3. 通学路の安全確保	54.0%	49.5%	52.5%
4. 通学手段	51.0%	43.4%	48.4%
5. 現在の学校跡地がどうなるのか	4.5%	6.3%	5.1%
6. わからない	0.8%	1.6%	1.1%
7. その他	1.5%	1.5%	1.5%

Q4 学校の統廃合を審議するにあたり配慮してほしいこと(3つ以内)

選択肢	小学校	中学校	全体
1. 一定の集団規模(児童生徒数)の確保	45.7%	44.9%	45.4%
2. 統合後の学校の建物や施設の整備	48.9%	46.6%	48.2%
3. 児童生徒の通学手段	84.5%	77.3%	82.1%
4. 地域活動とのつながり	15.2%	14.5%	15.0%
5. 廃校される学校の跡地利用	12.2%	14.5%	13.0%
6. わからない	2.6%	3.8%	3.0%
7. その他	3.3%	2.3%	2.9%

(3) 保護者アンケート用紙

茂原市立小中学校の再編に係るアンケート調査 ご協力のお願い

保護者の皆さまには、日頃より茂原市の教育行政に対しご理解ご協力をいただき、厚く御礼申し上げます。

さて、本市では少子化により児童生徒数が減少し、多くの小中学校が小規模化しており、集団の中で多様な考えに触れ切磋琢磨することを通じて、一人ひとりの資質や能力を伸ばしていく環境の確保が難しくなっております。

教育委員会では、「茂原市学校再編計画審議会」を10月に設置し、子どもたちにとってよりよい教育環境を確保するために審議を行っており、その資料とするため、全小中学生の保護者に対しアンケートを実施することといたしました。

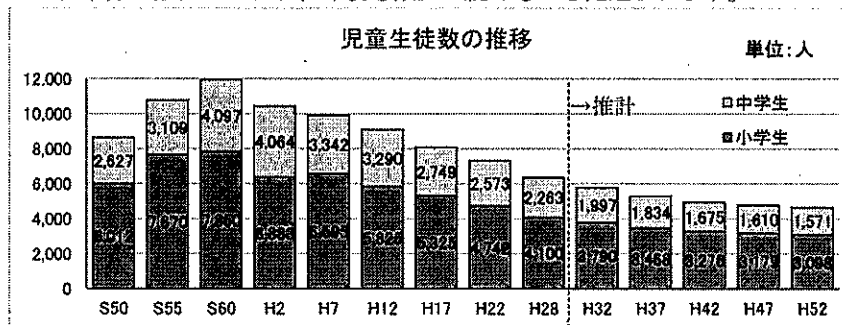
皆さまにおかれましては、以下に記載した現状を把握していただき、率直な意見を伺いたいと存じますので、11月30日(水)までに各小中学校へ提出くださるよう、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

平成28年11月

茂原市教育委員会

1. 茂原市の児童生徒数について

平成28年度の小学生は4,100人、中学生は2,263人で、それぞれピーク時の約半分に減少しており、今後も減少が続くものと見込まれます。



※茂原市人口ビジョンの基礎となる人数より推計

2. 小規模校の課題等について

学校が小規模化することにより、一人ひとりに目が届きやすい反面、以下のような課題が考えられます。

- ・集団の中で切磋琢磨できる機会が少なくなりやすい。
- ・クラス替えが困難なことなどから、人間関係が固定化しやすい。
- ・学校行事や部活動等に制約が生じやすい。
- ・PTA活動等における保護者一人当たりの負担が大きくなりやすい。

※文部科学省HP「小・中学校の設置・運営の在り方等に関する作業部会」資料より抜粋

3. 西陵中学校と富士見中学校の統合について

西陵中学校は、平成 23 年度から各学年 1 学級の状態が続き、各種活動等に影響が出ているため、富士見中学校との学校選択制を導入しています。

今後の児童生徒数の傾向により、富士見中学校と統合するか、教育委員会が判断する旨をすでに決定しております。

4. 小中学校の適正規模について

文部科学省では、平成 27 年 1 月に「公立小学校・中学校の適正規模・適正配置等に関する手引」を策定しました。

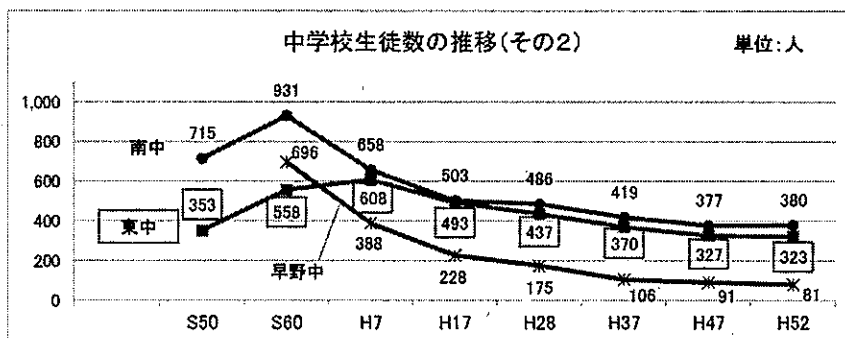
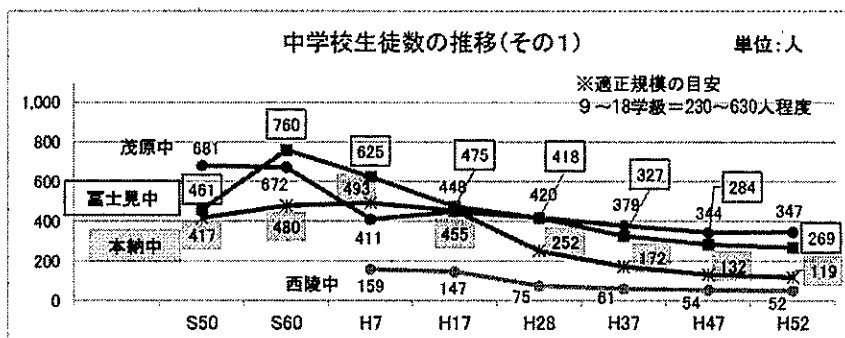
これを受け、茂原市教育委員会では、平成 27 年 3 月に小中学校の適正規模を以下のとおり定めました。

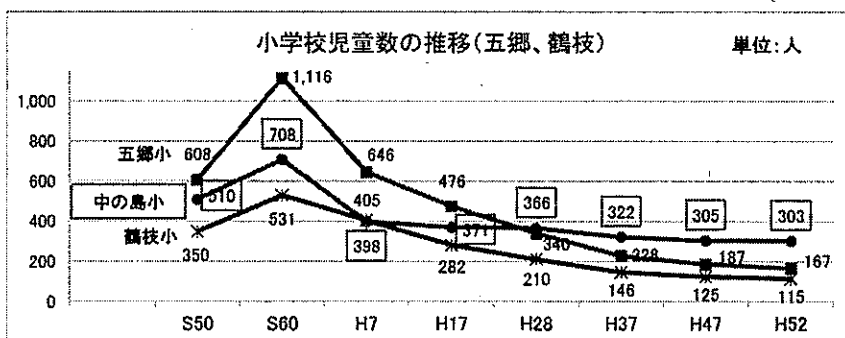
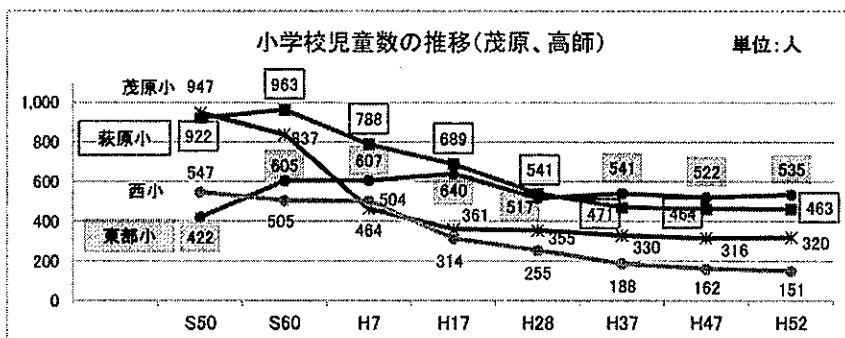
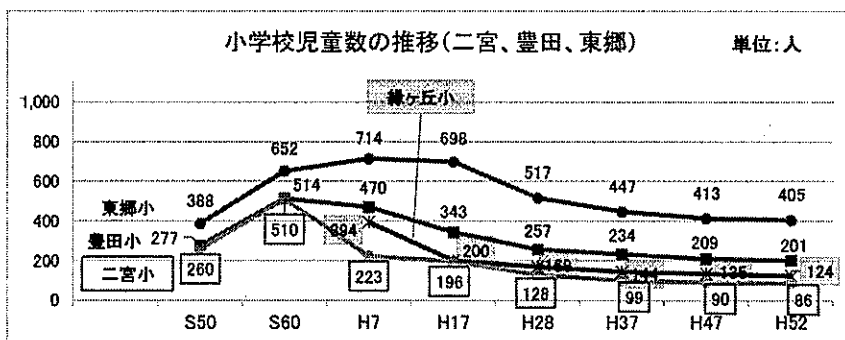
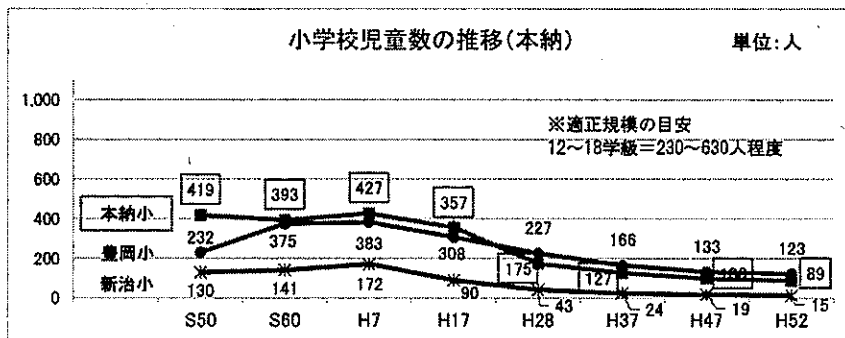
小学校	12 学級以上 18 学級以下（1 学年 2～3 学級）
中学校	9 学級以上 18 学級以下（1 学年 3～6 学級）

5. 小中学校ごとの児童生徒数推移について

児童生徒数推移を学校ごとに見ると、以下のようになります。

平成 28 年時点で適正規模を満たす学校は、小学校が 14 校中 6 校（東郷小、茂原小、五郷小、萩原小、中の島小、東部小）、中学校が 7 校中 4 校（東中、富士見中、茂原中、南中）となっています。





茂原市学校再編に関するアンケート

Q 1 お子さまが通う小中学校名をお書きください。

Q 2 茂原市の児童生徒数は減少し、適正規模に満たない小中学校（小規模校といいますが）がありますが、あなたの考えに最も近いものはどれですか。1つ選んで○をつけてください。

1. 小規模校が統廃合されることはやむを得ない
2. 小規模校は積極的に統廃合をすべきである
3. 児童生徒数が少なくても、できるだけ統廃合は避けるべきである
4. わからない

Q 3 自分のお子さまが通う小中学校が統廃合される場合、心配な点は何ですか。あてはまるもの3つ以内に○をつけてください。

1. 環境変化による子どもへの影響
2. 家から学校までの距離や通学時間
3. 通学路の安全確保
4. 通学手段
5. 現在の学校跡地がどうなるのか
6. わからない
7. その他（ ）

Q 4 学校の統廃合を審議するにあたり、配慮してほしいことは何ですか。あてはまるもの3つ以内に○をつけてください。

1. 一定の集団規模（児童生徒数）の確保
2. 統合後の学校の建物や施設の整備
3. 児童生徒の通学手段
4. 地域活動とのつながり
5. 廃校される学校の跡地利用
6. わからない
7. その他（ ）

Q 5 その他、学校再編に関する意見があればご自由にお書きください。

以上でアンケートは終わりです。11月30日（水）までに、各学校へこの用紙を提出してください。ご協力ありがとうございました。

なお、このアンケートや審議会の資料については、市教育委員会のホームページに掲載しております。

お問い合わせ先：茂原市教育委員会教育総務課 TEL 20-1557

4

--

1. 小規模校が統廃合されることはやむを得ない
2. 小規模校は積極的に統廃合をすべきである
3. 児童生徒数が少なくても、できるだけ統廃合は避けるべきである
4. わからない

1. 環境変化による子どもへの影響
2. 家から学校までの距離や通学時間
3. 通学路の安全確保
4. 通学手段
5. 現在の学校跡地がどうなるのか
6. わからない
7. その他 ()

1. 一定の集団規模（児童生徒数）の確保
2. 統合後の学校の建物や施設の整備
3. 児童生徒の通学手段
4. 地域活動とのつながり
5. 廃校される学校の跡地利用
6. わからない
7. その他（ ）

お問い合わせ先：茂原市教育委員会教育総務課 TEL 20-1557

5. 計画素案に対するパブリックコメントの概要

- ・意見の募集期間 平成 29 年 1 月 27 日～2 月 27 日
- ・提出者数及び件数 ○人 ○件
- ・パブリックコメントの結果

区分	説明	件数
A	意見を反映し、素案を修正したもの	
B	既に素案に盛り込まれているものや実施するうえで参考とするもの	
C	意見を反映しないで、素案どおりとしたもの	
D	その他の意見・要望・質問、素案とは直接関係ないもの	

- ・いただいた意見の概要と市の考え方

番号	意見	市の考え方	区分

茂原市学校再編基本計画

発行 平成29年3月 茂原市教育委員会
編集 教育部教育総務課
〒297-8511 茂原市道表1番地
TEL 0475-20-1557 FAX 0475-20-1607
E-mail k-soumu1@city.mobara.chiba.jp

基本計画案の修正点

- ・ 主な修正部分のみ掲載。これ以外に、細かい言い回しやフォント等も修正している。
- ・ ページは第4回資料のもの。

①全体

いただいた意見等		修正後	
		はじめに	省略していた部分を記載しました。
会長	西暦表記の検討	全体	将来の記述がある文章やグラフは、原則として西暦表記にしました。
		p2下段	・ 基本計画期間の説明を追加しました。 ・ 見直しは第2次策定前から「第1次終了前」と表現を変えました。
		p3	・ 適正規模の記述がp11と重複するため、削除しました。 ・ 構成比が分かるよう、表を追加しました。
		p4	最初の文章を一部削除しました。
委員	学校運営の現状に部活動の状況も入れるべき	p5の最後 p6	クラブ活動、部活動の実施状況を追加しました。
委員	地図に縮尺も入れてほしい	p7～8	・ 地図を差し替えました（学区・縮尺）。 ・ 見開きにするため、児童生徒数の推計方法と順番を入れ替えました。
		p9	分かりやすくするため、詳細説明を省きました。
		p11	適正規模の理由を追記しました。
委員	校舎が築何年とかのデータがほしい	p23～43	・ 全学校のデータを掲載しました。 ・ 建築物ごとの築年数を記載しています。
		p44～48	保護者アンケートの内容を追加しました。

②学校再編の考え方

いただいた意見等		修正後	
		p13	省略していた前文を記載しました。
		p13(1)	通学手段の確保、通学距離に対する配慮、通学における安全性の確保の3つをまとめました。 ・ 通学に対する配慮（通学手段、通学距離、通学路の安全性） 一小一中の問題について、次ページの基本方針でなくこちらに記載し、注釈も追加しました。 ・ 一小一中の問題への対応
委員	避難所については削ってもよい 学校跡地の活用に施設という言葉も入れる	p13(2)	・ 地域コミュニティと避難所をまとめました。 ・ 学校跡地に施設という言葉を入れました。 ・ 重要性を鑑み順番を入れ替えました。
委員	学校跡地でカバーできれば避難所は削ってもよい		
副会長	避難所という言葉は大事だし残してもよい		
委員	(2)の一番上に地域コミュニティや避難所があるのはいかがか		
委員	他の計画の説明が必要ではないか	p13(2)	カッコ書きで具体的な計画名を記載し、注釈も追加しました。
委員	(2)に情報の積極的な提供・共有・可視化などを入れては	p13(2)	再編に関する情報の発信、提供を追加しました。

③学校再編の基本方針

いただいた意見等		修正後	
		p14	・省略していた各項目の文章を記載しました。
委員	1学級38人や35人という上限はあるが、何人からという基準はないのか	p14(1)	※1学級の適正人数については、統合して複数学級になるよう配慮すること以外は現実的に困難です。また、(1)で複式学級や単学級の解消を述べており重複するため、特に記載しません。
委員	「から」という基準はないが、適正な人数も考慮すべき		
委員	上限ぎりぎりではなく、38人や35人を超えて複数学級になるような再編を		
会長	今までの教育環境より悪くならないように		
委員	学級の在籍人数の検討もお願いしたい		
委員	学校の活性化や学校づくりという言葉のほうがよいのではないか	p14(2)	いわゆる「教育環境」については(1)の文章の中で述べているので、ハード面及び小中一貫に触れる意味で「再編後の教育施設等の充実」としました。
委員	統合校の教育環境の充実ではどうか		
委員	統合校という言葉でない方がよいのではないか		
会長	吸収合併や新設もあるので統合校という表現でよいか		
委員	教育環境の充実でよいのでは		
委員	通学手段のところで通学路の安全性についても触れてほしい	p14(3)	「通学手段・安全性の確保」とし、文章にも記載しました。
会長	通学路の整備も入れてはどうか		

④学校規模ごとの基本的な方向性

いただいた意見等		修正後	
委員	複式学級は再編を検討すべき	p15	表に方向性を追記しました。 ①手引で「速やかに検討」となっているものは、「速やかに～する（実施する）」としました。 ②「全体を勘案」「今後の予測を踏まえ」等となっているものは、分かりやすい表現に直しました。 ③中学校では小学校より大きな集団規模が必要と考え、積極的な言い回しに変更しました【提案部分】。 ※前回意見のあった「地域性の考慮」は、基本的な方向性にはそぐわないと考えましたが、記述すべきか【提案部分】。 ※小中一貫の検討については、規模によるものではないのでここに入れません。なお、p14(2)には記載しております。
委員	文科省の手引に沿うべき		
委員	複式学級は速やかに統廃合 全学年単学級は将来を視野に入れて検討		
委員	文科省の手引のとおりで、複式学級を優先		
会長	中学校で4～5学級は地域性を鑑みて検討、本納中はなくなると厳しい		
委員	適正規模だけ考えると周辺部はなくなってしまう、地域を鑑みるは必要		
副会長	地域性を考えるのは大事		

茂原市学校再編基本計画（案）に係るパブリックコメントの実施について（案）

本日（1月19日）の審議会での修正を反映させた後、以下のとおりパブリックコメントを実施します。

1. 意見等の募集期間

平成29年1月27日（金）～2月27日（月）

2. 閲覧場所 教育総務課、市役所1階情報公開コーナー、本納支所、市ホームページ

3. 意見等を提出できる方

- ・市内に住所を有する方
- ・市内に事務所または事業所を有する個人及び法人その他の団体
- ・市内に存する事務所または事業所に勤務する方
- ・市内に存する学校に在学する方
- ・本案件に利害関係を有する方

4. 提出方法 直接持参、郵送、ファクス、電子メール
提出は専用様式（窓口配布またはHPからダウンロード）による。

5. 提出先 〒297-8511 茂原市道表1番地 茂原市役所教育総務課（9階）

※パブリックコメントとは

市の基本的な政策や計画等の策定にあたり、その趣旨・目的・内容等の必要な事項を公表し、広く意見の提出を求め、提出された意見等を考慮して当該政策等に係る意思決定を行うとともに、意見等に対する市の考え方を公表する一連の流れ。

市の政策形成過程における公正性や透明性の向上を図り、もって市民の市政参画と開かれた市政の推進に資することを目的とする。

政策等をより質の高いものにするために行うものであり、賛成反対の多さで意思決定の方向を判断する住民投票のような制度とは異なる。

保護者アンケートの概要

<実施概要>

対象 茂原市立小中学校の児童生徒の保護者
 実施期間 平成28年11月21日（月）～11月30日（水）
 実施方法 各学校を通じて配付、回収
 配付数 6,377（小学校4,115、中学校2,262 H28.10.1現在数）
 提出数 3,715（小学校2,474、中学校1,241）
 回答率 58.3%（小学校60.1%、中学校54.9%）
 ※兄弟姉妹がいる場合に、学校で重複を除いたり、各家庭で1枚だけ提出したりしている場合がある。

<回答概要> ※端数処理や複数回答のため、合計が100%にならない場合がある。

Q2 適正規模に満たない小中学校（小規模校）に対する考えで最も近いもの

	小学校	中学校	計
1. 小規模校が統廃合されることはやむを得ない	63.9%	65.4%	64.4%
2. 小規模校は積極的に統廃合をすべきである	6.3%	5.8%	6.1%
3. 児童生徒数が少なくても、できるだけ統廃合は避けるべきである	20.0%	19.2%	19.7%
4. わからない	8.8%	8.6%	8.7%
その他（白紙、複数に丸など）	1.0%	1.0%	1.0%

Q3 自分の子どもが通う小中学校が統廃合される場合に心配な点（3つ以内）

	小学校	中学校	計
1. 環境変化による子どもへの影響	60.0%	61.6%	60.6%
2. 家から学校までの距離や通学時間	85.5%	81.8%	84.3%
3. 通学路の安全確保	54.0%	49.5%	52.5%
4. 通学手段	51.0%	43.4%	48.4%
5. 現在の学校跡地がどうなるのか	4.5%	6.3%	5.1%
6. わからない	0.8%	1.6%	1.1%
7. その他	1.5%	1.5%	1.5%

Q4 学校の統廃合を審議するにあたり、配慮してほしいこと（3つ以内）

	小学校	中学校	計
1. 一定の集団規模（児童生徒数）の確保	45.7%	44.9%	45.4%
2. 統合後の学校の建物や施設の整備	48.9%	46.6%	48.2%
3. 児童生徒の通学手段	84.5%	77.3%	82.1%
4. 地域活動とのつながり	15.2%	14.5%	15.0%
5. 廃校される学校の跡地利用	12.2%	14.5%	13.0%
6. わからない	2.6%	3.8%	3.0%
7. その他	3.3%	2.3%	2.9%

Q5 自由意見

記載のあった件数 437件（小学校316件、中学校121件）
 提出数に対する割合 11.8%（小学校12.8%、中学校9.8%）

<集計についての補足>

- ・学校名も記入していない全員の白紙回答は、回答自体なかったものとして扱った。
- ・回答数が指定した数以上（例：Q3で丸が4つ）の場合、いずれにも丸がついていないものとして取り扱った。
- ・Q3やQ4で「7. その他」を選び、カッコ内に“特になし”と記入したものは、丸がついていないものとして取り扱った。

保護者アンケート集計表（小学校）

	東郷小	豊田小	二宮小	茂原小	西小	五郷小	鶴枝小	萩原小	中の島小	本納小	新治小	豊岡小	東部小	緑ヶ丘小	計
配付数	521	260	128	355	256	343	210	541	371	176	43	229	514	168	4,115
提出数	367	166	64	224	147	219	119	316	217	120	41	136	249	89	2,474
回答率	70.4%	63.8%	50.0%	63.1%	57.4%	63.8%	56.7%	58.4%	58.5%	68.2%	95.3%	59.4%	48.4%	53.0%	60.1%

Q2 統廃合に対する考え

※色付きは最も多いもの	東郷小	豊田小	二宮小	茂原小	西小	五郷小	鶴枝小	萩原小	中の島小	本納小	新治小	豊岡小	東部小	緑ヶ丘小	全体
1. 小規模校の統廃合はやむを得ない	63.2%	68.1%	71.9%	69.2%	72.8%	61.6%	53.8%	67.7%	61.8%	66.7%	51.2%	55.1%	66.7%	44.9%	63.9%
2. 小規模校は積極的に統廃合すべき	5.2%	6.0%	7.8%	8.5%	5.4%	7.3%	2.5%	5.1%	6.0%	10.8%	14.6%	5.1%	5.2%	9.0%	6.3%
3. できるだけ統廃合は避けるべき	18.5%	21.1%	14.1%	16.5%	14.3%	19.6%	36.1%	14.9%	19.8%	16.7%	26.8%	28.7%	17.3%	39.3%	20.0%
4. わからない	12.0%	3.0%	4.7%	5.4%	6.8%	9.6%	7.6%	11.7%	11.5%	4.2%	7.3%	10.3%	10.4%	4.5%	8.8%
（その他）	1.1%	1.8%	1.6%	0.4%	0.7%	1.8%	0.0%	0.6%	0.9%	1.7%	0.0%	0.7%	0.4%	2.2%	1.0%

Q3 自分の子を通う小中学校が統廃合される場合に心配なこと（3つまで）

※色付きは60%以上	東郷小	豊田小	二宮小	茂原小	西小	五郷小	鶴枝小	萩原小	中の島小	本納小	新治小	豊岡小	東部小	緑ヶ丘小	全体
1. 環境変化による子どもへの影響	59.9%	53.6%	57.8%	64.3%	53.7%	66.2%	63.0%	62.0%	65.4%	52.5%	78.0%	44.9%	56.2%	69.7%	60.0%
2. 家から学校までの距離や通学時間	87.2%	84.3%	87.6%	81.3%	89.1%	87.2%	85.7%	87.0%	87.1%	85.0%	65.9%	91.2%	88.4%	64.0%	85.5%
3. 通学路の安全確保	55.3%	53.0%	54.7%	55.4%	56.5%	58.0%	49.6%	54.1%	53.0%	49.2%	29.3%	56.6%	45.8%	76.4%	54.0%
4. 通学手段	50.7%	52.4%	51.6%	48.2%	49.0%	41.6%	64.7%	45.6%	49.8%	68.3%	63.4%	60.3%	57.0%	25.8%	51.0%
5. 現在の学校跡地がどうなるのか	2.7%	3.0%	3.1%	3.6%	4.1%	4.1%	4.2%	6.3%	1.4%	2.5%	17.1%	5.9%	4.0%	18.0%	4.5%
6. わからない	0.3%	0.6%	1.6%	0.9%	0.7%	1.4%	0.8%	1.9%	0.9%	0.8%	0.0%	0.7%	0.4%	0.0%	0.8%
7. その他	1.6%	1.2%	3.1%	1.3%	0.7%	0.0%	0.8%	1.6%	2.3%	0.8%	9.8%	2.2%	0.8%	3.4%	1.5%

Q4 統廃合の審議にあたり配慮してほしいこと（3つまで）

※色付きは60%以上	東郷小	豊田小	二宮小	茂原小	西小	五郷小	鶴枝小	萩原小	中の島小	本納小	新治小	豊岡小	東部小	緑ヶ丘小	全体
1. 一定の集団規模（数）の確保	40.6%	47.0%	46.9%	52.7%	51.0%	48.9%	42.0%	50.9%	51.6%	33.3%	34.1%	39.7%	44.2%	36.0%	45.7%
2. 統合後の学校の建物や施設の整備	47.7%	41.0%	42.2%	50.9%	50.3%	54.3%	52.9%	47.5%	49.3%	51.7%	46.3%	55.9%	46.6%	46.1%	48.9%
3. 児童生徒の通学手段	85.3%	88.6%	78.1%	79.9%	84.4%	81.7%	91.6%	86.4%	85.3%	90.8%	85.4%	83.1%	84.3%	73.0%	84.5%
4. 地域活動とのつながり	16.1%	7.8%	23.4%	16.1%	13.6%	17.4%	16.8%	11.7%	15.7%	17.5%	34.1%	16.9%	11.6%	19.1%	15.2%
5. 廃校される学校の跡地利用	12.5%	13.3%	7.8%	9.4%	9.5%	10.0%	13.4%	14.6%	7.8%	9.2%	24.4%	15.4%	11.6%	24.7%	12.2%
6. わからない	1.6%	2.4%	3.1%	4.9%	2.7%	2.3%	1.7%	3.8%	1.8%	1.7%	0.0%	2.9%	2.4%	2.2%	2.6%
7. その他	3.5%	4.2%	3.1%	1.8%	2.7%	3.7%	4.2%	1.9%	2.8%	1.7%	12.2%	2.2%	2.0%	12.4%	3.3%

Q5 自由意見（傾向が多岐にわたるため、件数のみ掲載します）

	東郷小	豊田小	二宮小	茂原小	西小	五郷小	鶴枝小	萩原小	中の島小	本納小	新治小	豊岡小	東部小	緑ヶ丘小	全体
記載のあった件数	33	19	5	25	22	31	11	32	24	17	20	20	25	32	316
提出数に対する割合	9.0%	11.4%	7.8%	11.2%	15.0%	14.2%	9.2%	10.1%	11.1%	14.2%	48.8%	14.7%	10.0%	36.0%	12.8%

保護者アンケート集計表（中学校）

	東中	富士見中	茂原中	南中	本納中	早野中	西陵中	計
配付数	437	416	422	483	254	175	75	2,262
提出数	216	161	236	298	147	126	57	1,241
回答率	49.4%	38.7%	55.9%	61.7%	57.9%	72.0%	76.0%	54.9%

小中合計	6,377
	3,715
	58.3%

Q 2 統廃合に対する考え

	東中	富士見中	茂原中	南中	本納中	早野中	西陵中	全体
※色付きは最も多いもの								
1.小規模校の統廃合はやむを得ない	68.1%	72.0%	64.4%	68.8%	59.9%	61.9%	45.6%	65.4%
2.小規模校は積極的に統廃合すべき	3.7%	5.0%	5.1%	7.0%	4.1%	13.5%	0.0%	5.8%
3.できるだけ統廃合は避けるべき	15.3%	19.3%	15.7%	16.8%	27.9%	15.9%	45.6%	19.2%
4.わからない	12.0%	3.1%	14.0%	7.0%	6.8%	8.7%	1.8%	8.6%
(その他)	0.9%	0.6%	0.8%	0.3%	1.4%	0.0%	7.0%	1.0%

小中全体	64.4%
	6.1%
	19.7%
	8.7%
	1.0%

Q 3 自分の子を通う小中学校が統廃合される場合に心配なこと（3つまで）

	東中	富士見中	茂原中	南中	本納中	早野中	西陵中	全体
※色付きは60%以上								
1.環境変化による子どもへの影響	62.0%	60.9%	64.4%	61.7%	51.0%	59.5%	82.5%	61.6%
2.家から学校までの距離や通学時間	86.1%	79.5%	82.6%	85.9%	84.4%	77.0%	50.9%	81.8%
3.通学路の安全確保	46.3%	50.9%	48.7%	45.0%	51.7%	58.7%	57.9%	49.5%
4.通学手段	45.4%	35.4%	46.2%	47.7%	63.9%	24.6%	12.3%	43.4%
5.現在の学校跡地がどうなるのか	5.1%	9.3%	3.8%	3.0%	3.4%	6.3%	36.8%	6.3%
6.わからない	1.4%	0.6%	3.0%	2.0%	0.7%	1.6%	0.0%	1.6%
7.その他	0.9%	1.9%	1.3%	1.0%	0.0%	0.8%	10.5%	1.5%

小中全体	60.6%
	84.3%
	52.5%
	48.4%
	5.1%
	1.1%
	1.5%

Q 4 統廃合の審議にあたり配慮してほしいこと（3つまで）

	東中	富士見中	茂原中	南中	本納中	早野中	西陵中	全体
※色付きは60%以上								
1.一定の集団規模（数）の確保	38.0%	44.1%	52.1%	48.7%	38.1%	47.6%	35.1%	44.9%
2.統合後の学校の建物や施設の整備	45.4%	47.8%	44.1%	46.6%	46.3%	50.8%	49.1%	46.6%
3.児童生徒の通学手段	81.5%	73.3%	78.0%	82.2%	87.1%	65.9%	43.9%	77.3%
4.地域活動とのつながり	11.6%	18.0%	15.3%	10.4%	18.4%	10.3%	33.3%	14.5%
5.廃校される学校の跡地利用	14.4%	16.8%	11.4%	11.4%	15.0%	12.7%	40.4%	14.5%
6.わからない	5.1%	1.9%	5.1%	3.7%	2.7%	4.0%	1.8%	3.8%
7.その他	1.9%	1.9%	0.8%	2.3%	2.0%	1.6%	12.3%	2.3%

小中全体	45.4%
	48.2%
	82.1%
	15.0%
	13.0%
	3.0%
	2.9%

Q 5 自由意見（傾向が多岐にわたるため、件数のみ掲載します）

	東中	富士見中	茂原中	南中	本納中	早野中	西陵中	全体
記載のあった件数	7	20	20	17	23	11	23	121
提出数に対する割合	3.2%	12.4%	8.5%	5.7%	15.6%	8.7%	40.4%	9.8%

小中全体	437
	11.8%

学校再編に関する保護者アンケート Q5 自由意見一覧（原則として原文のまま）

（１）小学校

①東郷小学校 33件

※左の数字はQ2【小規模校の統廃合についてどう思うか】の回答

1. やむを得ない 2. 積極的にすべき 3. できるだけ避けるべき 4. わからない 空欄は無回答など

1	小規模校は統合した方が学習面、運動面、行事等にも活気が出て良いと思います。ただ、通学時間や通学手段の問題が出るので十分に審議し子供たちが安全に通えるよう配慮する必要があると思います。
1	小学校の学童の建物が古くて中もきたないのが子供たちがかわいそう。1, 2, 3年生がいる学童だけ古いのはよくないと思う。
1	通学バス又はそれに準ずる手段の確保。校舎その他の施設の補修。自校給食を全校で実施するための予算を確保。
1	統合した結果、1クラスの人数が多くなってしまうのは先生の目が行き届かず心配です。運動会等の行事の際、保護者の駐車場等の確保が厳しくなるのでは？
1	子供達のことを第一に考えて、最善の選択をして欲しい。
1	大変な事だとは思いますが、子ども達の為に宜しくをお願いします。
1	各校への予算拡大、教員数の増加（支援員、介助員等）をお願いしたい。数年後には小中学校数の減少が懸念されている中ですので、早めの検討をお願いします。
1	早野中出身です。さびしい気持ちもあります。早野中と同様西陵中も新しいのに廃校になりそうでさびしいです。茂原工業も開校維持費もかかるはず。す。（工業科の授業で使ってるそうですね）うまくいかないですね。
1	統合するしないの前に子供のことを第一に考えて最善の選択をして欲しい。
1	小学校の統廃合はあまり賛成できない。ぎりぎりの人数でも残すべき、小さな子どもが長距離歩くこと、バス通学は子どもにとって負担が大きい。中学校はやむを得なければ統合も考えるべき。学区割を考え直し少しでも通学負担の見直しを計るべき。
1	やはり近所の学校が統合先になるのなら、どの保護者も良いと思うでしょうが、何kmも先の学校になった場合、通学路や通学時間が気になるところかと思います。場合によってはバス通を認めるなど柔軟な対応をお願いしたいところです。また児童生徒の対応と同じように教員、職員の方々が働きやすいように現場を整備して頂くこともお願いしたいです。
1	2つの学校の良い所が集まり、2つの学校の生徒が常に平等であって欲しいです。廃校される学校の跡地も有効活用されると嬉しいです。
1	子供への配慮が一番なのですが、廃校になった学校のその後も気になります。卒業された生徒方々が手入れもされず、あれてしまった学校を見て悲しむことのないように。学校という大きな建物なので難しいとは思いますが。
1	これは小学校ではなく幼稚園の話なのですが、幼稚園が閉園しますとかこども園になりますというような話が出て親としては色々不安です。どこまで話が進んでいるのか、決定しているのはどこまでか？常に情報を公開して欲しいと思います。これは小学校、中学校においても同じことだと思っています。いきなり決定しました！ではこちらも受け止めるのに心の準備が必要なのです。
2	ユニークな少子化対策を施す自治体が存在する昨今、茂原市は余りに無策。統廃合により資源の集中投下が理想であるが、送迎バスの運行など通学手段の確保が優先事項、慎重な態度を望む。
2	子どもには新しい出会いや集団生活、競争を経験することが大人へのステップとしてとても大切だと思います。子ども達の順応力を信じて是非ともたくさんの友達に出会わせていろいろな事を感じて欲しいと思う。環境の変化を心配する大人も多いと思いますが引っ越しをする訳ではないのでそこは問題ないと思います。但し送迎バス必須だと思います。
2	幼稚園の時のお友達が現在1クラス10人以下という少人数の学校に通っています。6年間クラス替えもなく運動会の規模もさみしいと聞きました。そういった小学校は、積極的に統廃合するべきだと思います。いろんなお友達と知り合え、より多くの経験を体験できると思います。
2	統合後の子供たちの心に変化があると思うので、注意深くみてあげてほしい。特に少数校側は発言力が弱くなると思うので。
3	統合は、子供、父兄にとっても負担が大きいのではないのでしょうか。

①東郷小学校 33件

3	統廃合を考えるよりも、なぜ地域に人口（子供）が少ないのかを考え、どうしたら人口が増えるのか？その地域を活性化できるのかを考えた方がいいのでは。その地域ですっと育った人達その学校での思い出もあるはず。茂原の中心だけを活性化させてもその反面つらい選択をさせられている人達もいるはず。「子供の事を考える」という事に置き換えている様な気がします。
3	学校の統廃合を進めるよりも、先ず暮らしの内容を充実させて人口を増やすべきでは？（住みよい環境作り、税金対策、医療費等）
3	今後、学校が小規模化となってもできるだけ統廃合はせずに今、通っている学校で卒業まで学んでほしい。
3	茂原市の多くの小学校の多くは明治の大合併の際、各行政村毎にできた地域統合の拠点であると考えられる。したがって児童数減少が統廃合の根拠とするならば公民館機能や幼保機能を兼ねたコミュニティ・スクールとして再編すべきではなかろうか。
3	子どもたちの事を第一に考えてほしいです。でないと子を持つ親からは住みたいと思う場所ではなくなってしまうと思います。
3	小規模校に保育所を作るといいと思います。
3	学校の統廃合を進めるよりも、先ず暮らしの内容を充実させて人口を増やすべきでは？（住みよい環境作り、税金対策、医療費等）
4	校庭が生徒数とあわないと運動する時が大変そう。
4	規模が大きいから良いという考えは大人の能率や都合を押し付けているようになりません。少ない人数はきめ細い指導ができます。子供のことを一番に考えてほしいです。
4	生徒数が少ない学校同士の統合には賛成ですが、現在通わせている東郷小に関してのみ言えばこれ以上生徒、保護者数が増える方がリスクは大きい気がします。
4	距離によりスクールバスも考えてほしい。
4	生徒数が増えると校庭が更にせまく感じる。
4	難しい問題ではあるがきちんと体勢が整っていれば子供はすぐ対応できると思う。途中から新しい友達と一緒にあったとしても問題ないと思う。それより通学や時間のかかり具合が親子共に一時的ではあると思うが時間にふりまわされそう。
4	あまりに遠い場合にはスクールバスも考えて欲しい。

②豊田小学校 19件

※左の数字はQ2【小規模校の統廃合についてどう思うか】の回答

1. やむを得ない 2. 積極的にすべき 3. できるだけ避けるべき 4. わからない 空欄は無回答など

1	自分が通っていた学校がなくなる、子供が同じ学校に通えないという事はとても悲しい事だと思います。先生方も子供達の事を不安な思いで育てて下さっているのには頭が下がります。少人数は少人数の多人数は多人数のメリットとデメリットがあると思います。少人数でもいろいろある学校もあると思いますし、再編に理解が得られる保護者、学校と協力し合える保護者のいる地域であれば進められると思います。又そういう保護者でいたいです。
1	子供達の学習する環境を一番に考えて健全な学校生活が送れる様に（いじめなどが起きないように）再編をすすめて頂きたいです。
1	茂原市は交通量も少ないほうではないので、統合する事による通学の安全面がとても気になります。一定の距離などの配慮が必要になると思います。
1	中学になれば近くの小学校から生徒が集まる様になる事を考えればあまり大きな問題ではない気がするが、1クラスの児童数が増えた時に目が届くのか。細かいフォローをして預けるのかと考えるとどう答えるべきかわからない。
1	子供が減少するのが目に見えているが、もっと子供を増やす努力をしたらどうか？茂原市に住んで子供を産めば産むほどメリットのある子育て世帯にやさしいまちづくりを考えてください。
1	家が遠い児童への対応として。茂原市は舗道が少なく、人通りの少ない場所が多くあります。又高齢者の運転する車も増加していくと思われます。学校⇄福祉センター等のスクールバス（部活動等も考慮）市の循環バスを小学校経由にする等、検討する必要があると考えます。
1	せっかく耐震工事が行われた建物なので有効活用していただけたらと思います。（保育所として利用や部活、クラブとして利用できたらと思います。）習い事とかの施設利用も！
1	統廃合される事は仕方ないと思う部分もありますが、生徒数が増える分、先生が1クラスで見る人数も増え配慮が行き届かない事がないようにしてもらいたいです。1クラスが少ない方がいじめや変化に気づきやすい勉強もわかりやすいなど、子供達目線で考えて頂けたらと思います。統廃合をせざるを得ない内容をしっかりと説明し、子供達目線での考慮をお願いいたします。
1	豊田学区なので中学は富士見中となりますが家からあきらかに茂原中の方が近いです。選べるようにしてほしい。
1	統廃合するのであれば、スクールバスを出す必要があると思います。（小学校の場合）部活をやっている子の帰りでもバスを出す必要があると思います。（遅くてもという事です）難しいのであれば統廃合はすべきではないと思います。
2	全部が全部、統廃合される事には反対。お子さんによっては大人数になじめない子もいると思うので。
2	コスト削減につながるのであれば統廃合するべきですが、デメリットの方が大きければ反対。
2	Q2の2のようにして、その分教員の充実やクーラーの設置などをすすめ、一つ一つの学校が特色のあるものにした方が教育も良くなるのではないかな。
2	公設の学童クラブを考えてほしい。統廃合となると地域も広がるので民設で保護者で行うのは更にきびしいと思うので。
3	少人数の中でも先生の目が行き届き、いいと思う。クラス替えがあるのもほとんど6年間一緒のようなもので学年が一つになりとてもチームワークが良いのを感じる。
3	小規模校のメリットを見た時、1クラスの人数が少ない分、一人ひとりに十分な教育の目が向けられる事も有るのではないかと思います。その事から安易に統合するだけでなく十分な職員配置を希望します。
3	子供は環境の変化に対してとても敏感だと思います。小さな事でも今の時代大きなイジメにもつながる可能性もありフォローする大人がいかに大切かだと思います。フォローする大人（学校）の教育は必ず全生徒へいきとどくのか親は大変不安です。
3	今は変な人が多いので通学時などが心配です。学区が統廃合などにより近くなるのはいいと思いますが、すごく遠くなり保護者の送迎が必要になるのは母子家庭や仕事を持つ母親に負担が増えてしまうと思います。今の環境に満足しています。中学校が少し選べるように小学校も希望をとって学校外に行けても良いと思います。今は審査が厳しいようなので。
3	児童数の多い少ない、今ひとつ分かりかねます。とにかく子供たちの通学路をもっと安全かつ父兄への負担をなくして欲しいです。

③二宮小学校 5件

※左の数字はQ2【小規模校の統廃合についてどう思うか】の回答

1. やむを得ない 2. 積極的にすべき 3. できるだけ避けるべき 4. わからない 空欄は無回答など

1	二宮小は小規模校なので、将来は他の小学校と統合されるかもしれないのはやむを得ないと思うが、現在でも学校から家までの距離が遠く（片道50分から1時間）通学が大変なのに統合された場合さらに遠距離になるので、その場合の通学手段がどうなるのか。（スクールバス）を出すなど。
1	平成22年に行われた通学区域検討委員会の様にならないようにして頂きたい。
1	小学校、中学校を一緒に同じ校舎を使用する。
2	廃校される学校の跡地には老人ホーム施設などへのリノベーションをすればよいのでしょうか。
3	統廃合する場合、学校からの家付近の送迎バスの導入を考えてほしい。学校の駐車場スペースの確保。校内の快適化。

④茂原小学校 25件

※左の数字はQ2【小規模校の統廃合についてどう思うか】の回答

1. やむを得ない 2. 積極的にすべき 3. できるだけ避けるべき 4. わからない 空欄は無回答など

1	杓子定規に学区を決めるのではなく、ある程度選択の自由があっても良いのではないのでしょうか。他県では学校を選ぶ自由があるようです。学校の質も上がるのではないのでしょうか。「お願い」→今回の件とは関係ありませんが、茂小→南中へ行く生徒を茂原中に行かれるようにしていただけないか。悲しい思いをしている生徒がたくさんいます。
1	子供達が使用する備品を整理して頂き、色々な事に興味がわく様な環境を作っていただきたい。
1	統合はやむを得ないと思うが、とにかく子どものことを第1に考えて下さい。統合前に施設の整備を行うのは当然であるし、職員同士の連携を図り子どもについて理解を深めて下さい。また、統合後のフォローもしっかりと行って頂きたいです。
1	小学校同士、中学校同士の統合以外に小・中・高の統合という方法も検討したらどうか。教育レベルの向上や新しい価値の創造につなげる動きも期待しています。
1	茂原市が活気が出るように考えてほしい。そうすれば人も集まると思います。
1	やはり遠くなるから通学手段や安全確保の心配につきる。環境変化から不登校になるのでは？とかいじめにあうのでは？と心配はつきないが統合は時代の流れからしょうがないと思う。
1	伝統のある学校はなるべく残していただきたいです。
1	特別支援員は教員免許状をお持ちの方にやっていただきたい。一般の方では守秘義務を守られているのか、児童との関わり方に正しい知識を持っているのか信用しがたいところがある。
1	通学が遠い子供の為の通学バスの整備が必要です。1学年に2学級以上あると良いと思います。
1	学年が上がるにつれ、学習熱に通ってる子供が増えてきている印象。学校では学力向上は望めない為、熱に行かざるをおえない、もっと学力向上ができるような補修授業など行ってほしいです。
1	学校再編に関しては有識者だけでなく実際に通う子供たちや保護者などの声をきいて審議会等で、検討して欲しいと思います。
1	学力や体力面（運動）の極端な片寄りが心配です。
1	学校を少なくして残す学校をその分キレイにしてほしい。
1	統廃合に実際に関与する当事者の意見を尊重して欲しいと思います。自分の子供が通う小・中学校は今回の再編には直接関わらないので他人事として判断してしまいます。そういった意見を取りまとめるのではなく、直接関わる人達の要望を取り入れて再編へ進んでいてもらいたいと思います。
1	学校の統廃合は仕方ないと思う。通学手段がとても大事でスクールバスが出るのか、公共機関のものを利用するのかを考えてほしい。他の都道府県でも同問題はあるので視察や意見等を何か所、何回も聞いたことをオープンに開示してほしい。早ければ早めの対策が出来るのではないかと思います。
1	他県での話ですが、中学校に入学する前に本来ならば学区内の中学に必ず入学しなくてはいけないのですが、どうしてもやりたい部活動が学区外の学校にある場合など小学校の先生といろいろ話し合いそちらの学校に通学ができるという話を聞いた事があります。今、茂原市内でも部活動の数や内容が全て同じではないので再編するのであればそのような事も考える必要があるのでは？
2	「習熟度制」の学校編成にして欲しいです。
3	学校全体を建て直し、きれいに「1」からスタートしてほしい。新1年生からこっちの学校へ行ってみて下さいとかでなく、兄弟が通う家族への配慮等、環境が変わるだけで今の時代、子どもの性格も変わってしまうこともあるので、かなり慎重に考えてほしい。生まれた時から今日まで同じ家に住んでのに親子で学校が違う事も許せない。同じ学校にいけると思っていたから。私たちにも学校を選ぶ権利があってもいいんじゃない？
3	必ずしも適正規模に満たされていないと大きな支障が出るとは限らないと思います。小規模校ならではの地域の方々との交流や、少ない人数でも密な人間関係を築いていくことなど人間関係が希薄といわれている現代だからこそ必要ではないのでしょうか？
3	大人や社会の割合だけでなく、子供達の意見も聞いていただきたい。母校が無くなる事は心に大きな傷跡が残ります。
3	学区の見直し、小学校の生徒数のかたよりが激しい。

④茂原小学校 25件

3	伝統ある学校がなくなってしまうのはさびしいことです。大きい学校には大きい学校のメリット・デメリットがあり、小さい学校には小さい学校なりのメリット・デメリットがあります。予算もかかると思いますが地域の人の意見を大切にしてほしいと思います。又アンケートなので保護者の意見を早い時期にまとめて知らせていただければと思います。アンケートの裏が各学校の児童数の推移になっていますが、アンケート調査ごと回収するようになっているので回答用紙は別に印刷してくださいと幸いです。
3	クラスの人数も全校の人数も少ないと感じていますが、先生方が一人ひとりに目が届きやすく何か困った時など相談しやすいし対応もすぐしていただけるので、今の状況で満足しています。小規模校の課題等についてのところがかかれているように人数が少ないがために人間関係が固定化しやすいという部分について中学校へ行ったらどうなるのかという予測ができず、不安な部分はあります。家から学校までの距離や時間を考えると今片道20～25分なのでこれ以上のびるのは不審者が増してきている今、通学の不安があります。
3	現在学区外から通学していて実家と勤務先に近いことから現在の学校を選んでいる。統廃合により遠くの学校に変われば自力での帰宅が難しくなり指定校変更した意味がなくなるのでやめてほしい。
3	西陵中、富士見中のような学校選択制を他校にも増やし、出来る限り統廃合は避けてほしいです。やはり環境変化、身近である学校がなくなってしまうのは思う以上に子供たちの心に影響があるように思います。

⑤西小学校 22件

※左の数字はQ2【小規模校の統廃合についてどう思うか】の回答

1. やむを得ない 2. 積極的にすべき 3. できるだけ避けるべき 4. わからない 空欄は無回答など

1	防犯カメラの設置、耐震設備など。
1	競争する事を考えない子供達が増えているように感じます。時には昔の様に、せり合う事も大切だと思うので学校の子供達の人数が増える事は賛成です。
1	生徒（グループでの）偏りが出てくるような気がします。良い学校、悪い学校と・・・。
1	統合する場合、学童保育についても行き方など考慮してほしいです。
1	茂原市は市のお金が予算としてとても少ないので、もし統合された場合には一番は通学時間と距離が心配なので、バス（スクールバス無料で利用出来る物）を作ってもらえないと困ります。
1	通学する子ども達の安全確保の徹底に期待。
1	子供の成長に伴い学校の規模は大きく（多人数）なければならないと思います。大勢の人に関わり社会性を学べるものと思うからです。
1	小規模すぎる学校には通わせたくないと思ってしまいます。理由は右ページの課題のとおりです。
1	富士見中学校よりも早野中学校の方が近いです。東部小学校は東中と南中に分かれてる様です。よく考えて下さい！
1	スクールバスを導入してほしいと思う。
1	子供達が落ち着いて学業に取り組める環境を第一に考えてほしいです。もし再編の話が具体的にすすむ場合は保護者への説明会は早い時期から聞いてほしい、説明する側の責任者もその場で保護者の疑問に誠実に答えられる方にきちんと出席してもらいたいです。
1	先生の数の削減など統合するにはいろいろな問題も考えられる。学校も古くなり整備等に各校お金がかかることも考えられるので、統合する際整備してきれいな環境で学校生活が送れたらと思います。冷・暖房整備してほしい。
1	統合するなら通学手段として無料の通学バスを利用出来る様にして下さい。
1	児童数増加分の駐車場の確保。
2	小規模校の環境に居ると社会に出た時困ると思うので少なすぎるより多すぎるぐらいの方が子供だけではなく父兄も成長すると思います。
2	通学時間が長くなる地域はスクールバスが必要です。
3	通学路が変更となった際の注意カンバンや歩行者通路の整備が出来ていない。現在ですら出来ない事が今後本当に出来るか心配である。学校に入る数も大変だが、そこへ行くまでの安全を確保する事が大切なのではないのでしょうか？
3	今通学している学校に他の学校の子供達が来るならば通学なども今まで通りなので安心ですが、他校に行く様ならば通学時間や部活帰りが心配ですし、いじめなどの心配があります。出来れば今まで通りが良いと思います。
3	金銭面、利便性などからみると仕方ないところもあると思いますが、伝統などもあると思いますので地域の意見をよくきいてほしいです。
3	西陵と富士見中を選択は十分な情報がメリット・デメリットを考え、選択に十分な時間が無いと決めるのが大変。それを考えると統合するのかどうか早めに決定してそれなりの情報がほしい。小学校はなるべく今のままがいいです。少人数で先生としっかり勉強できそうなので。
3	小学生（特に低学年）は、環境変化に対応できるか心配。家から遠くなったり学童を今までとは違うシステムになると親も心配。母校がなくなるさみしさ。
4	不審者がこれだけ多く出没しています。統廃合により子供達の通学時間や距離が長くなり安全が脅かされる事だけは絶対に避けなければならないと思います。小型のバスを出すべきです、統合するなら。命が一番大切なのですから。何があっても宝（社会の宝）ですから大人が守ってやらねれば・・・。事がおこってからでは遅いですよ。

⑥五郷小学校 31件

※左の数字はQ2【小規模校の統廃合についてどう思うか】の回答

1. やむを得ない 2. 積極的にすべき 3. できるだけ避けるべき 4. わからない 空欄は無回答など

1	早野中と南中は統合すべきであると考えます。
1	学校までの距離、通学時間、通学路の安全が確保されるなら統廃合はやむを得ない。
1	Q3の通学手段が心配な点です。部活の選択や古い校舎等、適切に統廃合をすすめてもらえる様にご検討いただきたいです。
1	子供が安全に安心して通うことができる学校であり小学校・中学校そして地域が連携して子供の成長を見守っていただける環境をしっかりと整えた上で考えていただければと思います。
1	少子化に伴う学校再編は、子ども達が多く仲間と切磋琢磨する必要がある。少人数ではそれを補うことが出来ないため将来を見据えて早い段階で議論し良い方向へ導くことが一番大切である。
1	登下校の安全について十分検討していただきたい。小学校の級友が分かれて中学進学することのないようにしていただきたい。
1	必ず賛否両論持ち上がる問題だと思います。少人数だからとか、単純な理由だけでは親も納得出来ないでしょう。それぞれのメリットデメリットをハッキリさせる事。そして何より子どもの安全が第一です。親の気持ちをおろそかにする事だけはありませんように・・・。
1	統廃合は仕方ない事だとは思いますが、もし統廃合したらその後の子供達の心の不安がないか心配です。
1	五郷小学校はほとんどが早野中で、他の小学校からは入らないと聞いています。コミュニケーション不足が心配です。部活動も人数が少ない事で限られた物しかない残念です。選べないので。通学路が遠くなると心配です。
1	子供の成長上、統合によるメリット・デメリットを把握して新しい情報を更新し、どの子の成長に合わせる柔軟性をもち評価、結果、再検討して頂きたいです。
1	児童、生徒が部活等で阻害されることがないように、充実した学校生活ができる環境をお願いしたい。学力についてもかたよりにないようにしてもらいたい。
1	かなり学校により児童数の差があるので学区を見直したらどうか。小学校は徒歩で通学できる距離が限られてしまうので統合は難しいと思う。
1	学区の見直し
1	早野中は五郷小のみで「2」をとりあげた「人間関係の固定化」にあてはまると思います。小学校を9年間送ると変わらないと思います。早野中を残すのであれば例えば西小の一部学区は早野中に行くなどして2つの小学校が中学校へ通う形になればと思います。
2	特に中学校は小規模校の場合、限られた部活動になってしまうので早急に再編していただきたい。
2	学校再編での一番の影響大は子どもたちで、効率化を極限追及したり学校再編による学校規模に比例して教育効果が低くならないよう教育の資質向上を目指してもらいたい。地域の住環境や住宅地開発、雇用の場など地域により差が顕著になっているので地域間格差が生じないよう市の施策で対応してもらいたい。学校再編について子どもたちへも問題提起してもらいたい。
2	小学校の児童が（2クラスと少ないため）中学でばらばらになるのではなく、みな同じ中学校になるようにしてほしい。
2	すぐにでも、中学校を統合して頂きたいです。団体の部活が成り立っていないのが現状では？
2	そもそも茂原市内での学区割がおかしいと思います。だから適度なかたよりが多く、1小1中というのが存在している！！この機会に学区の見直しを考慮し児童及び生徒がすばらしい環境で学べる様に見直していただきたいです。
2	五郷小学校の児童はそのまま早野中に進学し9年間そう多くない児童で変わらない人間関係となります。他中学校との統廃合を希望したいです。
2	早野中は南中と統合した方が良くと思います。部活動は入る部が数が少ない為、他中に行っている子もいます。
2	自由に学校選択ができる柔軟さが必要。子供の成長に各小学校から集まって中学へ進学されるのが望ましい。部活動も人数少なくても試合に出れない等ないようにしてほしい。
3	うちの子は将来、早野中に行く予定ですが、生徒数が少ないのが心配です。富士見中と南中の一部は早野中の方が近いのではと思います。生徒数がもう少し均等になるように学区を決め直すことはできないのでしょうか。そうすれば統廃合をしなくても・・・と思います。

⑥五郷小学校 31件

3	通学の遠さ、手段が一番心配です。
3	昨年度、他自治体より越して来ましたが、再編となると子どもの人間関係等もまた1からなのでとても心配です。
3	学校再編（統廃合）せずに何とか今迄通りの形で続けて行くべきである。
3	ますます地域の子供の人数が減っていってしまう気がする。
3	学校が統合されたとすれば関わりたくない家族と同じ学区になる可能性もあり転居も考えなければならぬ。金銭面、生活面、あわせて悩みが増えるため少なくとも5年前には説明がほしい。
3	通学路の安全確保、整備等をしっかりしてほしい。
3	小学校、中学校へ行くまでの交通手段として他市町村のようにバス等出してくれるなら良いが予算がないなどの理由があるならやらないでほしい。その分少人数で勉強内容が濃い物になってくれた方がよい。耐震工事をした校舎の利用も考えてほしい。
4	学童保育も含めてのアンケートの方が良かったです。

⑦鶴枝小学校 11件

※左の数字はQ2【小規模校の統廃合についてどう思うか】の回答

1. やむを得ない 2. 積極的にすべき 3. できるだけ避けるべき 4. わからない 空欄は無回答など

1	廃校になる学校のグラウンドや体育館を開放して子供たちが外などで体を動かして遊べる場所などにしてほしい。
1	学校再編により人数が多くなり、集団生活ができるようになったりクラス替えができるのはいい事だと思いますが、学校での通学にスクールバスを用意してくれる等の検討をしていただきたい。
1	小規模は小規模なりに良い点がたくさんあります。地域の方も登下校を見守ってくださり、保護者も「〇くんだね、〇〇ちゃんだね」と学年関係なく顔を覚えられて今のこのあぶない時代（ゆうかいとか）の中、みんなが子供達を守ってます。子供達もノビノビしているのが伝わります。
1	少子化で避けて通れない問題であると思います。やはり通学が心配ですのでその配慮と学校で平均点な児童数内容になるよう配慮していただきたいです。廃校跡地は集団で学童サービスが受けられる施設にするなど時代のニーズに合った内容を検討して頂きたいです。
1	先生の目が行き届くように1クラス15人から20人程でも良いと思いました。
1	統合した際の施設確保、学童などをきちんとしてほしい。
2	新校舎建設はしないでほしい。既校舎を利用すること。統廃合に係る経費は低く抑えること。保護者説明会を開催すること。（メリット・デメリット）
3	少人数であっても、地域で通える所へ通学できる方がいいと思う。行事などは近隣の学校と行うなどの方法はないのでしょうか？
3	少人数クラスであっても良いと思います。それでも統合するというなら通学路の方をよくみてほしいと思います。
3	通学路としての道、時間などによって自宅を出る時間も変わり体調をくずしたりしてしまう様な事はさけたいです。人数も変わり子供たちへの目くばりは大丈夫でしょうか？
3	現在の児童数（1クラス）を1人の担任で教えていくのが大変そうなのに、人数が増えた分、子供一人ひとりに目を向けて教育していく事が難しいのではないのでしょうか？教師も努力してくれているので、保護者の教育にも力を入れてほしいと思います。

⑧萩原小学校 32件

※左の数字はQ2【小規模校の統廃合についてどう思うか】の回答

1. やむを得ない 2. 積極的にすべき 3. できるだけ避けるべき 4. わからない 空欄は無回答など

1	住む、買う、住みかえる等、家族の大きな問題となるので小学校で幼稚園入園前、中学校では小学校入学前に決定の上、広く周知してから統合すべきである。
1	廃校される学校の子供たちが安心して次の学校へ行ける様に何校か学校を選べたりと良いのでは。決められた学校に行く場合、遠くなってしまうので通学バスがあると安心。
1	適正規模を満たさない学校がこんなに有ると思いませんでした。小規模学校も悪い事ばかりではないと思うので個人の希望で学校が選べると良いと思います。
1	一定の集団規模（児童生徒数）の確保←多すぎも良くないと思う。各学校が同じくらいの数になるようにしてほしい。
1	距離、通学時間の差があるので小学校での部活は廃止してほしい。ある学校では延長したり土日もしっかり、格差が大きすぎる。放課後は開放し児童が好きなこと（習い事、趣味等）を選択できた方がよい。
1	出来るなら人数が少ない小中学校は統合して、人数が多くなる方が子供達にとって良い事の方が多くなると思います。
1	子供が少なくなったのなら、ゆとりの有る教育が出来ると良いです。本当の意味のゆとり、今までのゆとり世代は決してゆとりはなかったです。土曜日が休みになり子供が一人でのいる時間が増え、お金がかかるようになっただけだと思っています。地域で教育出来る場が増えると良いですが。
1	通学手段はバスなど考えて頂き、安全を守って頂きたいです。
1	ある程度できあがった人間関係の統合は高学年になるほどむずかしいとは思いますが。（特に女子）先生達の休み時間などの観察が必要ではないでしょうか？
1	地域の方々の思いや通学手段等いろいろ問題はあると思いますが、子供達が出来の限り同年代の友人と触れ合う事も大切だと思います。チームプレイの部活が成立しないなど地域格差が出ないように配慮してほしいです。
1	子供達、先生、保護者が使いやすい学校であってほしいです。
1	小規模校では、部活動や陸上大会などに制約が生じていると思います。統合されるのはやむを得ないと考えます。ただ、本納地区から茂原地区まで通学するのは難しいでしょうから小規模校であっても残す学校があっても良いかなと思います。
1	統合され、子供達の精神的な部分への配慮と児童数が増えた時の先生方の対応についても見直し？してもらいたい。
1	児童生徒数の多い少ないで、それぞれメリット、デメリットがあり簡単な問題ではないと思います。ただ一部で耳にしたお話によりますと「どここの学校に通わせると良い子になる」という理由で入学を考えているご家庭もあるようでそれは、疑問です。良い悪いの判断は学校選びとは別ではないでしょうか・・・。そのような事も人数の偏りに影響しているように思います。先生方の質の向上もご検討いただきたいです。
1	統廃合は児童減少ではやむを得ないとは思いますが、通学路のための手段等は確保してもらいたいです。
1	なるべくなら良い学校と悪い学校を一緒にしてほしくないです。やはり子供がいじめにあってはこまるからです。特に悪い学校で評判の悪い児童は別の学校にする配慮をしてほしいです。
1	児童数の適正規模（いろいろな考え方と接する機会が必要）
1	学校統合により生徒数が増えるが逆に1クラス人数が増えすぎ、先生が生徒にひとりひとりに目を向けられるかが心配。（教室が足りないなど）
1	通学路の照明（街灯）や道路（ガードレールやミラー側溝のフタ等）の整備を市全体で安全に統一して欲しい。
1	小規模校を否定する訳ではありませんが、一定の集団規模の確保は必要であると考えます。適切な通学手段を確保した上で地域の大人や関係者の意見（母校がなくなるのは寂しい、教職員のポストがなくなる）など。のみを尊重するのではなく、これから通う子ども、保護者の事を真に考えた検討をお願いします。
1	6学年のうち、最後の6年目に統合した先の小学校での生活であるとか、中学生が3年の受験生の大事な時に新しい学校に移動するなど、生徒の気持ちを考えると複雑です。安心して通えるようじゅうぶんな説明会や対策が必要。
2	小規模校にかかる経費を削減し統合して質の良い教育・学力の向上に力をいれてほしい。

⑧萩原小学校 32件

2	小規模校の統合は賛成ですが、どうしても遠距離通学の子供達が出てきてしまうのでスクールバスなど検討して欲しいです。小規模校が普通の生徒数の学校との合併の場合、廃校になる側はどうしても立場的に弱くなる様な気がします。
2	通学時間は民間バスやタクシー。統合で余剰ができる分は子供の安全に使うべきだと思います。高齢者の送迎や小学生の送迎にもっとタクシーを利用すれば良いと思う。定年後の雇用にもつながる。
2	大規模でも小規模であってもクラスの人数は公平にすべきだと思います。小規模だからといって数名のクラスでは私立の学校のような気がします。公立であるならば、できるだけ不公平のないようにすべきではないでしょうか。
3	保育所、学校がなくなればその地域に新しい住民は増えなくなります。その地域の過疎化、高齢化への対策をどう考えるのか、また遠くまで通うことになる子どもへの負担は大きいと思う。子どもへの予算をへらすことは茂原市の人口を将来的にへらし、ますます運営が成り立たなくなると思います。
3	子どもの人数が減っているなか、統廃合は考えなければいけないことだと思います。でも自分が通っていた学校がなくなるのは親の私も子どももさみしいことなので、跡地が地域にとっても子どもたちにとってもプラスになる場になる利用ができるといいと思います。
3	学校再編する前に、通学路の安全確保（歩道の整備）がなされていない。学区内での宅地開発しているには道路整備をお願いしたい。街灯が少なすぎる。
3	学校跡地を再利用する為に生まれる利権について聞かれているようなアンケート内容ではないですか？跡地の事より児童に対する回答内容を考えて下さい。それが優先では？
3	児童の学習と生活活動に影響が無いようにしていただきたい。
3	学校再編による学区変更がある場合、在校生はそのままの学区で通わせてほしい。
3	生徒数が足りなく学校を運営していけないのであれば、使わない教室を保育所として使う（待機児童対策）や高校として使い小中高一貫教育としてみてはどうか？やはり母校や地元というのは何より大事だと思う。

⑨中の島小学校 24件

※左の数字はQ2【小規模校の統廃合についてどう思うか】の回答

1. やむを得ない 2. 積極的にすべき 3. できるだけ避けるべき 4. わからない 空欄は無回答など

1	少人数の学校生活より、ある程度の集団の人数の中での学校生活の方が色々な友達との交流も持てるし視野も広がる。良い影響悪い影響も含め、子供なりに自分で人間関係を作ると思う。将来社会に出た時、対応できるように少人数より集団の中での生活を経験させる事は良い事だと私は思います。
1	教育委員で判断が決まっているのなら仕方ないが、富士見と西陵中の選択制ならほとんどの人が富士見が良いと思うので選択制は良くないと思う。早野中と富士見なら早野中の方が近いと思うが学区が富士見中という知り合いがいます。学区の線引きを見直しすれば少しは変わりませんか。（適正規模・人数）
1	学校再編は現状に応じて行われることは仕方ないことだと思う。親は子どもが生まれた時から、10年先まで想像してどういう方向に育てようかと考える。通わせる学校についての関心も高い。再編が自分の住む地区に関わってくるなら何年も前から計画的に行ってほしい。精神面でも物質面でも準備があることである。段階を追ってきちんと情報を公開してほしい。
1	1学年1クラスになってしまうと良い点もありますが、やはり何かあった時、子どもの逃げ場がなくなってしまうのと、6年間変わらないクラスメイトとの関係も良い点悪い点あると思います。できれば2クラス3クラスという人数の中でいろいろ学んでいけると良いと思います。
1	学校再編の決定を通知するのではなく、選択（西陵中と富士見中）猶予の時間をもうけて欲しい。審議会の途中経過を書面として出して欲しい。意見を聞いて検討の時間をもうけて欲しい。意見を聞いて「決定事項です」といわれるだけでは意見を集める意図がわかりません。
1	再編により、学校がかなり遠くなる場合もあると思う。登下校の危険が増す事も考えて、スクールバス等の検討も必要かと思う。
1	通学手段は心配になります。
1	小学校の建物の老朽化が気になります。古く暗いイメージがするので改善して欲しいと感じます。他の小学校は分かりませんが職員室の先生方の机も古く市役所との差が大きいと思います。統廃合を進めるのであれば学校全体の環境（生徒・先生方含め）を整える必要があると思います。統廃合で学校が遠くなった場合の交通手段をよく検討してほしいです。学校まで遠くなった場合、送迎できる家庭は送迎をする方がいると思いますが（雨の日等）家庭の事情で送迎できない場合、子供同士で差が出てしまうことが気になります。
1	決定事項は早め早めに市民に報告してほしいです。ぎりぎりまで統廃合が決まりましたというのはやめてほしいです。
1	統合した学校にそれぞれの先生を配置する。先生方も大変だと思うので初年度は先生の配置人数を多くする。先生の負担、生徒の不安の解消の為。
1	子ども、親にとって環境の変化は大変だと思いますが、やむを得ないと感じます。統合後の子どものアフターケアなどありますか？（特に小規模校が他の学校へ統合される小規模校の生徒へ）
1	学童クラブについても一緒に検討すべきである。
1	小・中学校を同一の校舎とする。登下校は廃校を拠点としバスで稼働している学校へ移動。
2	小規模校で生活していても子供達の競争心がかけてくるので集団で生活して色々な事にチャレンジして成長してほしいので統廃合はいいですね。
3	小規模校でも一学年25人前後なら集団生活はできると思います。統合して良い面もありますが、小規模校ならではの良さもあると思うので保護者や地域の方と良く話し合っ欲しいと思います。
3	それぞれにその地域の中での伝統や継承や大切にしてきたものがあるのでは？と思う。＜学校＞というものは長い歴史の中でただ＜勉強の場＞というのとはちがういろいろなものを人々に与え、もらい、地域の中で育まれていくものなのではないかと思うので人数のもんだいだけで統合というのは現代的？発想かなと。とはいえ財政のもんだいでもあると思うので＜まんべんなくふやす＞努力発想も必要では？又統合するのであればそこから新しい歴史が始まるという発想をもって新しい校名・校歌など両地域を融合、継承する尊重配慮をしてはどうか。少なくなったところを多勢に放り込むのでは、戦国時代の勢力争いみたいで何とも不快。
3	公立の幼稚園も少なくなる（閉園する）ということも保護者には急なことでとても保護者は困る人といかりをうったえている人がいました。なので統合となった時は何年も前に説明や統合する事が決定した事を知らせるべきだと思います。時間をかけて子供の事そして保護者の事を考えて決めて下さい。
3	統合して生徒の数が増え先生が一人ひとりの子供に目がいきとどくのか心配です。少しの変化でも見過ごさないでほしいです。

⑨中の島小学校 24件

3	現在の居住区においても中の島の幼保統合に伴い災害時避難場所が変更となったり統合時にどこへ変更になるのか不明点（未決事項）も残り心配である。勉学の場所であると共に防災対策としてどの様に維持管理していくのか検討経過を広報等で公開していただきたい。（広報・HP）
3	先生の数がたりているならば、統合には積極的になれない。1クラス数人とかでなければ・・・。
3	横割りの考えだけでなく、小・中一貫や幼・小一貫などいろんなタイプができてよいのでは？小さいうちはなるべく近い地域で通学できたら良い。余った校舎を地域の公民館や自治会館的な使用も良いのでは？
4	統廃合後、それによる児童への精神面の負担やトラブルがあった場合、十分な対応やフォローが出来るようにしてもらいたい。（専門の先生を常駐させるなど）
4	皆が仲良く安心して学校へ通える環境づくりが必要になってくると思うので学校や地域、個々の家族が協力しあえる呼びかけをしていかなくてはいけないと思いました。
4	小規模校のデメリットがよくわからないので、よくわかりません。PTプリントの「課題」のことがありますがよくわからない。イメージできません。ただ、統廃合して通学の負担が大きくなる家庭が生じることは想像できます。児童の安全、保護者の様々な負担のかたまりへの配慮は欠かせないと思います。

⑩本納小学校 17件

※左の数字はQ2【小規模校の統廃合についてどう思うか】の回答

1. やむを得ない 2. 積極的にすべき 3. できるだけ避けるべき 4. わからない 空欄は無回答など

1	現存する小学校を使用するのではなく、新校舎の建設が望ましいと思います。プール、また学童も同敷地内の方が安全確保も含め子どもたちのためになるかと思います。
1	もし統合をし、バス等で通学になるのは仕方がないと思うが、今より登校時間が早まるのは困る。(6時台に出発している家庭もあると思う。) 帰日も部活の後にバスに乗り帰りとなると今より遅くなると思うし、(迎えに行くにも仕事等で難しい時もあると思う) そういった時の子供の安全性が心配です。
1	本納小学校は、校舎の裏が崖という事が心配です。またプールが校庭内にないため、不便でもあります。近頃の小中学生の人数の減少を踏まえ、中学校と統廃合するという事も考えていただきたいと思います。
1	部活動などがもっと充実するといいなと思う
1	統廃合するになった場合、通学手段が心配である。高学年で対応できることも低学年には難しい。距離が長くなったら不安は増す。対応できる教職員、人材を増やし、細やかに目を届かせて欲しい。
1	通学手段がとても重要ではないでしょうか。アメリカのように通学バスが出るのなら再編統廃合は全く問題はないと思います。
2	より多くの友達と色々な事を学んでほしい。通学手段はスクールバスなどで遠くから通学する子供達にも負担にならない方法を考える。
2	遠距離での通学は高齢者の運転車も多く危険なためスクールバスを利用する(もしくは保護者の送迎)ことも良いと思います。
2	本納小学校へ通学する道(むらた動物病院の信号から北陵高校へ向かう道)が有料道路への抜け道になっていて交通量が多く、とばす車も多いのに歩道がないしカーブになっていてとても危ないので道幅を広げて歩道を作ってほしいです。安全面だけは最優先に考えてほしいです。本納小でも、キッザニアとかに子供達の郊外学習で行ってほしいです。
3	生徒の減少により統合はやむを得ないことなのかもしれませんが、通学手段の確保は特に気になる問題です。緊急で迎えに行かなくてはならない場合、祖母が運転ができないのでそういう時にどうしたらよいのか不安です。
3	やはり学校までの距離や通学時間、安全確保が心配です。
3	学校再編という問題だけでなく、茂原市の人口について目を向けるべきだと考えています。圏央道も配備された今、茂原市として児童生徒を増やすためにと前向きに動ける市制を期待しています。
3	保護者以外に区、自治会や学校職員へのアンケートを実施した方が良いでしょう。再編対象の学校は通学範囲が広くなり特に小学生の通学手段を検討するべきではないのか。市では子育て世代の転入者を呼び込む施策を講じてるが、学校の再編により地区人口の偏りが懸念される。審議会においては市民からの意見を踏まえ教育長に答申されることを望みます。
3	できるだけ、市民(保護者)の声を聞いて下さい。
4	子供達に負担の少ないようにして頂きたい。通学手段や安全確保は絶対条件だと思います。
4	通学路が心配。スクールバスでもあればいいけど・・・
	質問が不適切に思います。児童(子供や)保護者の事は二の次、三の次に思われます。学童なども含め(介護されているため自宅にいる保護者もいると思います)子供の事を一番に考えてください!!

⑪新治小学校 20件

※左の数字はQ2【小規模校の統廃合についてどう思うか】の回答

1. やむを得ない 2. 積極的にすべき 3. できるだけ避けるべき 4. わからない 空欄は無回答など

1	統廃合賛成です。
1	以前、もう少し生徒数があった頃は、生徒1人何役もやって様々な経験ができる環境でした。しかし生徒数の減少が進んだ今、今度は人数が少ない為に活動の制限ができています(球技の部活動ができない、鼓笛隊(運動会での)の廃止、クラブ活動の選択肢の少なさ等々)。また、1学年の人数が1ケタの学年も多く、多様な考え方に触れる機会が少ないまま小学校6年間を過ごすのは非常に不安です。統合するのであれば、早急をお願いしたいと思います。
1	統廃合など決定する前に、報告、連絡、相談をしてほしい。
1	通う学校の選択肢がほしい。
1	統廃合により学校がなくなってしまうと、さらに過疎が進んでしまうのが予想できる。
1	学校、教育委員会、市などで、統合を決定する前に、きちんとPTA、保護者会を開き、意見交換、公開をし、話し合い、子供達にとってできるだけ最善の方法を考え、決定して下さい。学校、教育委員会、市の判断で、可決はけしてしないで下さい！！
1	もし仮に、新治小が本納小に統合するとしたら、良いことがほぼない。防災の面(立地の安全性、又緊急時の引き渡しの問題)、プールが校庭内にない点、新治独自の行事(学校行事、PTA行事)の存続問題など。新校舎を建てるなら、新治寄りにするなど少人数だからといって配慮しないことがないようにしてほしい。率直な意見が聞きたいのであれば、封筒も一緒に配布し、自由記述ができるようにした方がよいではありませんか？資料も分かりにくい。統廃合の良い所・悪い所を明確にしてほしい。子どもの意見も反映させてほしいと願います。
1	巡回バスの整備を望みます。通学距離が増すと交通事故のリスクも高まります。安全確保が第一でお願いします。地域密着の活動がうすれてしまう事への配慮は必要(過疎化がより進んでしまう事も懸念有り)。
1	統合した場合、制服、学校名などを新しくしてほしい(新たな気持ちで学校に通える環境にしてほしい)。
2	茂原市は、子供の増加・市民の増加に意欲的に取り組みをしているのでしょうか？人口の増加が見込めないのであれば、小・中一貫教育を考えての統合が良いと思う。
2	小規模校について、議会、議員さんがいろいろ話し合われているようですが、議会などで話をするのではなく、現在学校に通っている人の意見を最初に聞くべきではないでしょうか。先日、住みよい町づくり委員に出席しましたが、伝統・伝統で、現役世代の意見はまったく反映されず、このままでは一層人口増加は見込めなく、住みづらくなってしまうと思います。
2	学校行事、集団生活として児童数が減少し限界までできているように感じる。積極的に統廃合を推進したいが同時に既存の教員も統合されるなど、児童の心理的ケアを行ってほしい。
2	スクールバス等、通学手段の確保をお願いします。早期の統廃合の実現を望んでいます。中学校区も考えるべきだと思います。できないのであれば選択制等の検討をお願いします。クラス20人はせめてほしいです。
2	現状、保護者(世帯数)が少なく、PTA活動等の負担が多い。少人数だと、先生方の目がいきとどいて良い点もあるが、多人数制のスポーツが経験できなかったり、気の合う友達を探すことができない子供もいる。多人数だと友達を選ぶ選択肢が増える。今の現状、中学にあがったときにうまくなじめない子供が多い。地域の方は学校がなくなるとまずいという意見がありますが、保護者は統廃合を望んでいる方が多いと思います。
2	早急に統合を希望します。
3	文部科学省が定めたのは指針であり、地域の特性を重視するべきとの一文があったと思いますが、今回のアンケートは茂原市での特性をどう考えた経緯があったのでしょうか？またQ3とQ4は「わからない」を除く部分がすべて心配であり、配慮してほしい点です。
3	茂原市の少子化が進んでいるのは理解できるが、その原因として何があり、どう対策をしていく考えがあるのですか？このままだと小中学校が少ない市町村を居住地として選択する子育て世帯は少ないと思いますので、学校再編により更に少子化が進行しないかととても心配です。
3	小規模校としての課題部分を感じてはいますが、小規模ならではの良さも感じているので、一概に統廃合というのもどうかと思います。

⑪新治小学校 20件

4	人数少ないと先生の目が行き届いていいし、全校生徒学年関係なく、保護者も学校もみんな顔がおぼえられる。ただ、部活、運動会、マラソン大会など2学年ごとなので、上の学年との差がでたりするので、あきらめが出ているかな?と思う。
4	人数少ないと先生の目が行き届いていいが、人数が多いといろんな子と関わって視野が広がると思うので、どっちが子供にいいか正直わからない。

⑫豊岡小学校 20件

※左の数字はQ2【小規模校の統廃合についてどう思うか】の回答

1. やむを得ない 2. 積極的にすべき 3. できるだけ避けるべき 4. わからない 空欄は無回答など

1	通学にスクールバスがあれば安全だと思います。
1	環境が変わった事で不登校やいじめなど、心のケア、児童1人1人をよく見る・・・そういった配慮を求めます。
1	小1からずっと1学級でクラス替えの経験なく卒業となります。本納中ではかろうじて2学級となるようですが、児童生徒数が更に減少している今、学区の見直し、統廃合への早急な対応を希望します。
1	スクールバスの運用を希望します。
1	統合する事によって、自宅から学校までが遠くなった場合（徒歩では不可能な距離）、通学バスなどの通学手段の配慮。
1	・1クラスの人数の確保も大事だが、1クラスの人数が多すぎるのも困る（目が届きにくい）。現状2クラスにギリギリ満たない数で1クラスの学年があるが、参観も見づらいし先生も大変そう。・小中合めてスクールバスを検討してもらいたい（統合した時）。耐震工事等された体育館等をムダにしない利用方法や、市の収入に変わるような活用方法を期待します。
1	他地域で統合され、バス通学になっている所を見かけます。時間的にどうなのか、学年によって下校時間も違うでしょうし、知りたいです。
1	学年によって児童数が少ない為、1クラスが多いです。今は昔と違って友だちとのかかわり方も変化しているので、先生の目が届くようにして欲しいです（2クラスか1クラスかのボーダーラインもやめて欲しい。せめて、低学年は人数関係なく2クラスが望ましいと思います。）。
1	スクールバスを利用できるようにして下さい。
1	再編によって利用されることになった校舎が前にいた所よりも古い場合はリフォーム・修理等で新しい環境にしてあげてほしい
2	統合された場合は無料バスが利用できる等お願いしたいです。
3	1学年1クラスになったとしても、やはり近い学校に行かせたい。が、その前に少子化対策を充実させるべきではないですか？市民の子育てしやすい環境を市民の目線で見ていますか？
3	統廃合されることはやむを得ないことですが、核家族で共働き、近隣に祖父母なしのため送迎することが困難なので、スクールバスなどが出せるようなら賛成です。（祖父母なし、共働き優先で!!）小学生だと多くの子供たち同士で活動できたらと思っています。合同で運動会や月に何度かお互いの学校交流などできたらいいです。
3	統合が進むにつれて過疎化が進み若い世代の流出につながる。私達も東京から移住したが、幼稚園・小学校が近い事は大きな要因です。学校の設備に多くは求めないが、通学路や地域の安全は大きな課題です。特に過疎エリアでは高齢運転者も多く対策は急務と思います。若年子育て世代を迎える事が出来れば財源にも繋がると思います。
3	距離や通学時間はともかく、通学路の安全性が一番心配なところです。市に要望すべきかと思いますが、そこが一番大事なところです。
3	今でも学校までが遠いので、できればこのままがいいです。
3	今の豊岡小の方針が好きなので、このまま残ってほしいです。
3	・新たに創設された学校に統合ならば良いが、在来的人口が多いところに集めるのは、公平とは言えない。・市町村合併と同様であり、公平性は最優先に考えるべき。人口減少は子供達のせいでは無いのだから。
3	まず、学校選択制とし、その後、児童生徒の集まらない学校を廃校すべき（中味の問題が重要）
3	学校再編となると環境の変化などで子ども達は不安になると思います。学力についても心配ですが、まず第一に子ども達の不安に対して対応してほしいと思っています。

⑬東部小学校 25件

※左の数字はQ2【小規模校の統廃合についてどう思うか】の回答

1. やむを得ない 2. 積極的にすべき 3. できるだけ避けるべき 4. わからない 空欄は無回答など

1	東部小は統廃合の心配は今のところ無さそうだけど、もし自分の子どもが小規模校に通っていたとして統廃合されることになったら、遠くまで通うなどの場合はスクールバス等、子どもの安全を考慮してほしい。
1	学区の見直しをしてほしい。同じ町内でも番地や実際の家の位置によってAの中学の方が近いのにBの中学に通わなくてはいけない。など、納得できないので。（境界がよくわからない）各家庭で選択できてもよいのでは？
1	住所地によって、中学を決められてしまうのではなく、通学路の安全性や部活動などの理由でも選択できるようにするのはどうか？実際、自宅より1.5kmの東中ではなく3km（しかも道路が危険）の南中に通っている。
1	子供の足で通える距離でなくなった場合は、登下校（部活終了後）の時間に合わせてバスを走らせる等して欲しいです。（市町村で親の送迎負担が大きい等も耳にするので）
1	各学校のしくみがそれぞれちがうために統合するととても大変だとうかがっています。この点をふまえた上で統廃合ご検討ください。
1	統廃合を視野に入れ、学校の児童、生徒同士の交流の場等があると良いのでは？
1	放課後や土日、在校生や地域住民の子どもたちが校庭や遊具で遊べると嬉しい。（公園が減ってきていること、昔は遊んでいたことなどの理由により）
1	小規模校の統廃合はやむを得ないと思いますが、穏やかで勉強に取り組む為の雰囲気などは小規模校ならではのだと思います。大切にしたいです。西陵中と富士見中の学校選択制はまったくの裏目ですね…。部活を頑張りたい生徒が多いなら部活動だけ、できる範囲で合同で活動するなどの対策を考えても良かったのではないのでしょうか…。残念です。
1	統合後、グラウンド等使用する行事の場合、遠方の保護者の駐車場確保はどうなるのか？
1	統廃合はやむを得ないかとは思いますが10年とはいいいませんが、在校生が全員卒業するまでは統廃合しないでほしい。（新入生はいれずに）遠方から通わなくてはならない子供にはスクールバス導入も考えてみては？
1	統廃合された場合、先生もあまってしまうと思うのですが、その分学年やクラスに2人ずつ担当してもらうなどすれば、きめ細かい対応をしてもらえるのではないのでしょうか。（特に人数の多い学校など統廃合が行われた学校など）
1	統廃合の可能性が高い学校だけでなく、人数の多い学校も建物や施設の整備をもっと力をいれてほしい。
1	学区にしばられず、学校を自由に選べるようにしてもらいたいです。
1	中学校になると、部活動がなりたたないので、統合はやむを得ないと思う。ただ、通学の距離が遠くなる為、バス等を出す事は考えても良いのでは？
1	統廃合に直接関係ないが東部小の児童は他の学校より多数いるのにもかかわらず、なぜ中学校が南中と東中にわかれなければならないのか！東部中があれば良いと思う。統合するなら新中学も視野に入れて検討していただきたい。
1	生徒の人数が増える事によって、担任がひとりひとりに目が行き届くかが心配。友人の子が通ってる千葉市中央区の新宿小は4年生が7クラス（他学年もそれくらい）で、1クラス40人近い人数。担任は全くとっていい程、子供ひとりひとりにかまっていられず、子供も授業以外で担任と話すことは無く、いじめ等の相談にもほとんどの先生が親身になってくれないとの話を聞いた。いじめ相談した子は転校をすすめられたと言う。（教頭にも）こんな学校には通わせられないと転校した。
1	小規模校が統廃合するのは子どもたちの学習面や友人関係、学校生活においてもメリットのあることだと思います。しかし、統廃合によって通学時間が長くなったり環境の変化にとどまってしまうことも考えられます。住民や家族への十分な説明、話し合いをし納得してもらうことが大切だと思います。
1	統廃合する場合、統合する学校に今までの先生も一緒に1・2年位は異動してもらった方が子供達も安心できると思います。
1	統廃合する事は仕方ないのかなとは思いますが、小学生は学校まで歩いていくのでスクールバスを出すなど通学手段が確保されないのであれば、急いで統廃合してはいけないのでは？と思います。
2	現在市内の小・中学校1校あたりの先生の数少なく先生1人あたりの負担が大きいように思います。再編により先生の数が増えるといいなと思います。
2	学校再編にあたり、現学区も見通すべきと思う。近い学校へ通うような学区に見直しすべきだ。

⑬東部小学校 25件

3	小規模校が良いという人もいると思うし、統廃合される学校の生徒は通学時間が更に長くなってしまうのでは、と思いますがそれでもその地域に住んでいたいという人もいるのではと思います。
3	茂原市は広域です。統廃合には向いていないと思う。今の学区内でもかなり遠い所から通学している生徒もいるので登下校が心配。
3	場合によっては小・中・同じ建物でもよいと思う。
3	小学校に関しましては、できるだけ統廃合は避けた方がよろしいかと思われませんが、中学校に関しましては通学手段も自転車となりますし、部活動等の事もありますので統廃合が望ましいと思う所もございます。

⑭緑ヶ丘小学校 32件

※左の数字はQ2【小規模校の統廃合についてどう思うか】の回答

1. やむを得ない 2. 積極的にすべき 3. できるだけ避けるべき 4. わからない 空欄は無回答など

1	部活動等で帰宅が遅くなると、遠距離通学だと心配です。子ども達が安全に通えるように考えて欲しいです。
1	茂原市全体で学区を見直して、どの学校もある程度の規模になるように編成し直せば廃校が出ないのではないのでしょうか。母校がなくなるのは可哀想です。
1	統合されるのであれば、早めに決定して頂きたいです。選択制の利点もあるのかとは思いますが、中学生はなかなか厳しい年頃だという事も考えて頂き、途中編入をさせられる子供達の気持ちを配慮願いたいです。
1	まずは、学区の見直しを早急に実施が必要。近くに学校があるにもかかわらず遠くの学校へ通っている子供を見ると気の毒だ。大人の責任で助けた方がいい。
2	学校は集団の中で人間関係の築き方を学ぶ場でもあり、小中学校の間に経験させたい。親自身も少人数で小中学校を過ごしたが高校でうまくなじめずに退学してしまう友達も多かった。
2	子育て世代の意見を取り入れた統廃合にしてもらいたい。廃校となる小学校の歴史等もあるため跡地利用をきちんと考え、子どもたちのための統廃合をしてもらいたい。
2	ある程度的人数での集団生活で学べる事は多いと思います。とくにスポーツ（集団の）などは子供が多くないとむずかしいですね。
2	市内での学校的人数の差が大きすぎる。今まで選択制だった中学校が強制で人数の少ないところになるのは反対です。部活をやりたいくてもできないし、子供の気持ちも取り入れてもらいたいです。
2	長南町ではH29・4月に小中一貫型小学校、中学校を開校するようですので、こちらを参考にさせていただきたいと思います。他にも高校生まで医療費の助成がある等（所得制限なし）隣の自治体とは思えないほどの充実ぶりがうらやましいです。
2	西陵中と富士見中の統合の時期を前倒しして、早めてほしい。
3	上記にある集団規模や学校の跡地利用など、質問の項目に入っている事、茂原市の教育委員会は子供一人ひとりの事を考えていないと強く感じます。もう少し先も（未来も）考えて行動して下さい。
3	小中を同じ校舎にする事は出来ないのでしょうか。
3	適正な通学距離や時間。学校の廃校によるゴーストタウン化。
3	西陵中の設備は市内の中学校の中では新しい部類に入ることから、富士見との統合ありきで議論が進むのではなく、二宮小を学区に入れる検討も行い、残す為にどうするのかを今一度考えて欲しい。
3	HPにこのアンケートの件が出て、2週間足らずで保護者に回答をとり、各学校でとりまとめをしなさいという市教委の計画に大変驚きを感じます。裏面に推移データとして載っているものの、時間軸の幅が均一ではなく一般の方に間違っように解釈される。ある意味市教委に対して疑問の残るデータと感じざるを得ません。またデータに関して昭和、平成を使うなど外国人保護者に対する配慮が感じられません。小規模だからという理由ではなく分校のような形で児童の通学時間の負担をかけない。安全面などを十分に配慮していただきたい。現小3から富士見中へと決定しましたが、茂原街道の歩道の幅が充分ではありません。小湊バスでの通学を検討し、登下校時にあようなバスを増発をおねがいします。
3	西陵中学校が近くにあるので家を買いました。なくす方向ばかり考えずに生かす様考えてほしいです。富士見中までの道中は女の子には危険な所がある。複数人で帰れない場合もある。何かあるとこまる。
3	小学校はできるだけ統廃合はしないほしい。
3	少人数で先生が目が行き届き、落ちついている西陵中から荒れていると沢山の話が入ってくる富士見中へ行かせるのはとても不安です。統合するのであればまず受け入れる学校と教育委員会がしっかりと現状を把握し対処し、安心して通わせられる学校づくりをして下さい。
3	今は統廃合には反対です。地域の通学を希望します。通学が遠くなる場合は登下校時のスクールバス等を検討して下さい。
3	富士見中を廃校し、築年数の新しい西陵中に富士見中の生徒が通うかたちが望ましいと思います。人数的にむずかしいのであれば市の方が学区をくぎり、今、富士見に通っているけれど本来西陵の方が家が近い子は西陵学区にするべきだと思います。
3	緑ヶ丘には小、中、一校づづしか無く、今小学生である子供も西陵中への進学を希望しています。統廃合される時、西陵中を緑ヶ丘小学校へ統合する事は出来ないのでしょうか？
3	ある程度的人数がいた方が良くと思うが、学区見直しなどで調整していけるのなら自宅から歩いて通える学校に通学させたい。

⑩緑ヶ丘小学校 32件

3	学区の見直したら良いと思います。
3	中学校を統合するのは仕方がないと思うが、小学校は通学距離が大きく変わるので小学校の統廃合は大反対です。
3	小中学校の統合されるのは、あまり気が進みません。緑ヶ丘小学校はこの先もあってほしいし、中学校も今のままであってほしい。お金の事もあると思いますが現状キープでいてほしいです。
3	小・中一貫校の考えはないでしょうか。
3	西陵の統廃合が示されてから選択制をしている間、市は何の対策や他の方法の提案など何もしていない事に疑問を持ちます。小中一貫校などの案は住民から出たらしいのですが、それも学校再編に積極的に組み込んでいいと思います。
3	小規模校は地域住民とのつながりが密になっている。子供を地域みんなで育てる事により非行等の抑制になっていると思うので、人数だけで統廃合を考えないでほしい。
3	西陵中、富士見中の統廃合の説明会において平成32年で西陵中を開校とするが学校運営上支障を生ずる場合に開校が繰り上げられるとあり、「学校運営上支障を生ずる」の判断は茂原市（教育委）から発起することはなく、生徒側からの発起のみと説明を受けましたので本アンケートがその発起に使用されることのないよう要請します。
3	市の人口減少による子供の減少につながっているので安心して住める政策をし、公共交通機関の整備をすること。
4	学校選択制に疑問、選択の自由があり良いように思うが親も子も迷い悩むだけ。市がはっきりと示してほしい。
	西陵中学校と富士見中学校の統合に関しては別の方法で西陵中の適正規模を解決すべきと考えました。 ①西陵中と富士見中の学校カラーがかなり違う。②緑ヶ丘小と西陵中の成績が良い。③緑ヶ丘小の校舎は教室に余裕がある。現在中高一貫校や小中一貫校はとても人気がある。しかし千葉県には公立の小中一貫校がない。①～③のことからも緑ヶ丘小学校の校舎で小中一貫校にした方が良いと考えました。良い教育を受けさせるためならば必ず人は集まってきます。人口増加にもつながるチャンスだと思います。

(2) 中学校

①東中学校 7件

※左の数字はQ2【小規模校の統廃合についてどう思うか】の回答

1. やむを得ない 2. 積極的にすべき 3. できるだけ避けるべき 4. わからない 空欄は無回答など

1	子ども達の気持ちの配慮、安全面等、みんなへ良い方に向かうよう努めてほしいです。
1	横浜市であった、福島からの転入生を受け入れられないような、よそ者を受け入れられないような悲しい結果にならないように受け入れる側の生徒、教師も十分な体制と心構えを持って望んでほしい。移る側は期待もあると思うがそれ以上に大きな不安をかかえていると思うので。
1	東部小は東中と南中にわかれます。東郷小は全員東中に入ります。それだけでも子供の負担は違います。統合後は両方の学校の先生方が様子を見るようにしてあげてほしいです。仲間はずれやイジメがないようにしてほしいです。
1	学区にしばられずに中学校を選べるようにしてもらいたいです。
1	子供への配慮が一番ですが、廃校になった学校のその後もかなり気になります。卒業された生徒方々が廃校になった学校を見て悲しくならない様に・・・
3	市内で次に校舎の老朽化問題が考えられるのは、貴校であると思われる。もし建て替えを検討する場合、同じく老朽化の問題が起こるであろう東郷、東部と別の場所に小中学校を作るなど50年100年先を見通した政策を実施すべきと考える。
4	やむを得ないこととは思いますが、よいように進めていただきたいですが、教員が目が届く人数というのにも限界があると思います。小規模校の児童生徒は長所短所ふくめて見てもらっているの、精神的にも安定しているように思います。子どもが求めれば手が届く所に先生がいらっしゃればありがたい。そうした教員の人員配置を行政に工夫してほしいです。貧しい地域ですので一層そう思います。

②富士見中学校 20件

※左の数字はQ2【小規模校の統廃合についてどう思うか】の回答

1. やむを得ない 2. 積極的にすべき 3. できるだけ避けるべき 4. わからない 空欄は無回答など

1	様々な立場に立ち検討してほしい。
1	トイレの和式を洋式にかえる
1	通学時の距離が心配です。バスを用意頂けると助かりますね。
1	少子高齢化の影響を受けている事は確か。もっと少子化対策に力を入れ、人口を増やす、若い世代が住みやすい街づくり、制度を整えるなどして欲しい。そこから考えなければ、この問題はずっと続くと思う。圏央道のインターがあるので、人を呼び込む道の駅などを校舎跡地を利用して活性化させるなどできませんか。せっかく頂いた資料なのにアンケートの用紙の作り方がおかしいのでまた市へ戻す形になるんですね。それでHPを見て下さいとなっているんですか？このアンケートの作り方に疑問！
1	中学校は自転車通学なので少し遠くても通学できそうだが遠いと慣れるとスピード出して通学するので心配な面もある。学校統合して先生が良い先生がたくさん来てくれるとうれしいです。今先生が大嫌いで学校に行きたくないという事が多いので…3年間しかないのに先生に恵まれないのはとても残念だ!!
1	西小は、緑ヶ丘小、二宮小と合併した方が良い、その場合校舎は間の緑ヶ丘小が良い。ただ、西小学区のうち本町道表など茂小の方が近い地区もあるので、どちらか選択できると良い。西小の伝統の鼓苗はつづけてほしいです。
1	西陵中学校と富士見中学校の統合を望みます。
1	小学校においては、地域のつながり、通学時間等も考え、小規模であっても残すべき。中学校は、ある程度の通学時間がかかっても、適正規模にすることでのメリットは大きいと思う。集団生活、人とのつながり、勉学、部活、それぞれで選択肢が広がると思う。茂原は自転車通学ができるのだから、公費が削減できる。
1	子供達が少なくなってしまうのを改善しなければ、グラフの通り、多い所が集約されず、少ない所が統合される様になってしまう。少ない所へどうしたら子どもが多くなるのか？改善策を検討した方が良い。
1	協力したり切磋琢磨していく中で、自己確立し、他者理解をしていく時期なので、ある程度の人数の集団を作ることが必要であると思います。富士見中に来て良かったと思っています。
2	もっと積極的に統廃合を進めてほしい。今の茂原市に見合う状態を求めている。
3	小学校は特に通学に一時間以上（片道）
3	統廃合された場合、跡地を保育所や障がいのある人（子）との共存の場などに活用したり、今は子育て支援センターを保育所からきり離して活用してはどうか。
3	統廃合され、通学路の距離が長くなった場合安全性や部活動で使える時間等心配です。今より生徒数が増えた場合もご指導頂ける先生の人数も気になります。PTA活動は行いやすくなると思いますが。
3	義務教育期間なので全児童生徒が学べることを原則として欲しい。小規模学校を全面的（メリット・デメリット）に認め体制を整え（教諭・保護者・子）すべてを選択制にすることで大規模校に対応できない人々の選ぶチャンスを残しておいて欲しい。小規模学校では幼児、老人も利用できる様にすれば行事負担の軽減になるのでは？
3	富士見中は複雑な家庭、生徒達を推す地域なので現状維持のままが良いと思います。（特に富士見、他にも東、茂原、早野中学区は保護者のレベルが多様なため、現状維持のまま様々な機関と連携を取って子供達のための学校・地域作りをしていただきたいです。
3	「再編」という中身が人数の確保、学校運営の効率化の一方向であるのが気になりました。効率化もちろん大切ですが、同時に空いた校舎を利用し、学校へ通えなくなった児童・生徒をフォローするフリースクールのようなものを設ける逆方向の「再編」はないのでしょうか。
3	学区の見直し
3	生徒減少したから統廃合するのではなく、子供が増える、茂原市にすみたいと思える努力をして1人でも増やすことをしてほしい。
4	学校再編で母校がなくなる子供達の気持ちにも耳をかたむけて、ケアをしてあげてください。

③茂原中学校 20件

※左の数字はQ2【小規模校の統廃合についてどう思うか】の回答

1. やむを得ない 2. 積極的にすべき 3. できるだけ避けるべき 4. わからない 空欄は無回答など

1	塾に行かなくても学力向上できるような学習プログラムをたててほしい。学校の授業だけでは目標の高校にはとてもいけない。塾にたよるしかない状況に経済的に苦しいです。
1	学校を自由に選べれば良い。
1	情報を市民に知らせてほしい。決定する前に市民の声を聞く機会を設けてほしい。
1	小規模校の保護者の方達との話し合いなどをするべきだと思います。
1	跡地の利用は。単純に業者等に売却されるならば付近住民の環境変化は計り知れない。小中学校は単なる学校であることを超えて防災の拠点となるなど地域の重要な拠点であることから公共施設として利用するなど、よく考えて結論を出してほしい。
1	スクールバスなどがあると良いと思います。
1	小規模校は先生方の負担も保護者の負担も大きいので再編した方がいい。早野中は元々南中が人数が多くて分かれたので、又元に戻せば良いと思う。交通の便や不審者等、心配な地域はスクールバス等要検討と思う。財政苦しいので効率よく市の税金を活用してほしいです。
1	小規模校の統廃合は反対があるかもしれないがやるべきもの。統廃合により通学が遠距離になる場合はスクールバスなどにより対応する。
1	市の財政と子どもの人数を考えると統廃合はやむを得ない。スクールバスと市民バスを一緒のものとして使ったらどうか。
1	統合する前に児童やPTAの交流の機会を多く設定する等、“環境の変化”は徐々にしていける様、対策してもらえると良いと思う。
1	通学時間や長距離通学が心配ですが、その場合は小中での統合も可能なのか、県内他市町村ではすでにある様だが、上手くいっているのかお聞きしたい。
1	環境変化等、考慮しクラス替えは毎年行うのが望ましい。
2	茂原中学校は人数的にこれ以上増やすことは難しい。他の地域では統合が考えられる。他の地域から学生が集まると”いじめ”の問題にもなりうる。慎重に考えた方がいい。
2	児童数が少ないことで経験出来ないことがたくさんあります。多いことで経験出来ないこともあるのかと思いますが、社会に出た時に多様な人と接する経験で順応する力を養うことはとても大切です。新聞で統廃合の記事を度々見かけます。やるべきだと思います。
3	行政の為でなく、子供達の為の再編であってほしいと思う。
3	学校再編により統廃合があった場合、学区外の学校に通学希望する子の条件を明確にしてほしい。（不平等のないようにお願いしたい。）
3	どの学校も平均的な人数（小規模）を希望します。ゆとりのある教育（勉強）が望ましいですが、部活動など考えると人数がいないと種類が減ってしまう点を考えると大きなまとまりと小さな学校になればよいと思うがそれは困難なのでしょうか？
3	小中の間は小規模を贅沢なメリットと考えた魅力ある学校作りを考えてよいと思う。いじめ、自殺、先生方が忙しすぎて丁寧に子供と向き合えない等の問題をなくし少人数を生かして学力アップなど成果を出せば、他地域から入学を希望する子供が出てくることもあるのでは？
4	考えた事もないので、よくわからないが学校が遠くなるのは困る。
4	高校、大学と違い、小学校中学校は住んでいる所でほぼ通学校が決まり、いろいろな人がいるのもわかりますが、あまりにも価値観の違いが出てしまう統廃合は心配です。地域ごとの特色をご考慮していただけたいと思います。

④南中学校 17件

※左の数字はQ2【小規模校の統廃合についてどう思うか】の回答

1. やむを得ない 2. 積極的にすべき 3. できるだけ避けるべき 4. わからない 空欄は無回答など

1	徒歩通学である小学生の子供達の安全は最優先の課題だと思います。
1	再編を見据えるのであれば、時間をかけて統合する学校間の温度差を解消していくことが必要。交流学習等も取り入れていくとよいと思います。
1	廃校される学校については、跡地利用されれば良いことだと思いますが、利用することがないのなら更地にしても良いと思います。利用されなければ荒地になり外観も悪くなると思います。
1	日頃から学校間での交流の場を作れたらいいかも。
1	子どもは仲のよい友だちと離れてしまうことで、安心感をもてなくなりやすく、心身のバランスをくずしやすいのでグループごとにクラスになじむようにしてあげてほしい。
1	中学校で人数が減ると学習面、部活動の面、行事等々、いろいろな部分でマイナスな点があると思う。人数の多い学校と少ない学校ですでに差が生じているのではないだろうか？学区が決まっていると受けられる教育に差があっても仕方がないとあきらめるしかないのは悲しい。
1	人間関係の固定化は望ましくないと思うので、一定の規模は確保してほしい。
1	今後も少子化の流れは続くと思われます。また近頃、登校時に交通事故に巻き込まれる児童が増え、安全確保が重要になると考えられます。したがって統廃合のあとにはバス（通学バス）で子どもたちを送迎するシステムの導入が必要になると考えられます。学校再編により、子どもたちに安全を与えてください。
1	各地域の児童の集団生活に関し最近いじめによる自殺が問題視されている点を踏まえ、いかに各児童の信頼関係を保つか注意深くする様に見守って下さい。
1	学区を選択できるようになれば、不登校児の救いになるのではないかと思います。
2	東部小学校は東中学校と南中学校と半分に分かれずに、そのまま中学校も同じになってもらいたい。
2	少子高齢化は続くので、廃校にはご老人の為に使われると良いと思う。少なくなった学校を無理して継続するのは子供のためによくない。中学に進学してから他校出身のメンツが増える事によって人間関係の円滑、問題が減ると思う。多数から生じる集団生活の学びを得られる事が一番良いと思う。部活の選択肢等自由に行動できる範囲が広がる。
2	クラス替えが行われると良い。自力で通学できると良い。
3	複式学級を経験し、人数ありきの考え方はどうかと思う。近くの学校に通いたい通わせたい。
3	少子化により仕方のない事かもしれないが、小中学の一番心も体も養われる時に、ひとりひとり細やかなかわり合いが大切だと思われるので、少人数で運営していけるなら密な指導ができるので、できるだけ少人数でもいいとは思いますが。
4	通学路の安全性も十分に確認をよろしくお願いします。
4	いじめがなければいいです。

⑤本納中学校 23件

※左の数字はQ2【小規模校の統廃合についてどう思うか】の回答

1. やむを得ない 2. 積極的にすべき 3. できるだけ避けるべき 4. わからない 空欄は無回答など

1	統廃合により浮いた人件費で送迎バスの運営あるいは通学路における交通安全員？の配置など児童生徒の安全を考えてほしい。
1	本納中学校が他の中学校と統廃合されるのは距離を考えても無理があると思いますが、使われていない教室が多数ある事を考えると小学校との統廃合は可能なのではないかと思います。
1	生徒数が減少する中で、今まで通りの学校数を維持する事はムダが多いと思う。統廃合をし適正な学校数に見直してほしい。その場合スクールバスの導入など家庭への負担がない方法をお願いします。
1	小中合せてスクールバスの検討をしてもらいたい。（統合した場合）多すぎず少なすぎない人数と先生の確保、1クラスの人数が多ければ2人つけて目が届くようにしてもらいたい。学区選択制もありだと思う。使用しなくなった学校や体育館を企業や大学高校の合宿等で使用するよう提案し、少しでも活用し市の収入に変えていけるとよいと思う。
1	自分が通っている（通っていた）学校がなくなるのはさみしい気持ちもありますが実際問題として子供が少なくなるとPTAへの役割などの負担もすごくかかってきて、地区によっては何年間もずっと役員をやり続けなくてはいけない方もいたりしたので仕事をしながらだととてもキツイです。
1	通学手段がとても重要に感じます。アメリカのように通学バスが出るのであれば再編統廃合は全く問題ないと思います。
1	学校が変わり距離が遠くなった場合に通学路や登下校班等の心配があります。地域によっては高齢ドライバーが多く特に市の地域性なのか安全な運転の配慮に欠けているのでは？と思う様な事大変多く見かけます。特に子ども達の登下校の時間帯にはスピード等、注意を払ってほしい。一番の心配な点です。
1	生徒数に差がありすぎると教育内容が学校によって変わるので学力の差が生じない様にして欲しいです。
1	中学校で1学年1クラスしかないような所では、先生が専門外の教材を教えたり掃除の時、少人数で多数の教室等を掃除しなければならなく、生徒の負担も大きい。もちろんやりたい部活ありません。早急に再編すべきです。
1	伝統の行事は廃止するのか？
1	児童の数も年々少なくなっていくと思いますが、通学が遠くなったりつめこみすぎて子どもに目がゆき届かないのも困ります。そこまでして統廃合すべきでしょうか？少人数でも質の良い教育と目の行き届いた、いじめのない学校生活を送る上でもむやみやたらに統合はすべきではないと思います。
1	少子化は避けられないので昔のような分校という考えをふまえた教員配置やカリキュラム改訂を検討していくのはどうでしょうか。統廃合するのであれば通学バスを市が運用することもあわせて検討する。統廃合する地域の中央位置に新校を移転することも検討。
1	出来れば少人数になっても住み慣れた地域での通学や学びに賛成です。生徒が減少すれば先生の人数も減り活動等、成立しにくい状況になる事を考えれば統廃合も仕方のない事かも知れませんが。統合する事で人間関係やトラブルも増える心配はそれまでの地域活動等で交流していけるなど工夫も必要だと思います。（移行前からの実施）
1	中学校でやりたい部活が無い（廃部）のは残念です。運動会や修学旅行など少人数では楽しさが無いのではと思います。
2	学校が小規模化することで部活動、クラス替えができないなどの課題があるのであれば、積極的に再編を進めるべき。
2	統廃合は積極的に議論すべきだと思うが、ただ単に人数合わせだけで考えず学校が持つ地域の役割を考えなければならない。又廃校された地区の過疎化についても同時に考えるべきである。
3	何よりも交通手段が一番の問題です。
3	遠距離自転車通学で街灯も少ない地域で統廃合されると更に生徒に負担になるのでできるだけ現状維持してほしいです。
3	家から中学まで7km以上あるのでこれ以上遠くなるのはやめてほしいです。
3	少人数の為、クラス編成で一クラス30人以上になって教室がぎっちゃんとなり落ち着きのない授業のような気がします。一クラス20人位の方が先生の目が届くのではないのでしょうか。なるべくならば統廃合はない方がいいと思います。

⑤本納中学校 23件

3	統廃合されることはやむ得えないことですが、核家族で共働き、近隣に祖父母なしのため、送迎をすることが困難なのでスクールバスなどが出せるようなら賛成です。（祖父母などいない、共働き優先で・・・）集団での活動については時間割など工夫して週何回か合同で利用や部活動など集まって行なうなど出来たらと思います。
4	現時点でも通学時の交通事故や不審者に対する不安はかなりあります。小規模校の問題点を考えると統廃合もやむを得ないかと思いますが通学の危険性を考えると悩むところです。少子化に対する当面の解決法のひとつとして学校の統廃合を考えることも必要だとは思いますが長期的な課題として統廃合した場合の跡地の利用を含め、住宅、病院、保育、教育施設の充実や子育て補助等若い世代も住みやすい環境を整えていくことにも市全体として取り組んでいただくことを望みます。
	一番親が心配するのは通学に関してだと思います。朝練があれば6時にでなくてはならないいまがある上で更に統廃合により遠くなるとなると子供への負担の増大、親にも送迎の必要性なども増えるなど。

⑥早野中学校 11件

※左の数字はQ2【小規模校の統廃合についてどう思うか】の回答

1. やむを得ない 2. 積極的にすべき 3. できるだけ避けるべき 4. わからない 空欄は無回答など

1	・小学校から中学校へ進学する際、分割されることのないように配慮していただきたい。 ・登下校の安全確保は必ずお願いしたい。
1	毎日通う子供達にとって最善のかたちになればよいと思います。どうすることが最善なのかは難しいことですが。
1	生徒数が少なければ、部活動にも影響がでてきます。やりたい部活がないため、他の中学に行くことを選択している人もいます。住所を変更することができなければ、その部活はあきらめることになります。やはり統廃合して活発に活動できるようであってほしいです。
1	私が育った市川では、学校単位ではなく場所で学校が決まっていました。なぜ茂原は近い学校でなく遠い学校に行くのでしょうか？道で学校をわけるのが一番わかりやすいのに小学校から中学校で別々になってもそれも子供の為になると思います。
1	環境が変わる事が極端に苦手とする子供もいます。統廃合をする場合、そういう子供の心のケアや配慮は確実に行ってほしいです。
1	在学中での編入の場合、同じ部活が続けられると良いです。学校により、ない部活があるので選択肢が増えれば良いと思います。
3	通学路の安全、通学時間、距離がとても心配です。1人1台の車社会、歩道、自転車道が確保でき安全なら、統廃合されることはやむを得ないと考えます。
3	自分の母校がなくなるのは寂しいものです。できる限り存続させて下さい。
3	少人数であっても職員をしっかりと配置し、子供が安心して学校生活を過ごせるようにしてほしい。
3	現在、学区に関係なく、学区外の中学校へ通う子が増えています。人数の少ない中学校にとっては、全ての面において悪循環だと思います。教育委員会はどうか考えなのか？
4	早野中学校を考えた場合、統合するのではなく、西小区域で早野中に近い子供など、鶴枝区域の子供など、学校選択制にしてほしいと思います。

⑦西陵中学校 23件

※左の数字はQ2【小規模校の統廃合についてどう思うか】の回答

1. やむを得ない 2. 積極的にすべき 3. できるだけ避けるべき 4. わからない 空欄は無回答など

1	5年前に西陵中と富士見中の統合の話があった時には、教育長さんにまでお話をさせていただき、反対をしてきました。でもその後、緑ヶ丘小から富士見中を選んでいく子供達が多くなり、もう統合はやむを得ないと思うようになりました。自分の子供達は西陵中で卒業することができますので、あとは合理的な統廃合をして下さい。
1	統合決定ならH30年度からがよい。生徒の為なら部活や行事が成り立たないより途中からでも統合すべき、精神的フォローの為、数名の先生もいっしょに。家族への負担減の為、制服、靴等の支給があってもよいのでは。
1	小規模校が統廃合されるのはやむを得ないかも知れませんが、通学路の安全や距離などの面で心配な面が多々あると思います。
1	少人数では部活動が成り立たないため、積極的に統合すべきである。(中学校)
3	学区の見直し
3	西陵中学校を緑ヶ丘小学校へ統合する事は出来ないのでしょうか
3	上記内容からすると統廃合が決定しているということなのでしょうか？
3	西陵中に行きたいと言う他校からの意見がありましたが、途中で統合になるとか、廃校になるという不安から諦める方もいます。又少人数ならではの友達同士の助け合い、協力、行き届いた先生方も学校も本当に良い所です。何とか廃校にならないように宜しくお願い致します。
3	西陵中、富士見中の選択制ではなくて、学区の登校距離などを調べて学区を決めて2つの学校に通えば子供たちも登校手段、安全確保等、わざわざ遠くまで通う必要がなくなるのではないかな？地域とのつながりも大切にしたい。一番新しい学校をなくさないで欲しいです。
3	生徒の本文は勉学であり最も重要な点は学習環境である。特に西陵中は学習環境において茂原市内でもすばらしいことは先生方も十分に認識されている。選択制で西陵中を選んだ以上は学年進行中での統廃合は納得いかない。模範的中学をなくすことは、人材養成の観点から茂原市の教育への姿勢に疑問を感じる。又アンケートの回答が統廃合ありきの内容である。
3	統廃合をする前に学区の再編など再考する必要があると思う。学校がなくなることによって地域の防犯、災害時の避難など不安である。小中一貫校にするのも選択肢としていいのではないかな？(学校の設備を利用できる)
3	入学説明会の時に29年度の生徒については人数によっては富士見での卒業になるかもと書かれていましたが、27年度、28年度入学生については何も言われていなかったので入学した学校(西陵中)での卒業を希望します。子供の精神的負担は避けていただきたいです。
3	西陵中を緑ヶ丘小学校への統合は出来ないのでしょうか。
3	西陵中を廃校にするのではなく、選択制をやめ強制的に学区を変更するのが望ましいと思います。現在二宮小や西小に通っている子供たちの学区で西陵中に近い区域の子は西陵中に行くようにすれば最低2クラス以上確保できると思います。西陵中はなくして欲しくない程良い学校です。
3	出来る限り現状を維持して欲しい。
3	小規模校ならではの良さもあるので、統合することがすべてよいことではないと考えます。そこに通われている保護者、児童生徒の声をすいてあげて、より納得のいく形での再編計画をお立てください。
3	学区をかえる
3	西陵中学校は生活面、学習面においてとても良い環境で地域とのつながりも非常に大きい学校なので残して欲しいです。
3	小・中一貫校への整備
3	入学説明会の時に原則は入学した中学校で卒業と説明され29年度入学生については繰り上げで富士見での卒業になるかもと聞いているので最終的に1学年だけになっても西陵中での卒業を希望します。
4	子供たちが、より良い環境で健全な生活を送れるような学校。特にいじめ不登校、非行問題に真剣に取り組むをしてください。学校だけでなく地域と連携をとり子供たちを見守ることができる環境。共に学び切磋琢磨して心身ともに成長できるように子供を育てることが教育だと思います。

⑦西陵中学校 23件

	西陵中の統廃合に関しては学校選択制があるからこそ、生徒数が減ってしまってますよね。緑ヶ丘小の生徒は原則西陵中に入学し、他の小学校からは選択制というかたちを取っていれば良かったのでは？部活動が人数の関係で難しいなら部活だけ富士見中と合同で部活するなど対策はあったのではありませんか。西陵中が廃校になるのは本当に残念です。
	部活動など一定の人数がいた方が良いと思うが学区見直しをして調整して欲しい。（選択制ではなく）